

松阪市市民意識調査

【結果報告書】

平成 30 年 11 月

松阪市

目 次

I 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 報告書における図表の見方.....	2
4. 標本誤差.....	3
II 調査結果の概要.....	5
III 調査結果.....	17
1. 防災対策について.....	20
2. 交通安全対策について.....	24
3. 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺について.....	35
4. 医療提供体制について.....	41
5. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について.....	45
6. 市運営コミュニティバスの運営形態について.....	46
7. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」について.....	50
8. ごみの減量に効果的な取り組みについて.....	53
9. 観光施策について.....	56
10. 松阪の地場産品について.....	59
11. フルマラソンの開催について.....	61
12. 住民協議会について.....	66
13. 市の窓口の最適配置について.....	71
14. 松阪駅西地区の複合施設について.....	77
15. 市施設における使用料等の見直しについて.....	82
16. 広報全般について.....	87
IV 自由回答.....	95
V 調査票.....	111

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査はさまざまな分野の政策や行政サービスに対して、市民の皆さまのご意見やご要望を調査、把握することにより、今後のきめ細やかな市政運営のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

(2) 調査対象

市内にお住まいの15歳以上の方

(3) 調査時期

平成30年8月21日～平成30年9月7日

(4) 調査方法

無作為に抽出した3,000人の市民への郵送による調査

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
平成30年度(今回)	3,000	1,562	52.1	1,562	52.1
平成29年度(前回)	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成27年度	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年度	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2
平成17年度	4,000	1,961	49.0	1,841	46.0

※有効回収数：回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数 1.96 は、信頼率 95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団数、n：サンプル数（有効回答数）、p：回答比率

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

(1) 松阪市市民意識調査（N=164,853）【平成 30 年 8 月 1 日現在】

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1562	±1.48%	±1.97%	±2.26%	±2.42%	±2.47%
704（男性）	±2.20%	±2.94%	±3.37%	±3.60%	±3.67%
846（女性）	±2.01%	±2.68%	±3.07%	±3.28%	±3.35%

Ⅱ 調査結果の概要

1. 防災対策について

問2. あなたは地域の避難所を知っていますか。

「知っている」が86.2%、「知らない」が12.9%となっている。

問3. 地域、職場等での防災訓練に参加していますか。

「どちらも参加していない」が49.8%と最も高く、ついで「地域での防災訓練に参加している」が23.6%、「職場等での防災訓練に参加している」が21.4%となっている。

問4. 非常用備蓄品を準備していますか。

「準備していない」が50.4%、「準備している」が49.2%となっている。

問5. ご自宅の家具を固定していますか。

「固定していない」が67.4%、「固定している」が32.2%となっている。

2. 交通安全対策について

問6. 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。

「よく知っている」が56.0%と最も高く、ついで「少し知っている」が27.3%、「あまり知らない」が12.1%となっている。

問7. 松阪市で運転をするドライバーの交通ルールの遵守やマナーなど、最近良くなっていると感じたことがありますか。

「変わらない」が73.0%と最も高く、ついで「悪くなっている」が18.8%、「良くなっている」が5.2%となっている。

問8. 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思えますか。

「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が74.5%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が56.2%、「道幅が狭い道路が多い」が35.9%となっている。

問9. 交通事故を減らすためには、どのような活動が必要だと思えますか。

「路面標示の塗り直し」が40.7%と最も高く、ついで「交通取締の強化」が37.3%、「カーブミラーの増設」が36.6%となっている。

問10. あなたは自転車に乗りますか。

「全く乗らない」が57.8%と最も高く、ついで「週1回以下しか乗らない」が21.0%、「ほぼ毎日乗る」が11.1%となっている。

問 11. あなたは現在自転車保険に加入していますか。

「加入していない」が 56.7%、「加入している」が 39.7%となっている。

問 11-1. 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が 35.9%と最も高く、ついで「T S マーク付帯保険」が 28.6%、「自動車保険のオプションに加入」が 24.3%となっている。

問 12. 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。

「加入の義務化」が 53.8%と最も高く、ついで「加入に対する県や市の補助」が 35.0%、「自転車保険の重要性に関する啓発」が 34.5%となっている。

問 13. 運転免許証自主返納制度を知っていますか。

「知っている」が 96.5%、「知らない」が 3.5%となっている。

問 14. あなた（又はそのご家族の方）は将来的に自主返納するつもりはありますか。

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が 74.5%と最も高く、ついで「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が 30.5%、「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が 29.6%となっている。

問 15. 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 71.8%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 49.6%、「公共交通機関の増発」が 39.4%となっている。

3. 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺について

問 16. 松阪市では、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺が増えています。特殊詐欺についてどう考えていますか。

「少し心配はしている」が 47.6%と最も高く、ついで「いつ被害にあうか、とても心配だ」が 18.1%、「それほど気にしていない」が 17.4%となっている。

問 17. 特殊詐欺の情報はどこで知りますか。

「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット」が 96.5%と最も高く、ついで「広報・回覧板」が 24.7%、「家族・知人」が 12.7%となっている。

問 18. 詐欺の疑いのある電話やハガキなどが来たことがありますか。

「ある」が 52.2%、「ない」が 46.4%となっている。

問 19. 特殊詐欺で犯人が使う言葉で知っているものはどれですか。

「会社の金を使い込んだ」が 69.2%と最も高く、ついで「金を代理人が取りに行く」が 68.9%、「このままでは裁判になる」が 64.7%となっている。

問 20. 被害にあわないために気をつけていることはありますか。

「すぐに家族や知人に相談」が 51.5%と最も高く、ついで「特に何もしていない」が 33.9%、「留守番電話に設定している」が 20.7%となっている。

問 21. 被害にあわないようにするには、今後どうすれば良いと思いますか。

「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨てる」が 61.0%と最も高く、ついで「知らない番号からの電話に出ない（ナンバーディスプレイの電話に替える）」が 53.6%、「家族や知人と常に連絡を取り合う」が 51.0%となっている。

4. 医療提供体制について

問 22. 松阪市内には 3 総合病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、松阪市民病院）があります。これらの病院は原則として、休日・夜間に救急車での搬送を必要とする重症の方や、精密な検査などが必要でかかりつけ医等の紹介状を持った方しか受診することができないことを知っていますか。

「よく知っている」が 43.1%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 33.7%、「知らない」が 11.8%となっている。

問 23. 国の医療行政では、ひとつの病院の中だけで完結する「病院完結型医療」ではなく、地域全体で医療から介護までを完結させて提供する「地域完結型医療」が方針とされていることを知っていますか。

「知らない」が 54.1%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 20.6%、「聞いたことはある」が 15.7%となっている。

問 24. いわゆる団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年を視野に、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化・連携を適切に推進するため、平成 29 年 3 月に三重県が『三重県地域医療構想』を策定したことを知っていますか。

「知らない」が 76.6%と最も高く、ついで「聞いたことはある」が 12.2%、「ある程度知っている」が 7.5%となっている。

問 25. 松阪市民病院の会計について、一定の経費（毎年度約 9 億円）を市が負担していることを知っていますか。

「知らない」が 58.5%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 18.8%、「聞いたことはある」が 14.5%となっている。

5. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

問 26. あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。

「知らない」が 47.4%と最も高く、ついで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 33.7%、「どんな病気か知っている」が 18.1%となっている。

6. 市運営コミュニティバスの運営形態について

問 27. 松阪市運営バスの運行経費は、運賃と公費に加え、その他の財源として、企業や沿線地域等の住民の協賛金でまかなわれているのを知っていますか。

「知らない」が 57.0%、「知っている」が 42.3%となっている。

問 28. 松阪市運営バスは、上記のように、協賛金をいただいているコミュニティバスは 100 円ないし 200 円の運賃で、廃止代替バスは三重交通の運賃形態と同様のもので運営しています。どの運営形態が望ましいと思いますか。

「企業協賛型コミュニティバス（企業協賛金と運賃 100 円）」が 44.5%と最も高く、ついで「地域協賛型コミュニティバス（地域協賛金と運賃 100～200 円）」が 36.0%、「廃止代替バス（協賛金制度はなく三重交通路線バスと同じ運賃）」が 11.8%となっている。

問 29. 昨年度の「市民意識調査（3000 人アンケート）」で、バスを利用する運賃として最も回答が多かった運賃の金額は、「200 円まで」でした。運賃 100 円のコミュニティバスについて、あなたの運賃に対する考え方に最も近いのは、次のうちどれですか。

「200 円になってもやむをえない」が 64.0%と最も高く、ついで「100 円のままにするべき」が 23.0%、「300 円以上でも構わない」が 8.5%となっている。

問 30. 松阪市のコミュニティ交通を、きめ細かいニーズに対応できるものとしていくには、どうしていくべきだと思いますか。

「地域ごとに独自の取組を検討していく」が 43.2%と最も高く、ついで「デマンド型交通の導入を検討する」が 22.3%、「タクシーの利用を推進する」が 17.8%となっている。

7. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」について

問 31. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」を知っていますか。

「知らない」が 71.9%と最も高く、ついで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 21.4%、「知っている」が 5.6%となっている。

問 32. 手話に接したり、見聞きした経験はありますか。

「ない」が 55.6%、「ある」が 43.2%となっている。

問 33. 手話に関する取組について参加したいと思うものを選んでください。

「手話研修会など手話を学べる場」が 40.9%と最も高く、ついで「手話の普及啓発イベント」が 24.8%、「手話に関する講演会」が 22.7%となっている。

8. ごみの減量に効果的な取組みについて

問 34. あなたは、普段の生活の中で、何か燃えるごみを減らす取組や工夫をしていますか。

「ときどきしている」が 35.4%と最も高く、ついで「とてもよくしている」が 24.6%、「あまりしていない」が 22.9%となっている。

問 35. あなたは、普段、燃えるごみを減らすために、主にどのようなことに取り組んでいますか。また、特に取り組んでいない方は、どんな取組なら実行できそうですか。

「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が 52.2%と最も高く、ついで「資源物（紙類）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が 15.0%、「生ごみを出すとき、なるべく水分を切って出す」が 12.3%となっている。

問 36. あなたは、普段、紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌・雑紙）を主にどこに出していますか。

「地域の指定された集積所に出している」が 35.8%と最も高く、ついで「よく行くスーパーなどの店頭回収、民間業者が設置した資源物コンテナ回収等を利用している」が 26.1%、「地域の資源物集団回収の際に出している」が 24.6%となっている。

9. 観光施策について

問 37. あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。

「どちらかといえば観光地ではない」が 33.7%と最も高く、ついで「観光地ではない」が 23.9%、「どちらかといえば観光地である」が 22.5%となっている。

問 38. あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。

「周辺に周遊できる観光スポットが多い」が 28.1%と最も高く、ついで「温泉を楽しめる」が 15.8%、「歴史・文化を楽しめる」が 12.6%となっている。

問 39. もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、松阪牛（松阪肉）を除き、何を紹介（自慢）しますか。

「郷土の偉人を生み出した文化など」が 36.1%と最も高く、ついで「史跡、歴史的建造物、名勝、天然記念物などの文化財」が 34.2%、「特にない」が 24.7%となっている。

11. フルマラソンの開催について

問 42. 松阪のマラソンで走りたい（走ってほしい）と思うコースは、どのような場所だと思いますか。

「松坂城跡周辺や旧伊勢街道など歴史・文化を感じる場所」が 54.9%と最も高く、ついで「櫛田川周辺や松名瀬海岸などの自然を感じる場所」が 28.4%、「松阪駅周辺など市の中心地」が 6.4%となっている。

問 43. 各地のマラソンでは、ランナーに飲料水や軽食を提供する場所やフィニッシュ会場において各地の特産物や名物が提供されています。松阪のマラソンでランナーに提供するとすれば何が喜ばれると思いますか。

「イチゴなどのフルーツ」が 30.8%と最も高く、ついで「松阪茶」が 29.8%、「松阪肉」が 28.6%となっている。

問 44. フルマラソンをとおしてどのように松阪らしさを PR したら良いと思いますか。

「松阪の特産物を取り入れた大会にする」が 34.1%と最も高く、ついで「松阪の歴史・文化を取り入れた大会にする」が 33.3%、「松阪の自然を取り入れた大会にする」が 25.2%となっている。

問 45. フルマラソンの開催には多くのボランティアスタッフの活躍が不可欠です。フルマラソンの開催においてボランティアとして参加しようと思いますか。

「思わない」が 76.5%、「思う」が 19.8%となっている。

問 46. 各地のマラソンではコース沿道で住民や企業の方々が趣向を凝らし、応援が行われ大会を盛り上げています。個人やグループなどを問わず、コース沿道での応援に参加しようと思いますか。

「思わない」が 52.8%、「思う」が 44.4%となっている。

12. 住民協議会について

問 47. 住民協議会を知っていますか。

「知っている」が 38.5%と最も高く、ついで「知らない」が 35.8%、「聞いたことはある」が 24.6%となっている。

問 48. 住民協議会が主催する行事に参加されたことがありますか。

「ない」が 74.2%、「ある」が 23.6%となっている。

問 49. 現在、住民協議会と自治会について、その役割分担や違いがわかりにくいというご意見があります。そこで市として地域の独自性や自由度を広げるという観点から、これらを含めた地域組織の一本化を提案しています。

地域組織を一本化することについて、どう思いますか。

「どちらとも言えない」が 49.3%と最も高く、ついで「良いと思う」が 41.9%、「良くないと思う」が 5.8%となっている。

問 50. 現在、市のいろいろな部局からいろいろな団体（住民協議会、自治会など）を通じて地域へお渡ししているお金が合わせて2億4千万円ほどあり、市では今後この地域予算を受け入れていただく地域の窓口を集約したいと考えています。

窓口を集約することで、地域予算の流れがわかりやすくなりますが、受け取る側にとっては、地域予算の流れがそれまでとは変わってしまうこととなります。

地域予算の受け入れ窓口を集約して地域にお渡しすることをどう思いますか。

「どちらとも言えない」が 40.6%と最も高く、ついで「窓口を集約して交付するのが良い」が 40.1%、「これまでのように別々に交付するのが良い」が 15.7%となっている。

問 51. 各地域において地域づくりを進めていただくうえで、地区市民センターや各地区公民館はその拠点となる施設です。現在は市が管理・運営をしていますが、将来的には管理・運営を地域にお任せ（委託）し、市職員を行政と地域との連携を保つための調整役として配置することで、より自由度の高い拠点施設として地域づくりに活用していただくと考えています。

地区市民センターや各地区公民館の管理・運営を地域にお任せ（委託）することについて、どのように思いますか。

「どちらとも言えない」が 43.3%と最も高く、ついで「良いと思う」が 38.6%、「良くないと思う」が 14.8%となっている。

13. 市の窓口の最適配置について

問 52. 本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、どのようなところへ配置すべきであると思いますか。

「本庁、支所までの交通の便が悪いところ」が 49.1%と最も高く、ついで「本庁、支所までの距離が遠いところ」が 44.9%、「駅や商業店舗等、多くの人が集まる場所」が 27.8%となっている。

問 53. 居住人数等の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、どのような場所に（何ヶ所程度）必要であると思いますか。

「中学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（10ヶ所程度）必要」が 37.5%と最も高く、ついで「旧町（地域振興局）単位程度ごとに1ヶ所ずつ（4ヶ所程度）必要」が 35.5%、「小学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（40ヶ所程度）必要」が 17.9%となっている。

問 54. 松阪市は、東西約 50km、南北約 37km に広がっており、面積が三重県内で 2 番目に大きい市であることから、市の窓口の配置にあたっては、窓口までの距離についても考慮する必要があります。

距離の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、自宅や職場等からどのような距離までであれば不便を感じることなく手続きできると思いますか。

「5km 程度(自動車で 10 分程度)まで」が 39.8%と最も高く、ついで「10km 程度(自動車
で 20 分程度)まで」が 25.7%、「2km 程度(徒歩で 20 分程度)まで」が 23.6%となっている。

問 55. 「支所、出張所に必要」と思う業務はどれですか。

「証明書取得に関すること」が 71.3%と最も高く、ついで「届出に関すること」が 57.3%、
「保健、福祉に関すること」が 21.0%となっている。

問 56. 平成 30 年 2 月より、「戸籍謄本」、「住民票」、「印鑑登録証明書」、「所得証明書」などの証明書は、全国のコンビニで、マイナンバーカードを利用し、設置された自動交付機等を自分で操作することにより、市の窓口と同料金で、市役所の閉庁時間でも取得できるようになりました。(取得可能時間は証明書により異なります。) これからの証明書の取得について、あなたの考えをお聞かせください。

「コンビニ等で、自分で自動交付機等を操作して取得したい」が 46.7%と最も高く、ついで「市の窓口で、職員等に申請して取得したい」が 46.4%となっている。

問 57. 中山間地域等、交通の便が悪い地域等には、出張所を設置していますが、利用状況や運営費用等をふまえ、より利用しやすいサービスとして、現在の出張所に代わる新たなサービスも検討していく必要があります。どのようなサービスがあると良いと思いますか。

「地域に自動交付機等を設置するサービス」が 43.1%と最も高く、ついで「自宅でパソコンや携帯電話からインターネット等を使ってできるサービス」が 42.4%、「自宅に市の職員が訪問するサービス」が 25.8%となっている。

14. 松阪駅西地区の複合施設について

問 58. 松阪駅西地区に複合施設を計画していますが、下記の施設、機能についての重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ 1 つずつ選んで○をつけてください。

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「駐車場・駐輪場」が 65.7%、「飲食店」が 59.5%、「商業施設」が 53.2%となっている。

問 59. 複合施設ができた後、利用するとした場合の交通手段は何ですか。

「自家用車」が 79.6%と最も高く、ついで「バス」が 25.9%、「電車」が 21.7%となっている。

問 60. 複合施設にはどのようなことに配慮が必要だと思いますか。

「駐車場の確保・整備」が 48.8%と最も高く、ついで「駅から直接いける」が 22.3%、「公共交通の利便性の向上」が 10.2%となっている。

15. 市施設における使用料等の見直しについて

問 62. 市施設の使用料は同種の民間施設と比較してどのようにあるべきだと思いますか。

「民間施設より安くあるべき」が 67.0%と最も高く、ついで「民間施設と同額程度であるべき」が 19.0%、「わからない」が 9.5%となっている。

問 63. 市施設の維持管理や運営には費用がかかります。この費用は何によってまかなわれるべきだと思いますか。

「利用者（使用料）がほとんど（7～9割）を負担し、税金で一部（1～3割）を負担する」が 31.4%と最も高く、ついで「利用者（使用料）が半分（5割）を負担し、税金で半分（5割）を負担する」が 26.9%、「利用者（使用料）が全てを負担し税金では負担しない」が 14.3%となっている。

問 64. それぞれの市施設は、設置経過や目的、建築年度、規模、構造、立地条件等が異なります。市施設の使用料を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきだと思いますか。

「集会施設、会議室、テニスコートなど同じ種類の施設は使用料の決め方を統一するべき」では、そう思う（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が 53.5%となっている。

「すべての施設の使用料の決め方を統一するべき」では、そう思うが 43.1%となっている。

問 65. 市の施設は、利用目的や利用者の状況等によって、通常より安価または無料で使用できるようになる減免制度がありますが、その考え方となる使用料の減額や免除の基準が異なっており、同じ種類の施設でも統一されていません。施設の使用料の減額や免除の基準を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきだと思いますか。

「同じ種類の施設は考え方を統一するべき」が 38.7%と最も高く、ついで「全市的に考え方を統一するべき」が 23.4%、「現状のままで良い（それぞれの施設で考えて設定するべき）」が 17.2%となっている。

問 66. 市施設の使用料を設定する際に考慮すべきと思われることは何ですか。

「平日と休日、日中と夜間等、料金設定の区別」が 35.4%と最も高く、ついで「営業（営利）目的、公共目的等の区別」が 34.3%、「市内や近隣の類似（同種）の民間施設の料金」が 32.8%となっている。

16. 広報全般について

問 67. 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。

「広報まつさか」が 75.5%と最も高く、ついで「自治会などの回覧」が 45.3%、「新聞」が 25.7%となっている。

問 68. 広報まつさかを読んでいますか。

「毎月読んでいる」が 35.0%と最も高く、ついで「時々読む」が 24.4%、「大体読んでいる」が 23.6%となっている。

問 69. 広報まつさかでよく読む記事を次のうちから選んでください。

「イベント・講座案内」が 49.0%と最も高く、ついで「まちのできごと」が 43.5%、「特集」が 41.0%となっている。

問 70. 松阪市ホームページを利用していますか。

「必要なとき」が 47.1%と最も高く、ついで「見たことがない」が 42.6%、「月 1 回以上」が 2.8%となっている。

問 71. 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。

「見たことがない」が 61.8%と最も高く、ついで「必要なとき」が 25.4%となっている。

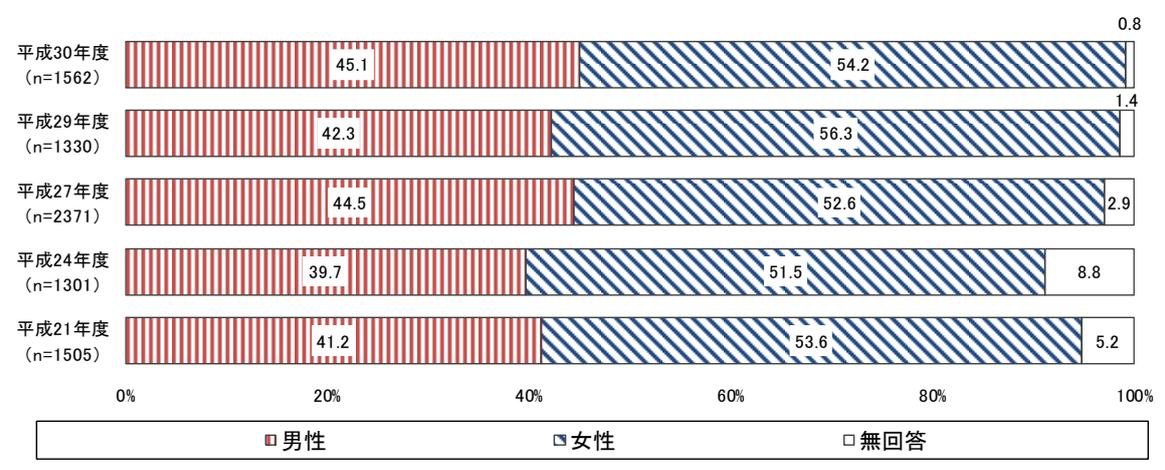
問 72. ご覧になった番組をお聞かせください。

「アイウエーブまつさか（行政情報・地域情報など）」が 79.7%と最も高く、ついで「特集（松阪歴史探訪、いきいき健康情報など）」が 30.9%、「市議会放送」が 15.1%となっている。

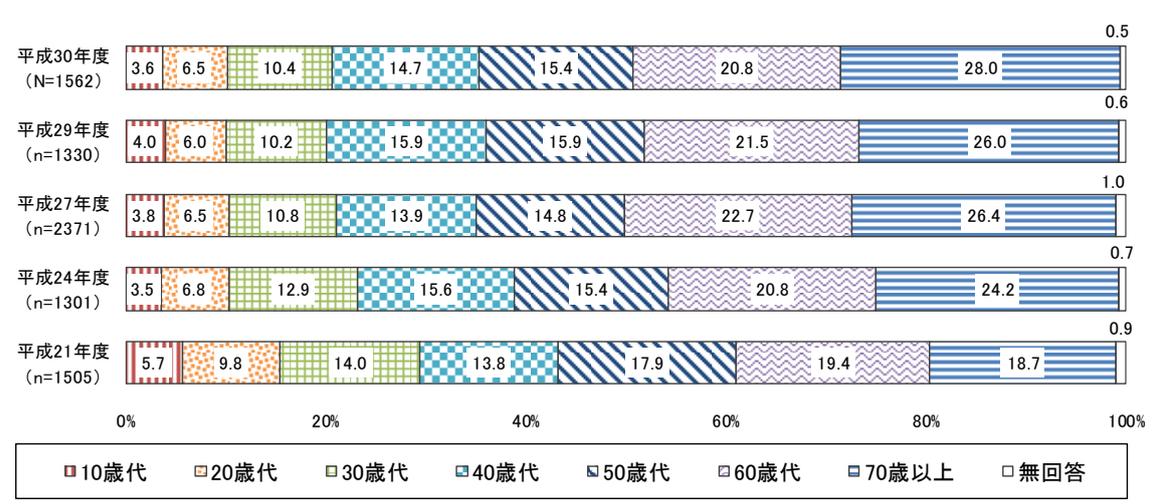
Ⅲ 調査結果

問1 あなたご自身に該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

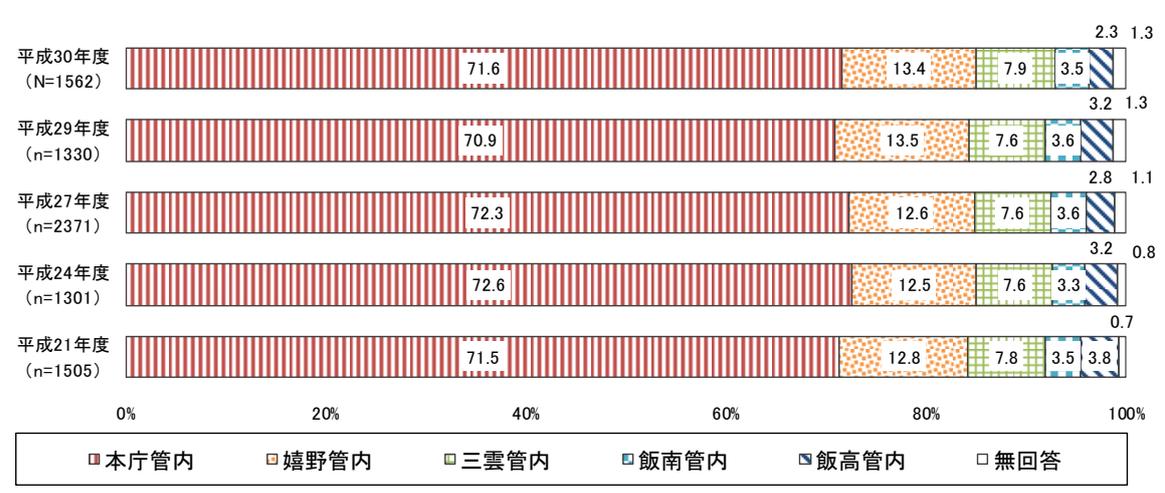
(1) 性別



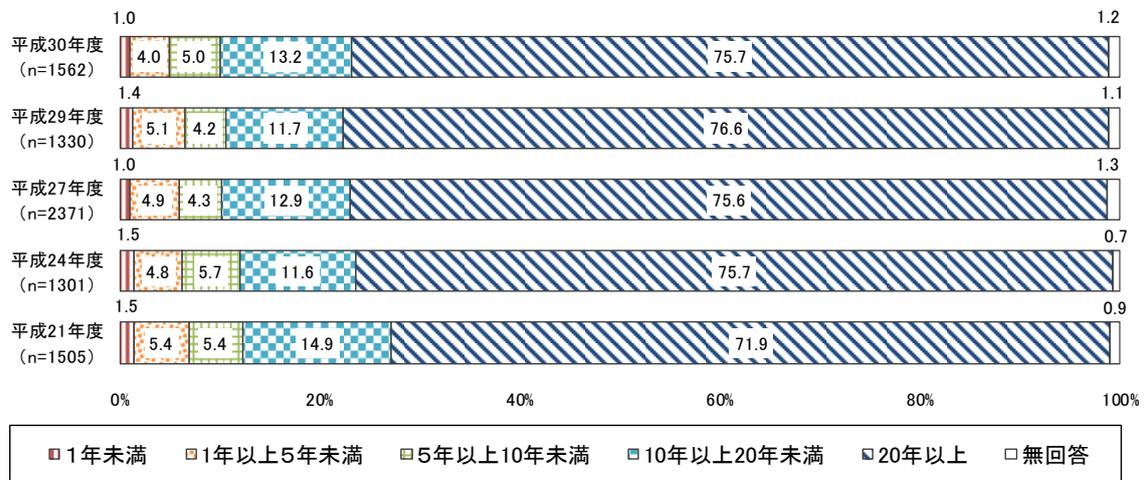
(2) 年齢



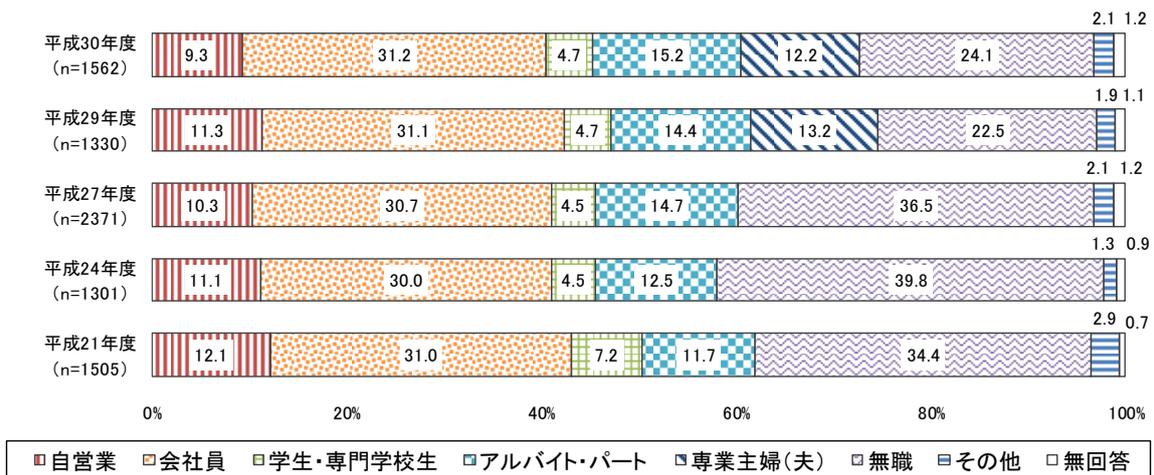
(3) 居住地



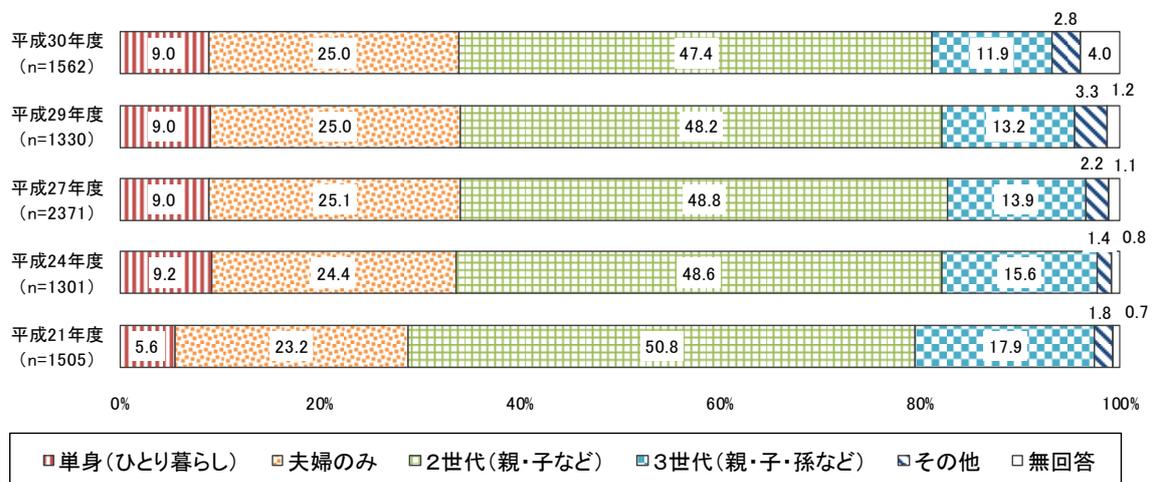
(4) 居住年数



(5) 職業



(6) 家族構成



1. 防災対策について

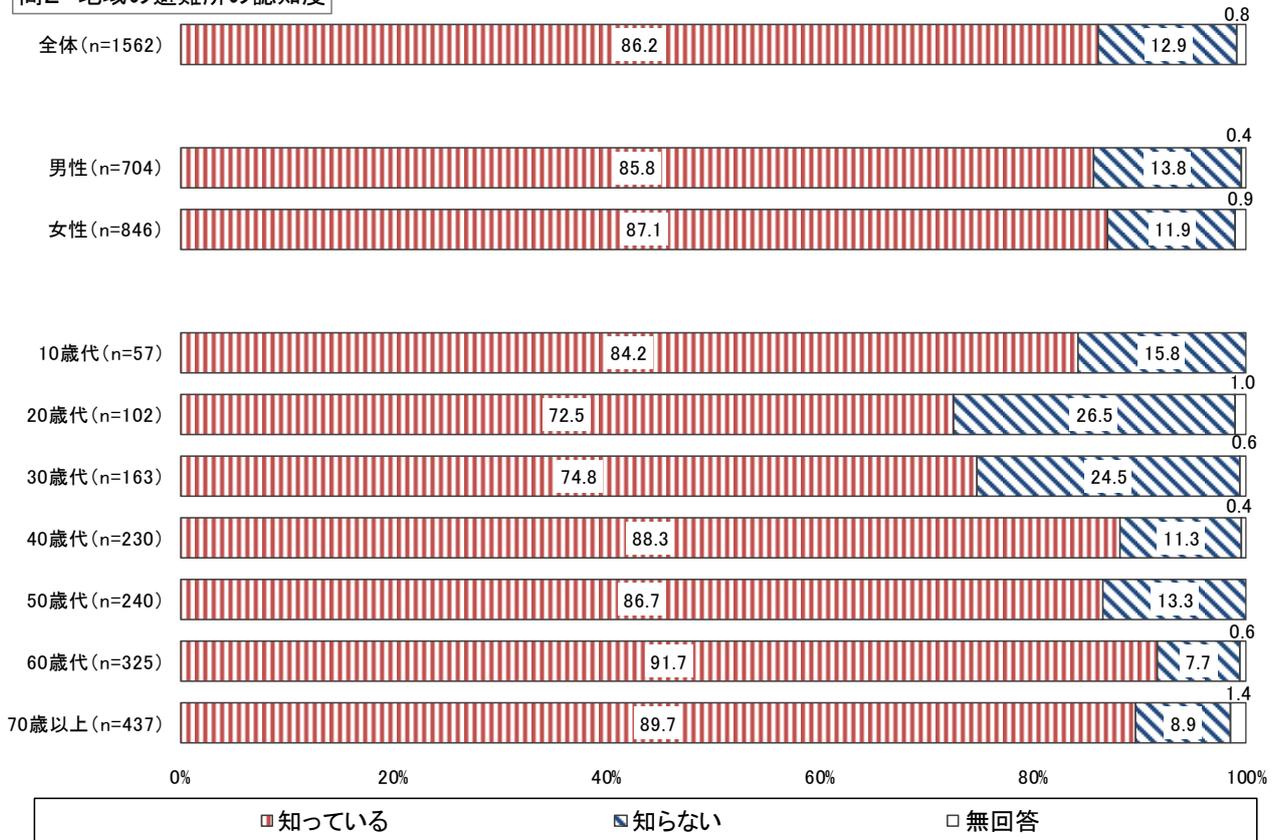
問2 あなたは地域の避難所を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」が86.2%、「知らない」が12.9%となっている。

性別にみると、「知っている」は女性の方が僅かに高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、20歳代、30歳代で他の年代よりも「知っている」が低く、8割未満となっているが、その他の年代ではいずれも8割を超えている。

問2 地域の避難所の認知度



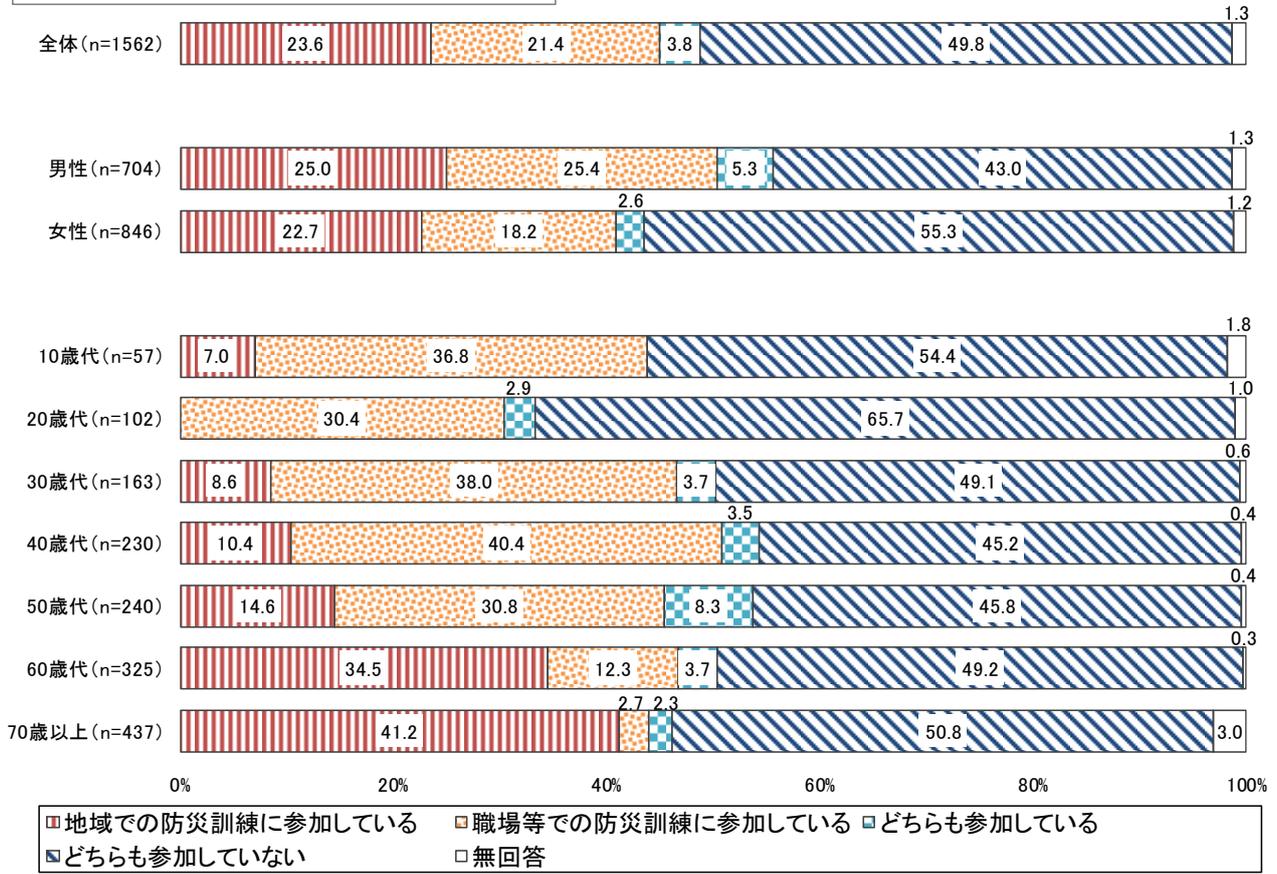
問3 地域、職場等での防災訓練に参加していますか。(〇は1つだけ)

「どちらも参加していない」が49.8%と最も高く、ついで「地域での防災訓練に参加している」が23.6%、「職場等での防災訓練に参加している」が21.4%となっている。

性別にみると、女性の「どちらも参加していない」が男性と比べ、10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「どちらも参加していない」が最も高くなっている。また、50歳代までは「職場等での防災訓練に参加している」が比較的高くなっている。ただし、30歳代以降「地域での防災訓練に参加している」が徐々に増加していき、60歳代以上になると「職場等での防災訓練に参加している」よりも高くなっている。

問3 地域、職場等での防災訓練に参加しているか



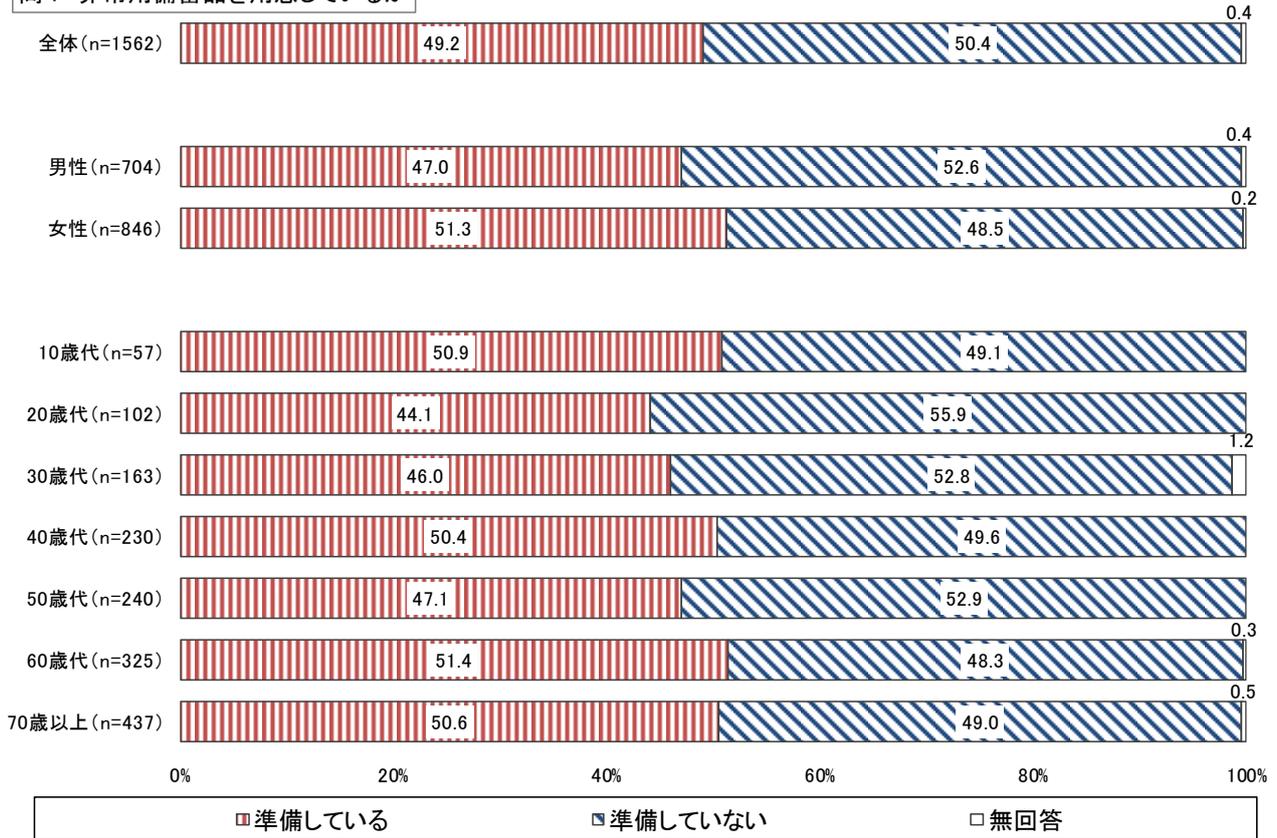
問4 非常用備蓄品を準備していますか。(〇は1つだけ)

「準備していない」が50.4%、「準備している」が49.2%となっている。

性別にみると、「準備している」は女性の方が男性よりもやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても概ね同様の傾向を示しているが、20歳代ではその他の年代よりも「準備している」がやや低くなっている。

問4 非常用備蓄品を用意しているか



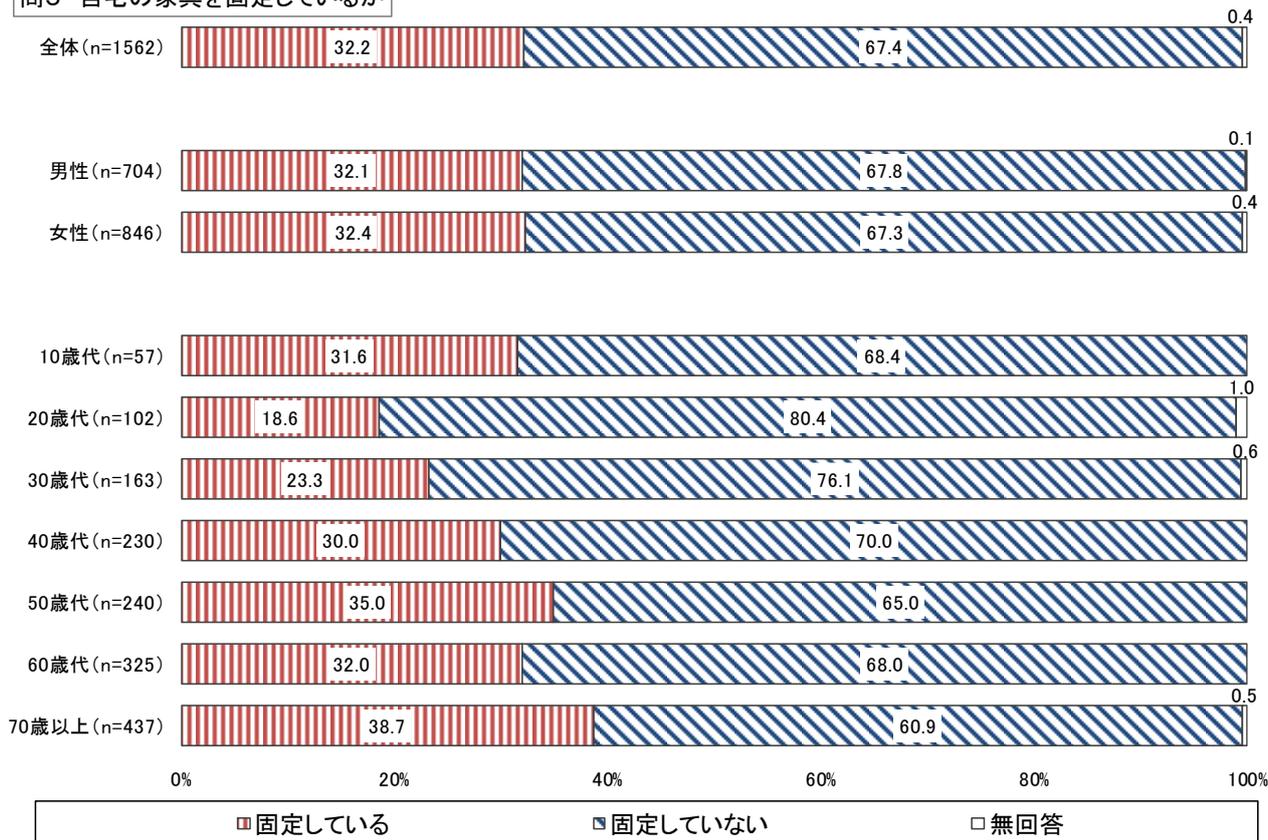
問5 ご自宅の家具を固定していますか。(〇は1つだけ)

「固定していない」が67.4%、「固定している」が32.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「固定している」が3割程度となっている。男性・女性ともに同様の傾向を示しており、性別による違いはみられない。

年代別にみると、20歳代では「固定している」が18.6%であるのが、年代が上がるにつれて増加傾向を示し、70歳以上では38.7%となっている。

問5 自宅の家具を固定しているか



2. 交通安全対策について

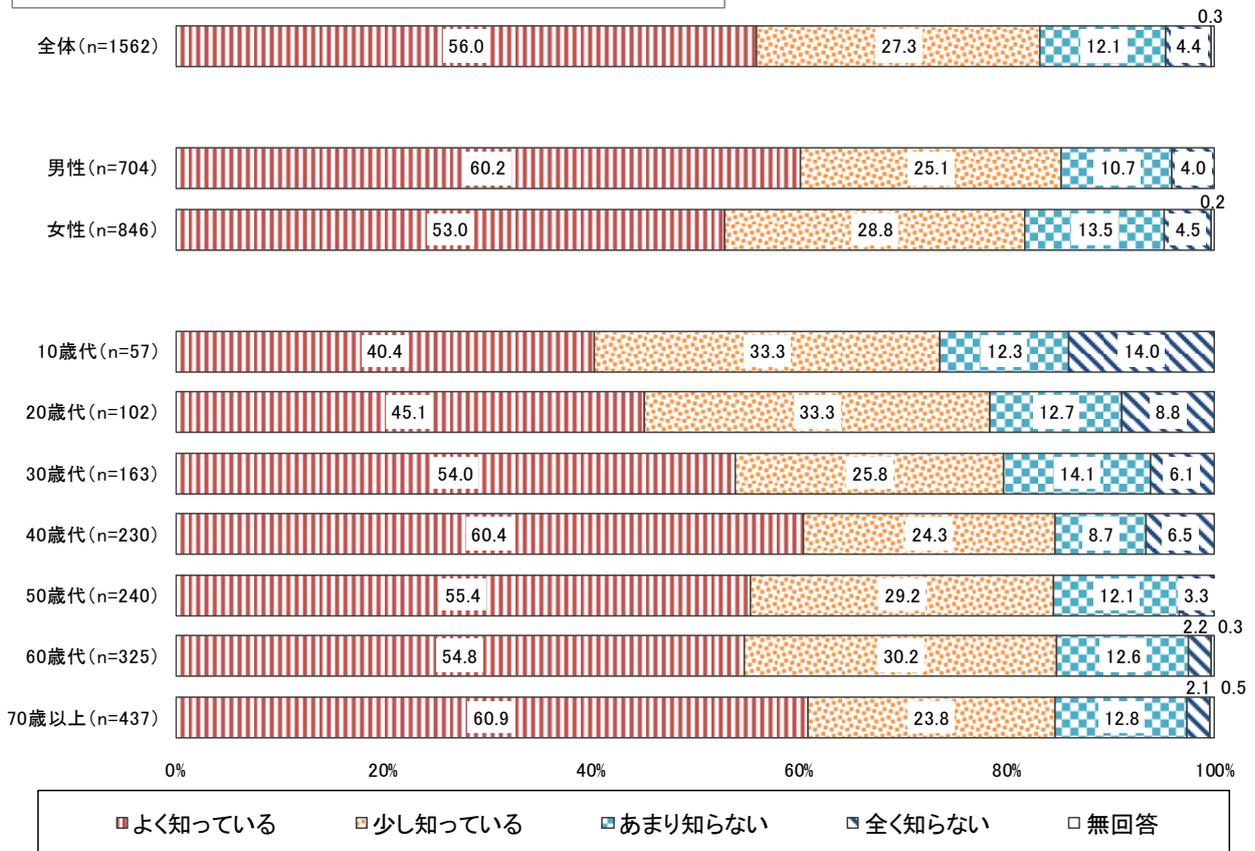
問6 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。(〇は1つだけ)

「よく知っている」が56.0%と最も高く、ついで「少し知っている」が27.3%、「あまり知らない」が12.1%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「よく知っている」が高く、60.2%となっている。

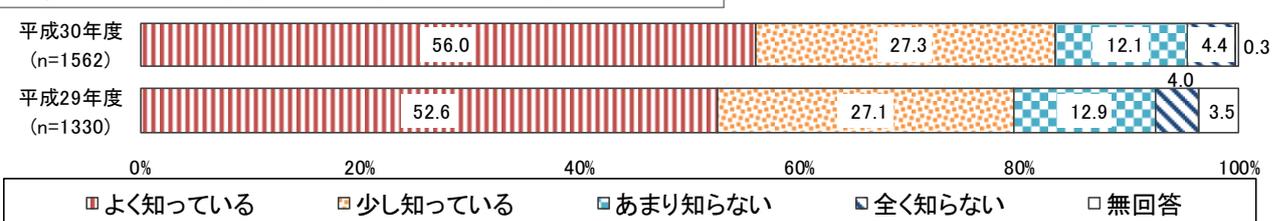
年代別にみると、いずれの年代においても「よく知っている」が最も高くなっている。ただし、10歳代から30歳代では「あまり知らない」「全く知らない」も他の年代よりもやや高く、2割を超えている。

問6 松阪市が他自治体と比べて交通事故が多いことを知っているか



前回と比較すると、知っている（「よく知っている」「少し知っている」の合計）人の割合がやや増加している。

問6 松阪市が他自治体と比べて交通事故が多いことを知っているか



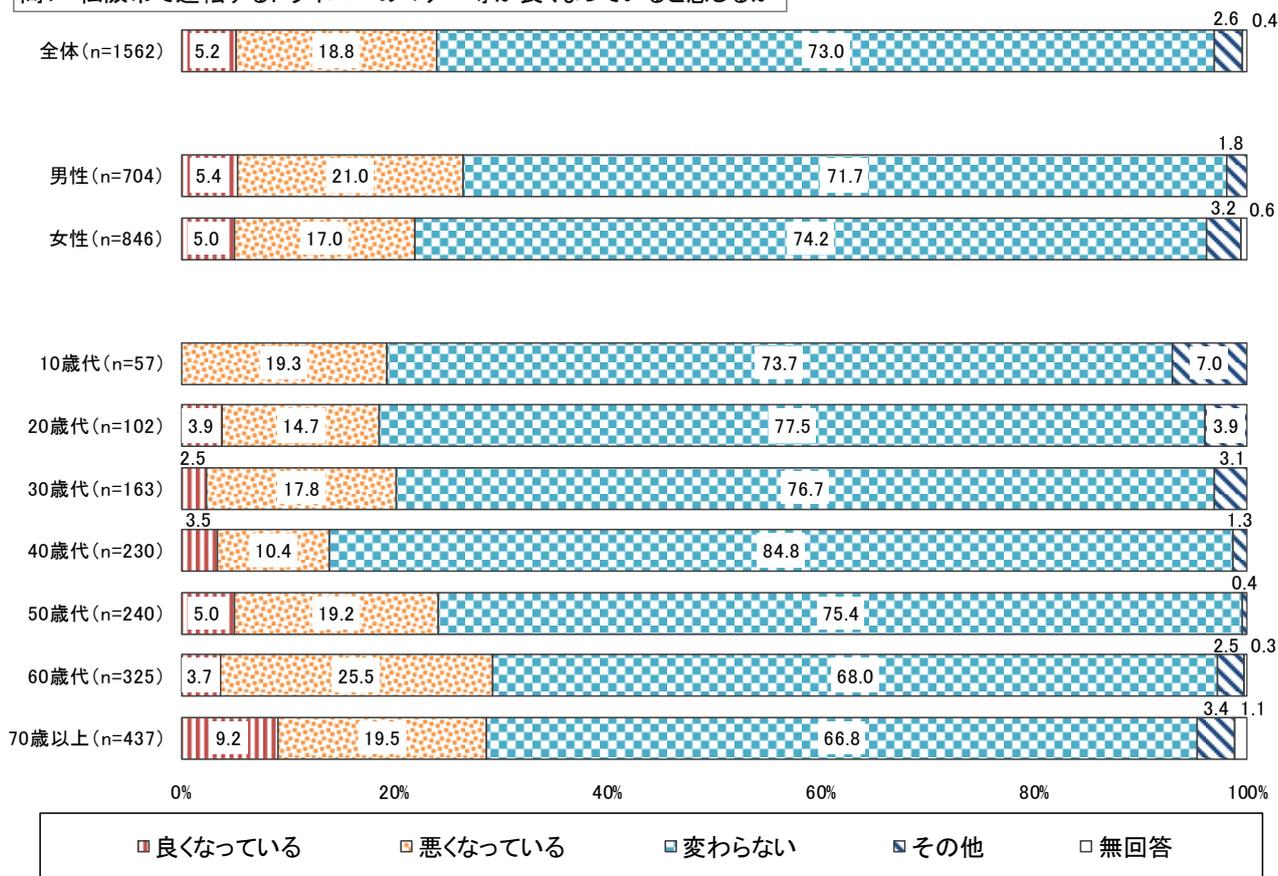
問7 松阪市で運転をするドライバーの交通ルールの遵守やマナーなど、最近良くなっていると感じたことがありますか。(〇は1つだけ)

「変わらない」が73.0%と最も高く、ついで「悪くなっている」が18.8%、「良くなっている」が5.2%となっている。

性別にみると、男性で「悪くなっている」が女性よりもやや高く、21.0%となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「変わらない」が最も高くなっている。また、70歳以上では「良くなっている」が他の年代よりも高く、9.2%となっている。

問7 松阪市で運転するドライバーのマナー等が良くなっていると感じるか

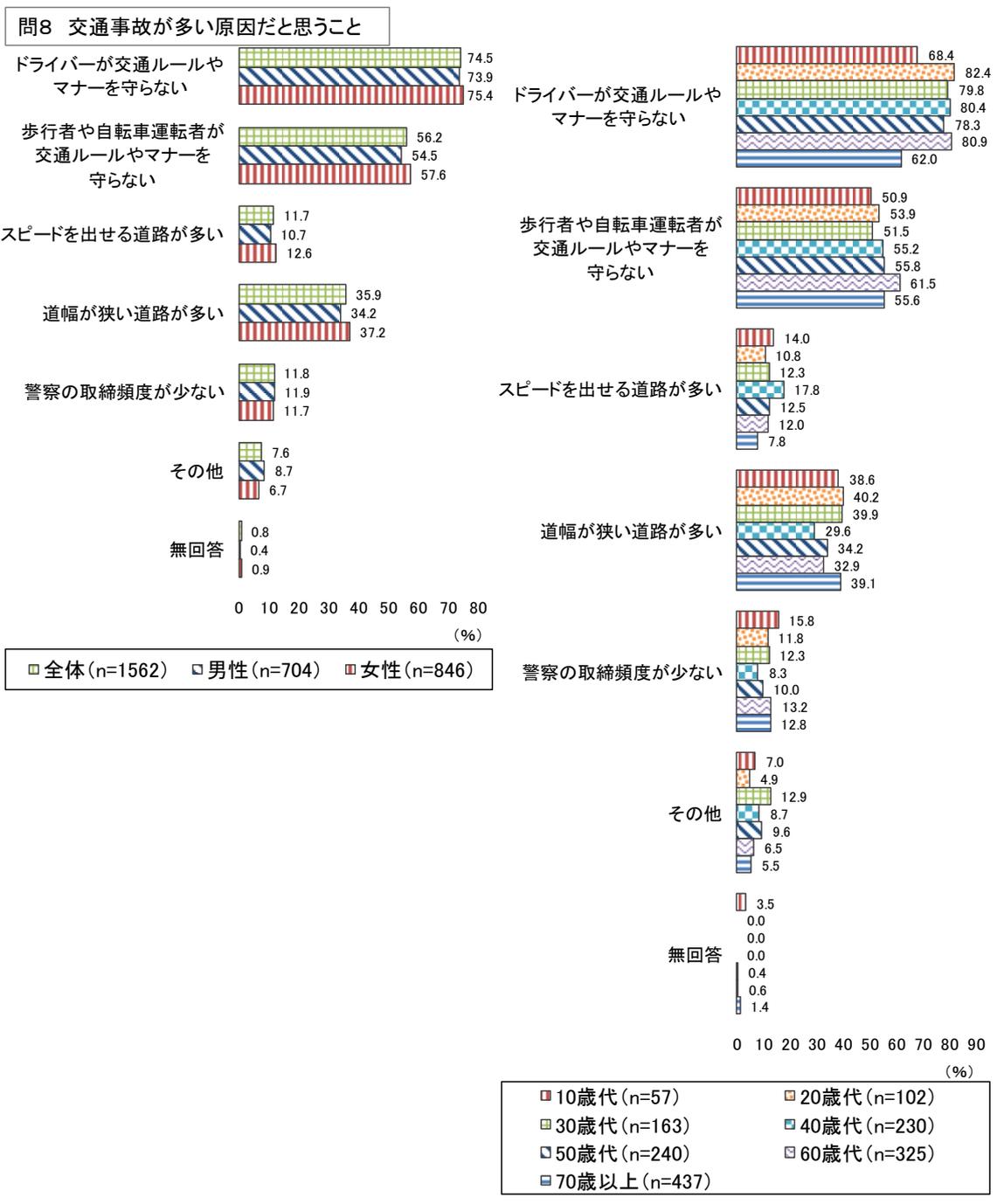


問8 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が74.5%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が56.2%、「道幅が狭い道路が多い」が35.9%となっている。

性別にみると、「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」は女性の方が男性よりもやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が10歳代と70歳以上で他の年代よりも低くなっており、いずれも7割未満となっている。



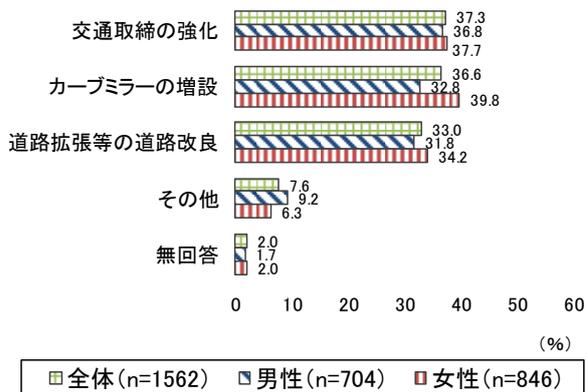
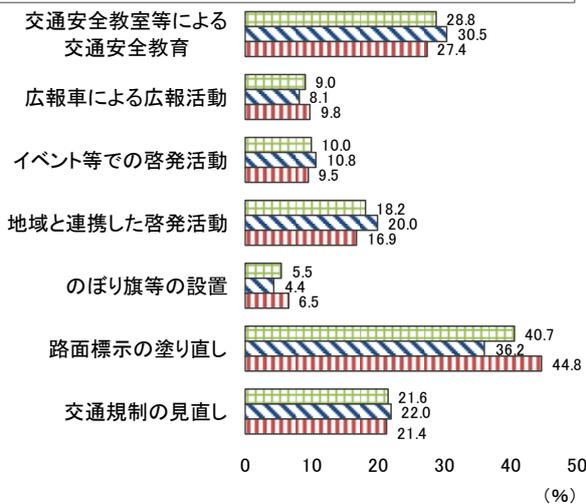
問9 交通事故を減らすためには、どのような活動が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「路面標示の塗り直し」が40.7%と最も高く、ついで「交通取締の強化」が37.3%、「カーブミラーの増設」が36.6%となっている。

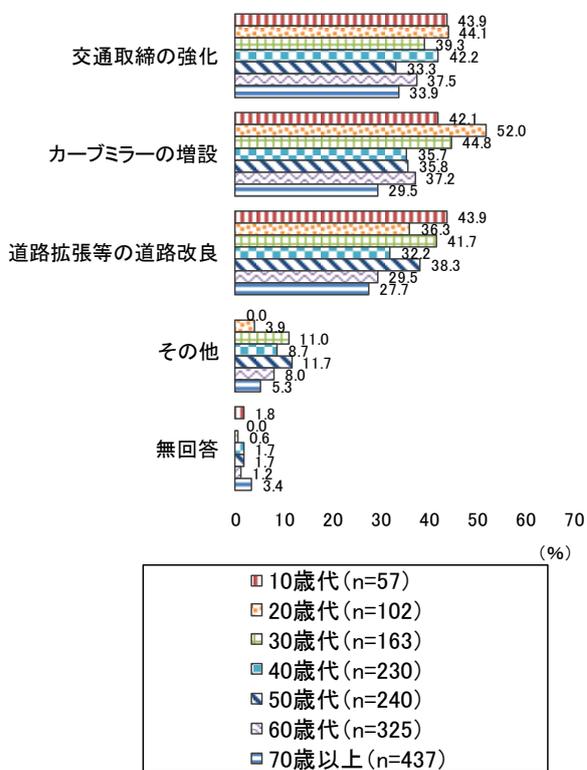
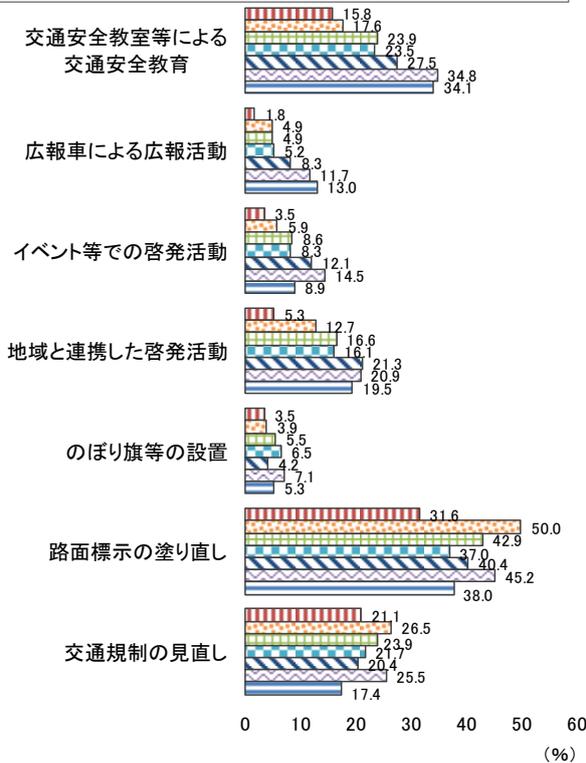
性別にみると、男性では「交通取締の強化」が最も高くなっているが、女性では「路面標示の塗り直し」が最も高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「交通安全教室等による交通安全教育」が15.8%であるが、60歳代以上では3割を超えており、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

問9 交通事故を減少させるために必要だと思う活動



問9 交通事故を減少させるために必要だと思う活動



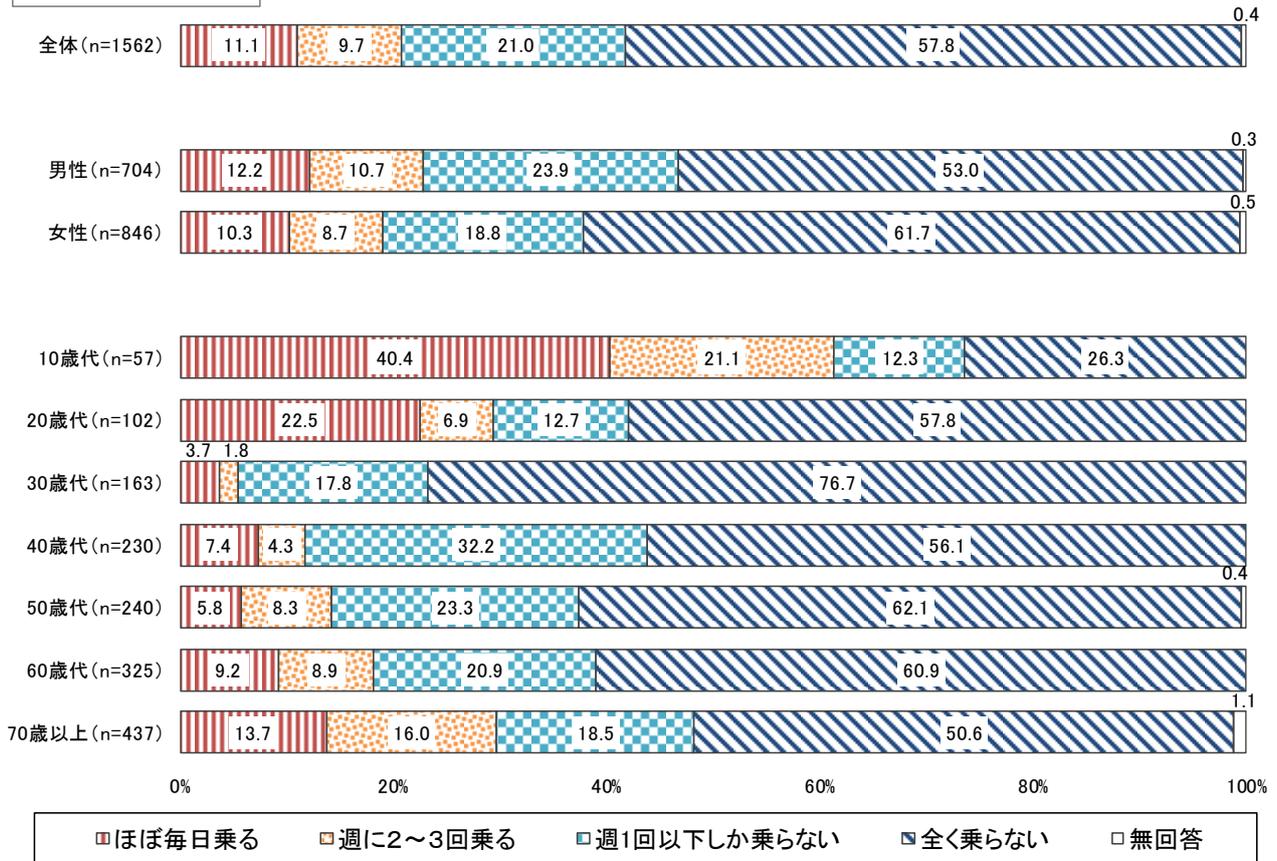
問10 あなたは自転車に乗りますか。(〇は1つだけ)

「全く乗らない」が57.8%と最も高く、ついで「週1回以下しか乗らない」が21.0%、「ほぼ毎日乗る」が11.1%となっている。

性別にみると、女性の方が「全く乗らない」が高く、61.7%となっている。

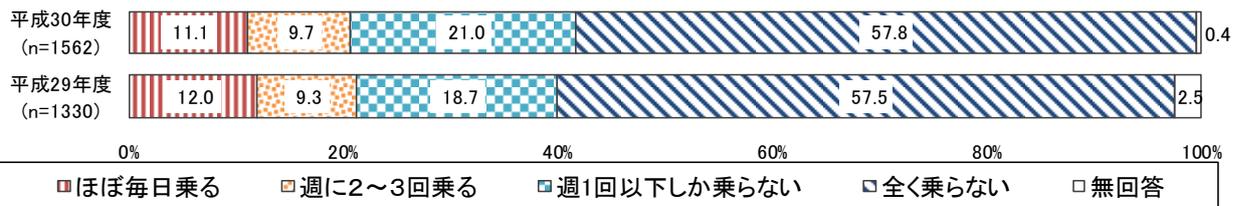
年代別にみると、10歳代を除く年代において「全く乗らない」が最も高くなっている。また、10歳代、20歳代では「ほぼ毎日乗る」が高くなっているが、30歳代では3.7%となっている。その後再び「ほぼ毎日乗る」が増加していき、70歳以上で1割を超えている。

問10 自転車に乗るか



前回と比較すると、「週1回以下しか乗らない」がやや増加しているが、年度による大きな差はみられない。

問10 自転車に乗るか



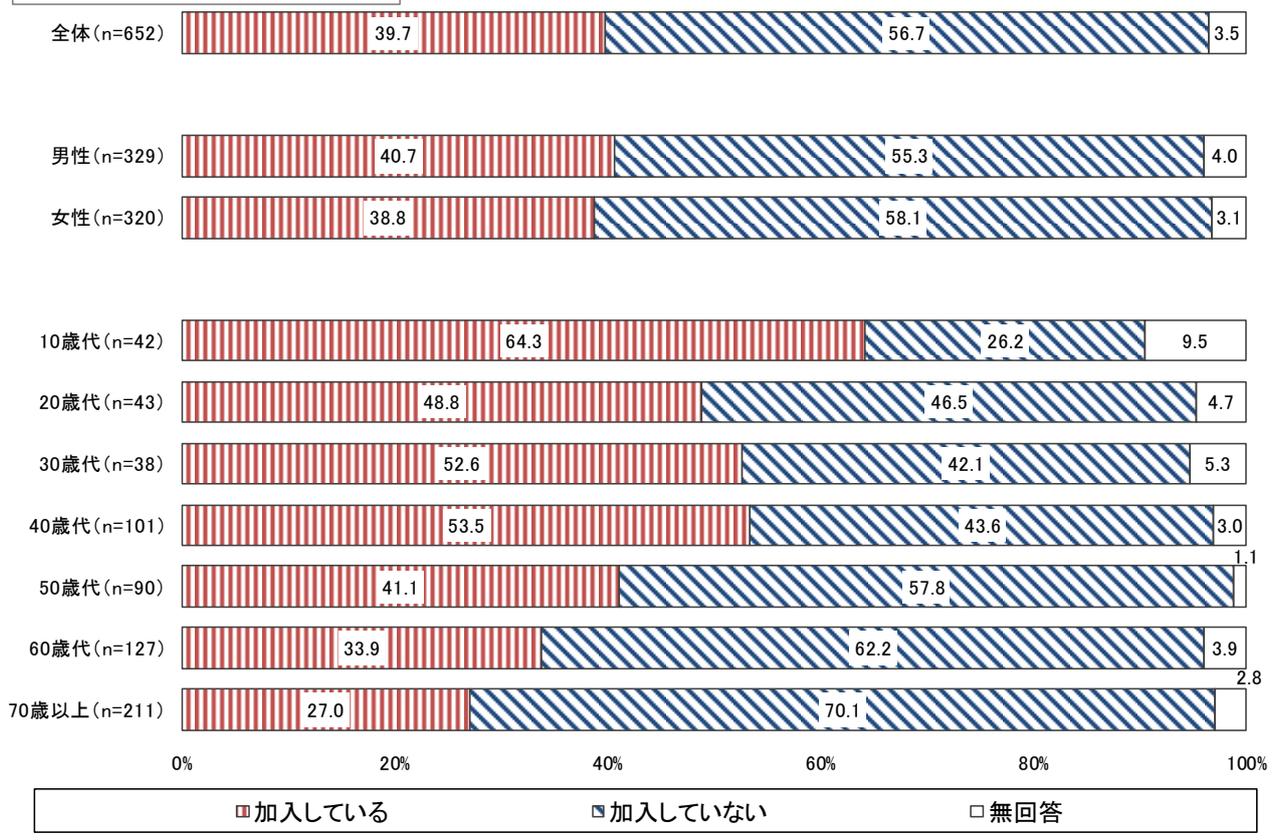
問11 あなたは現在自転車保険に加入していますか。(〇は1つだけ)

「加入していない」が56.7%、「加入している」が39.7%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「加入している」がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

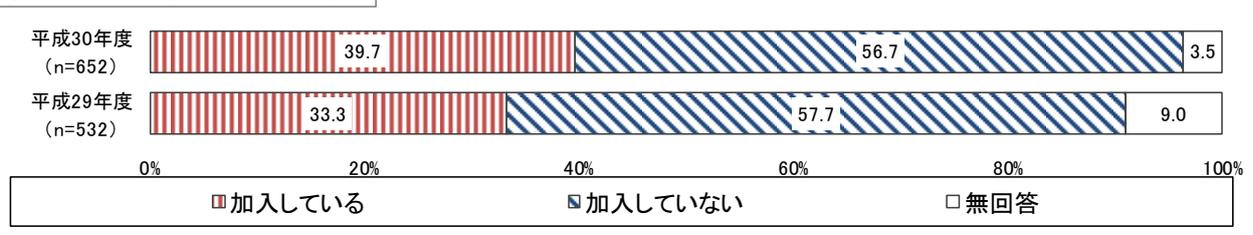
年代別にみると、10歳代では「加入している」が64.3%で他の年代よりも高くなっている。また、20歳代から40歳代では「加入している」が5割前後となっているが、40歳代以降、「加入している」は徐々に減少していき、70歳以上では3割未満となっている。

問11 自転車保険に加入しているか



前回と比較すると、「加入している」が5ポイント以上増加しており、39.7%となっている。

問11 自転車保険に加入しているか



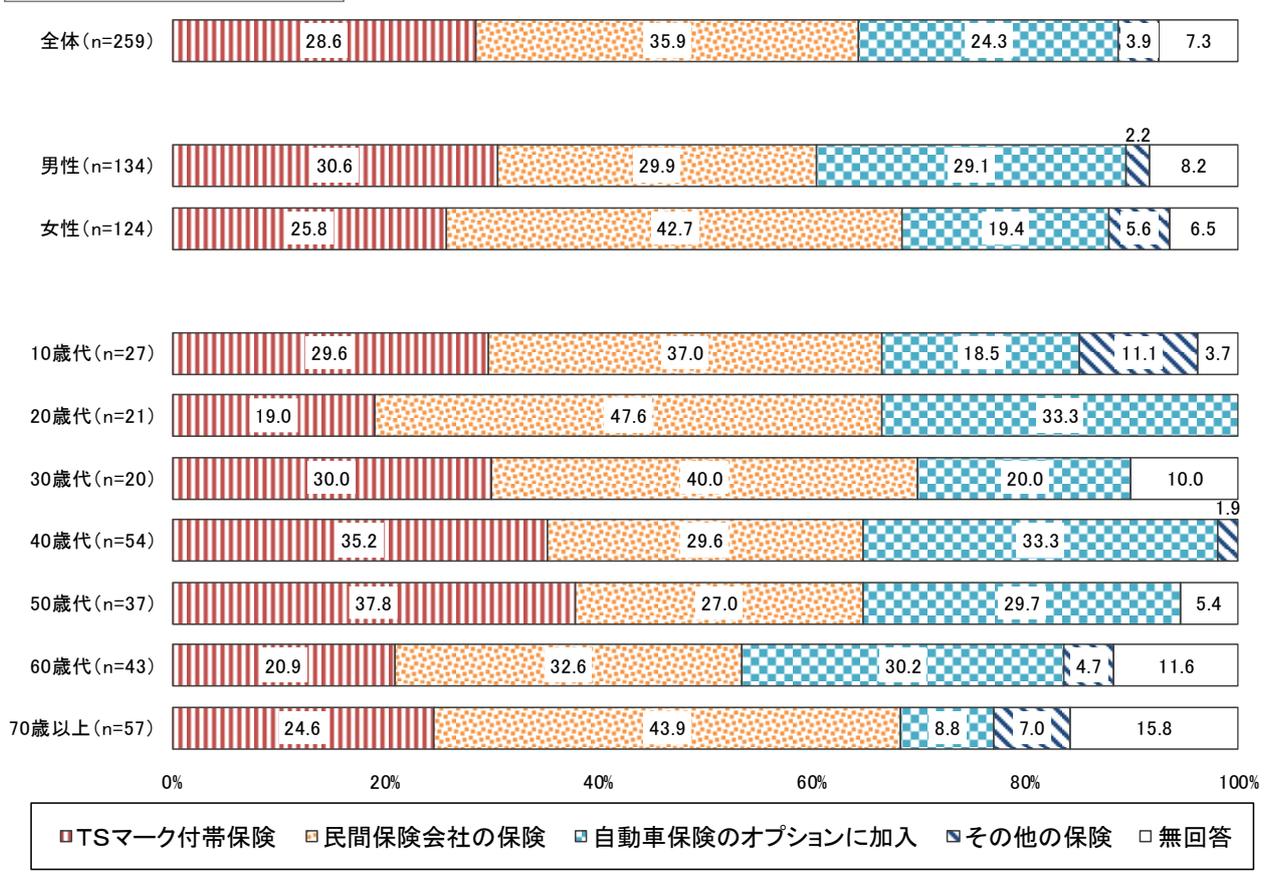
問 11-1 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が 35.9%と最も高く、ついで「TSマーク付帯保険」が 28.6%、「自動車保険のオプションに加入」が 24.3%となっている。

性別にみると、女性では「民間保険会社の保険」が 42.7%で男性よりも 10 ポイント以上高くなっている。一方で「自動車保険のオプションに加入」は男性の方が女性よりも 10 ポイント程度高く、29.1%となっている。

年代別にみると、40 歳代、50 歳代では、「TSマーク付帯保険」が最も高くなっているが、その他の年代では「民間保険会社の保険」が最も高くなっている。

問11 加入している保険の種類



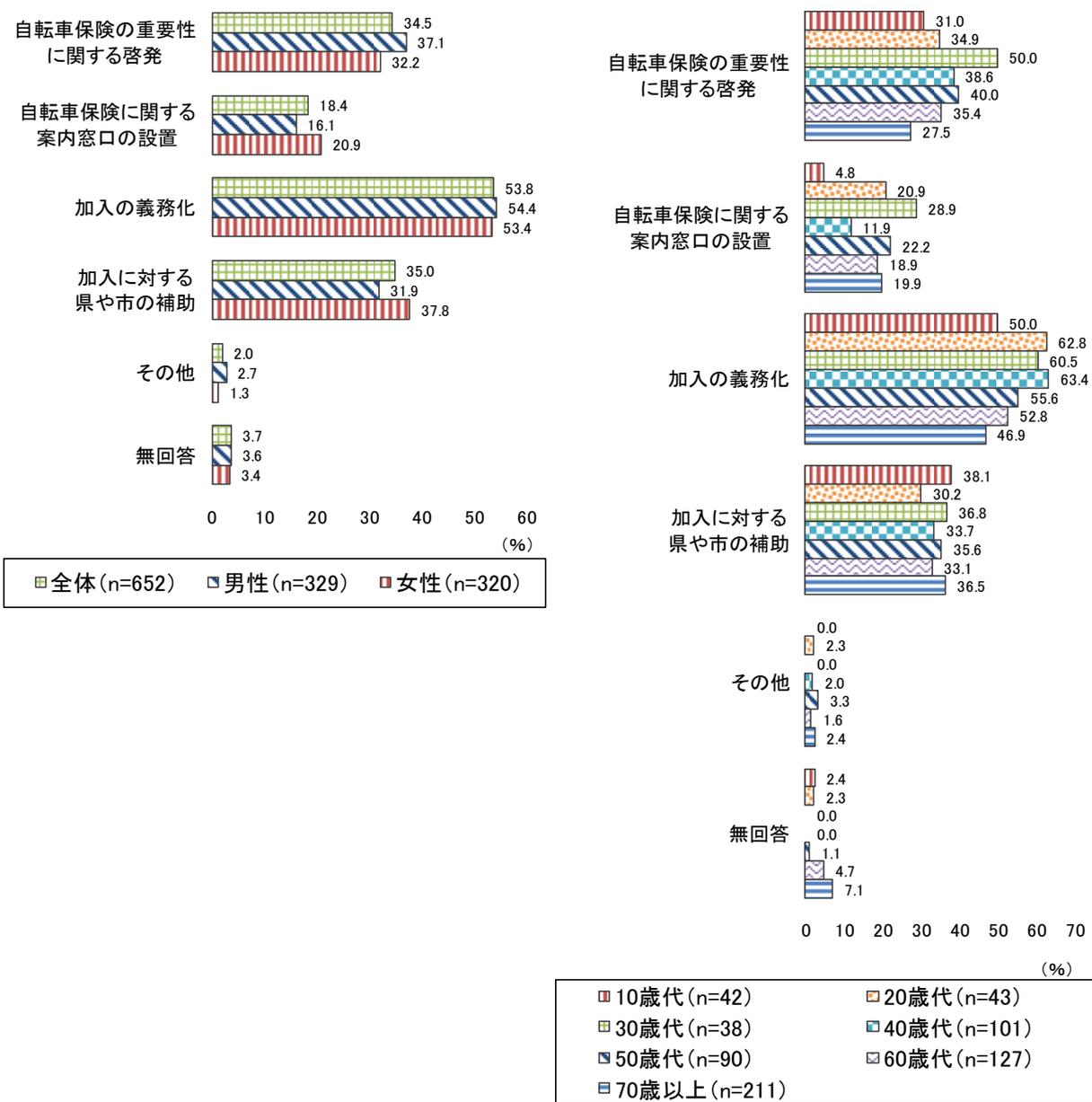
問12 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

「加入の義務化」が53.8%と最も高く、ついで「加入に対する県や市の補助」が35.0%、「自転車保険の重要性に関する啓発」が34.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「加入の義務化」が最も高くなっている。ついで、男性では「自転車保険の重要性に関する啓発」、女性では「加入に対する県や市の補助」が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「加入の義務化」が最も高くなっている。ただし、40歳代以降、年代が上がるにつれて徐々に減少していき、70歳以上では46.9%となっている。

問12 自転車保険の加入促進のために必要だと思う施策

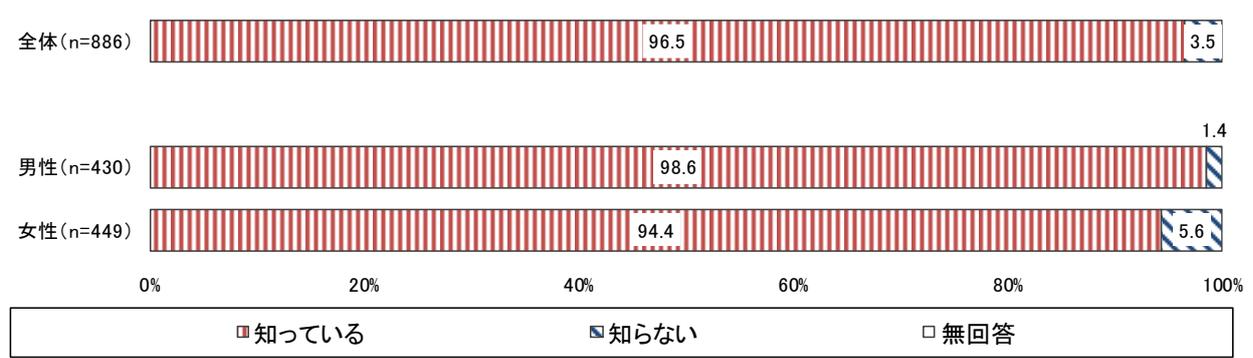


問13 運転免許証自主返納制度を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」が96.5%、「知らない」が3.5%となっている。

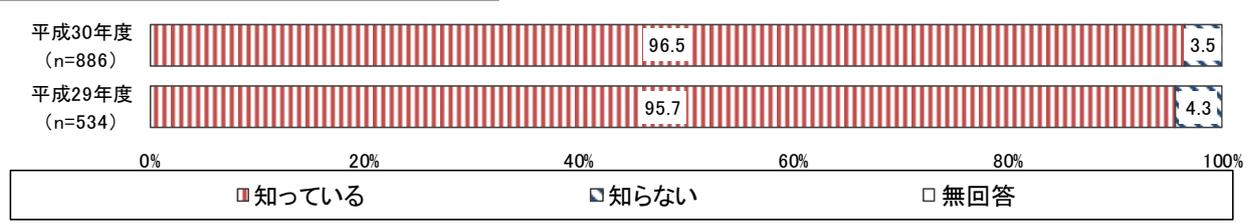
性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

問13 運転免許証自主返納制度を知っているか



前回と比較すると、「知っている」が僅かではあるが増加している。

問13 運転免許証自主返納制度を知っているか

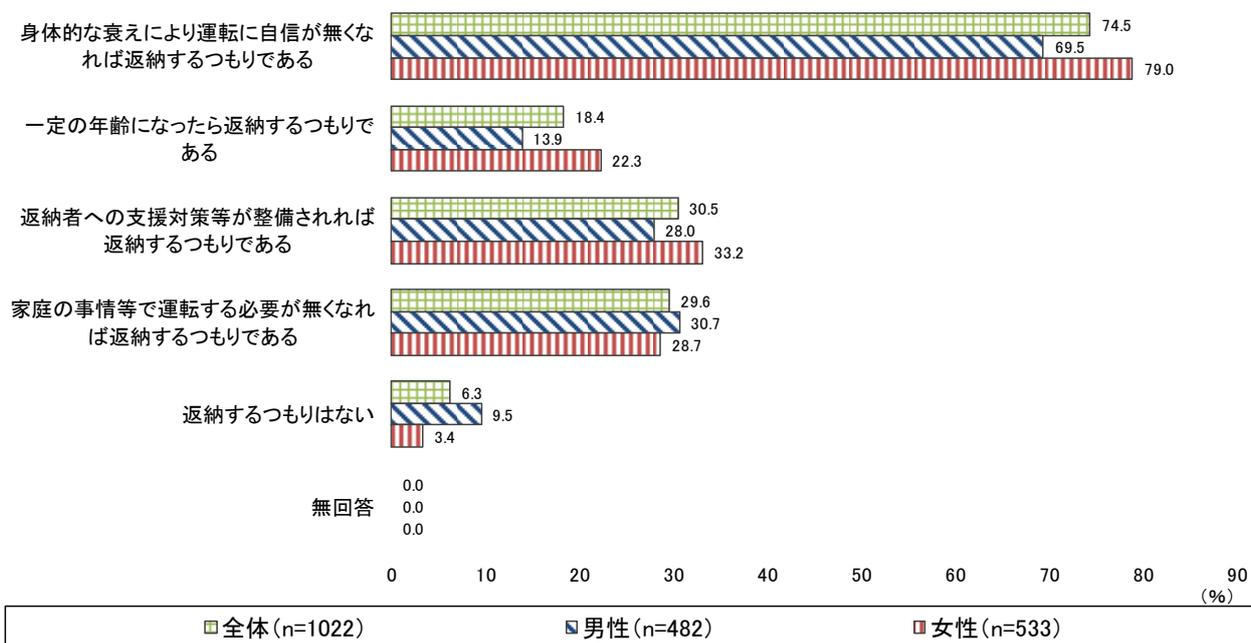


問 14 あなた（又はそのご家族の方）は将来的に自主返納するつもりはありますか。（〇はいくつでも）

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が74.5%と最も高く、ついで「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が30.5%、「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が29.6%となっている。

性別にみると、「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が女性では79.0%で男性よりも10ポイント程度高くなっている。

問14 将来的に自主返納するつもりはあるか

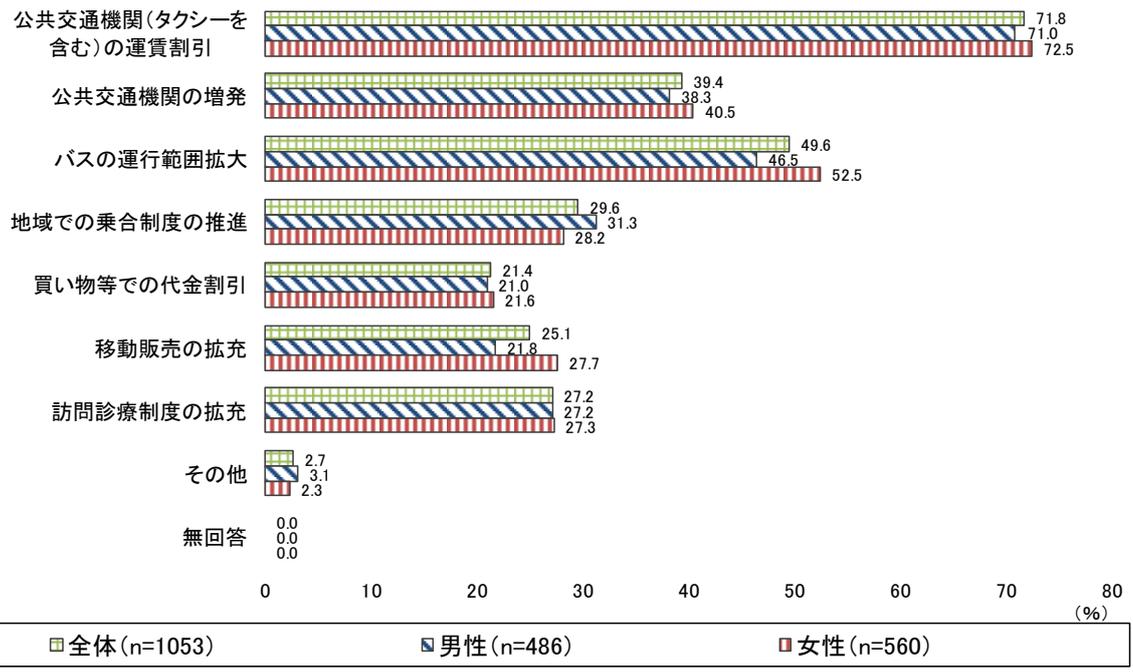


問 15 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 71.8%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 49.6%、「公共交通機関の増発」が 39.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が最も高くなっている。また、女性では「バスの運行範囲拡大」が 52.5%で男性よりも 5 ポイント以上高くなっている。

問15 返納者に対してどのような支援が必要だと思うか



3. 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺について

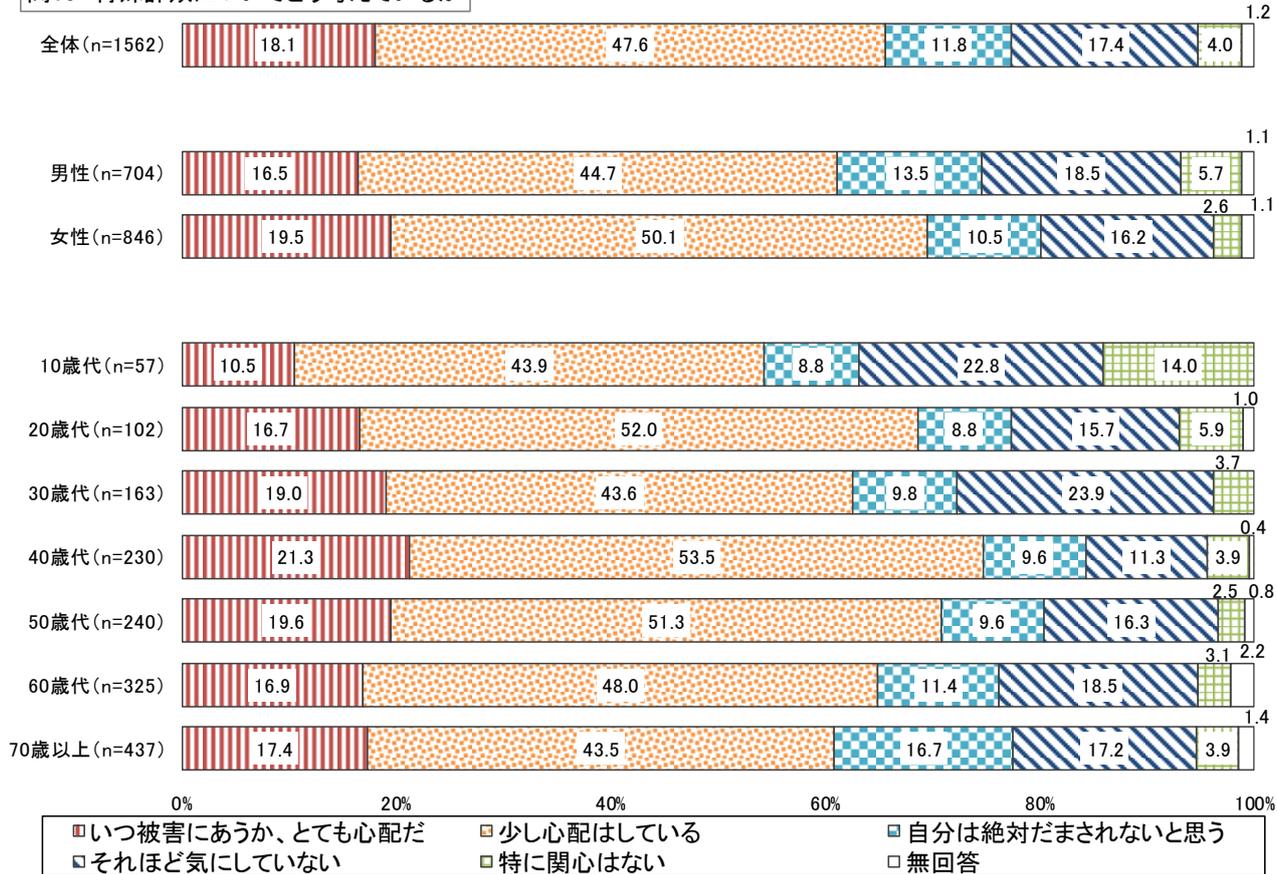
問 16 松阪市では、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺が増えています。特殊詐欺についてどう考えていますか。(〇は1つだけ)

「少し心配はしている」が47.6%と最も高く、ついで「いつ被害にあうか、とても心配だ」が18.1%、「それほど気にしていない」が17.4%となっている。

性別にみると、男性よりも女性の方が心配している(「いつ被害にあうか、とても心配だ」「少し心配はしている」の合計)人が10ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10歳代、30歳代では「それほど気にしていない」が他の年代よりも高く、2割以上となっている。また、40歳代では心配している人が7割半ばとなっており、他の年代よりも高くなっている。その後、心配している人は徐々に減少していき、70歳以上ではおよそ6割となっている。

問16 特殊詐欺についてどう考えているか



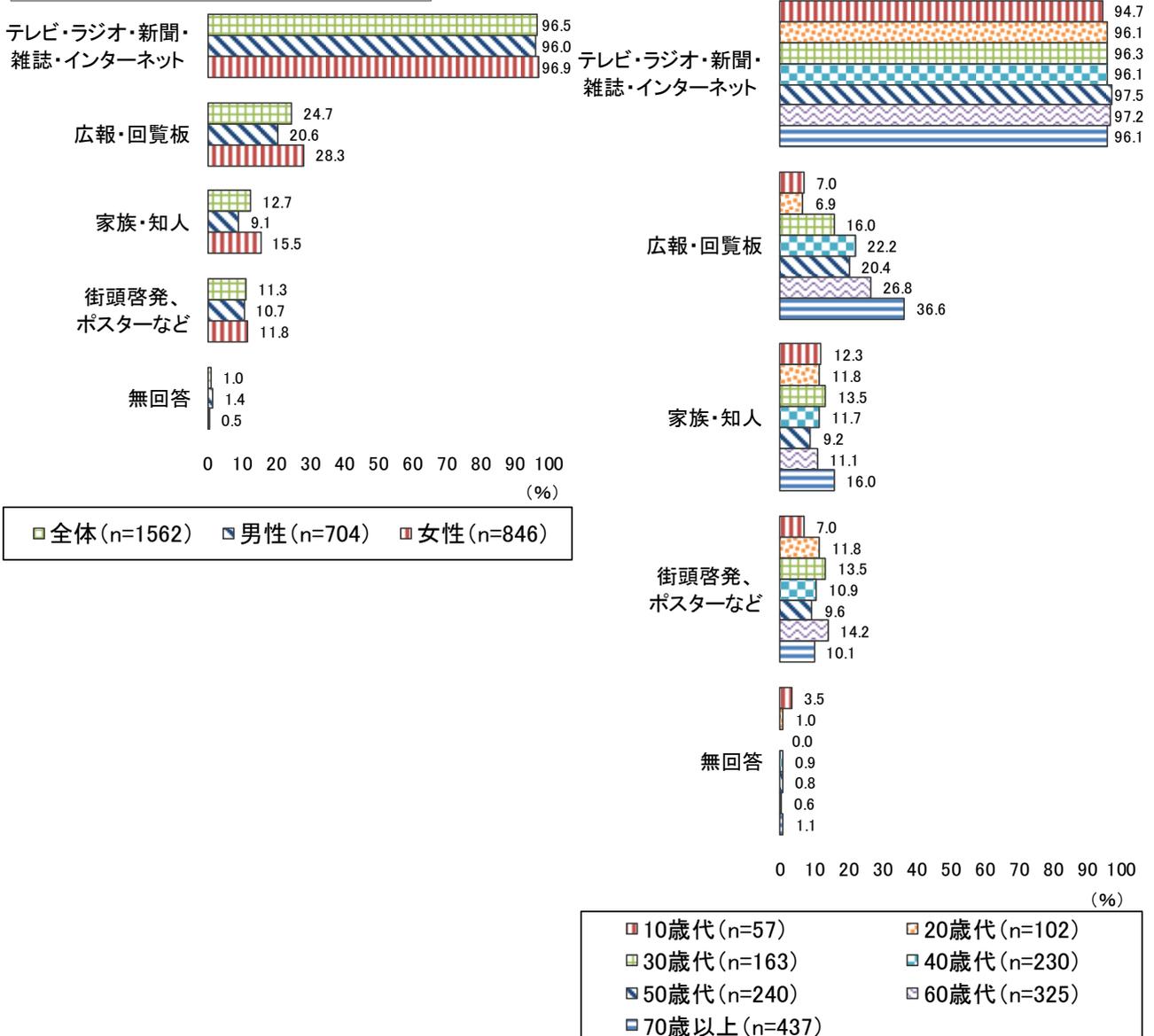
問17 特殊詐欺の情報はどこで知りますか。(〇はいくつでも)

「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット」が96.5%と最も高く、ついで「広報・回覧板」が24.7%、「家族・知人」が12.7%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット」が最も高くなっている。また、女性では「広報・回覧板」が男性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット」が高くなっている。また、年代が上がるにつれて「広報・回覧板」が増加する傾向がみられる。

問17 特殊詐欺の情報をどこで知るか



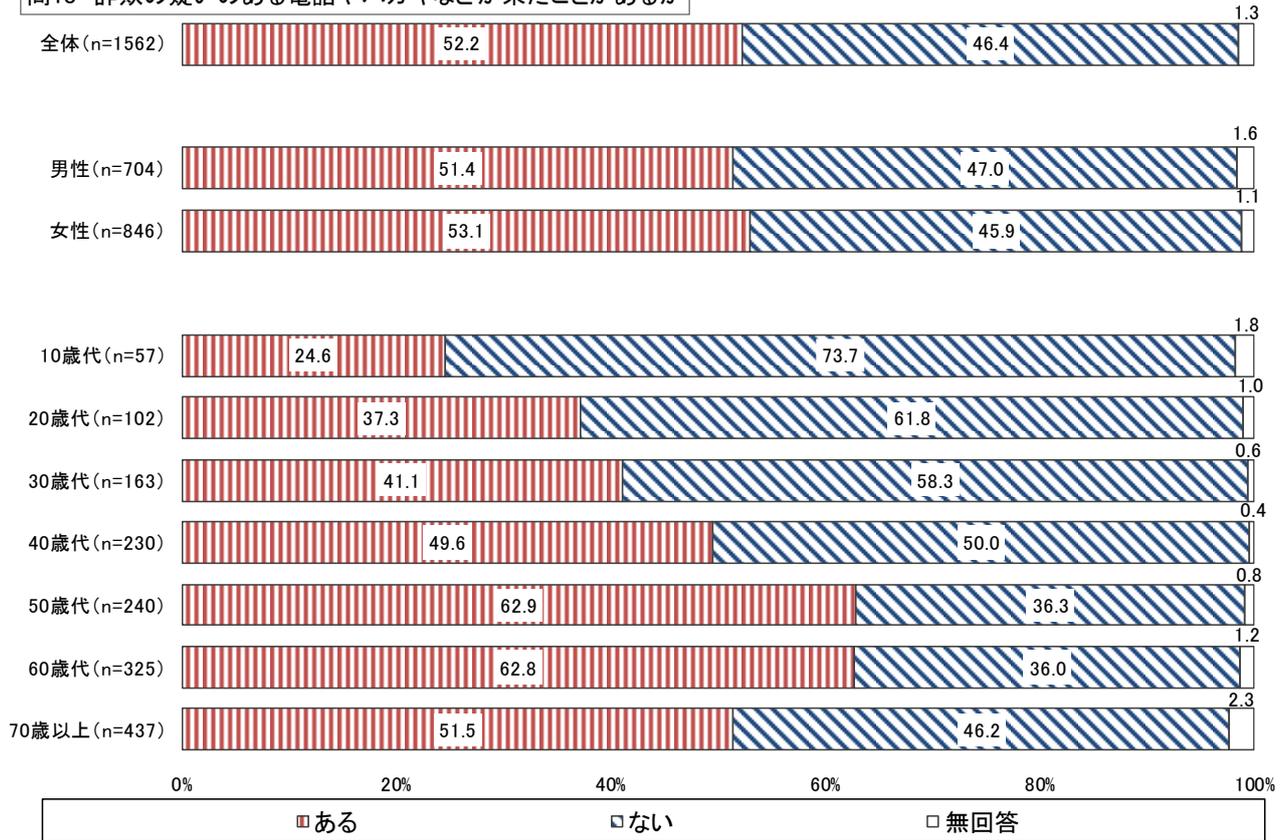
問18 詐欺の疑いのある電話やハガキなどが来たことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」が52.2%、「ない」が46.4%となっている。

性別にみると、女性の方が男性よりも「ある」がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代から徐々に「ある」が増加していき、50歳代、60歳代では6割以上となっている。

問18 詐欺の疑いのある電話やハガキなどが来たことがあるか

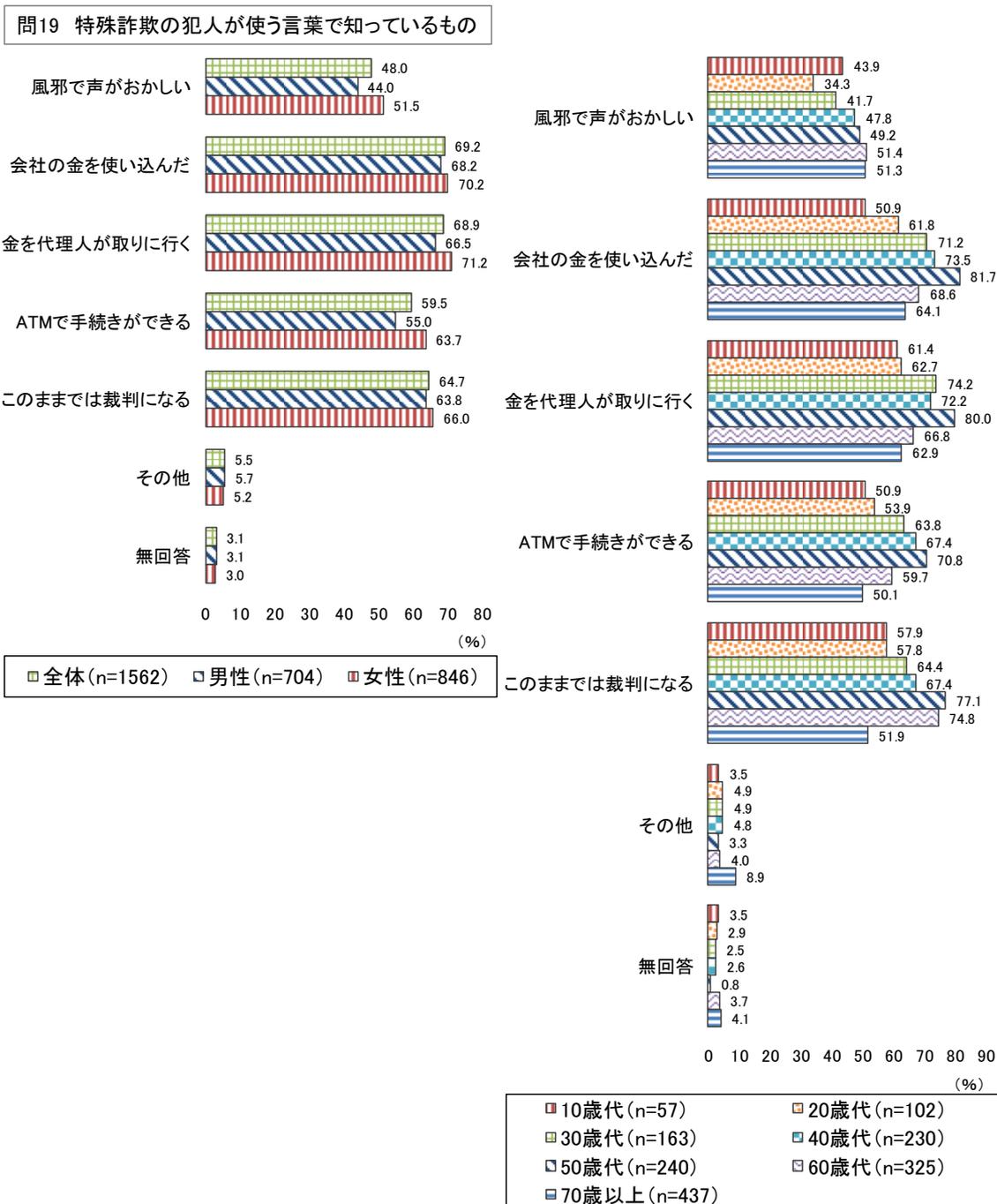


問 19 特殊詐欺で犯人が使う言葉で知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

「会社の金を使い込んだ」が69.2%と最も高く、ついで「金を代理人が取りに行く」が68.9%、「このままでは裁判になる」が64.7%となっている。

性別にみると、男性では「会社の金を使い込んだ」が68.2%で、女性では「金を代理人が取りに行く」が71.2%と最も高くなっている。また、「ATMで手続きができる」は女性の方が5ポイント以上高くなっており、男性と女性で差がみられる。

年代別にみると、「風邪で声がおかしい」以外の項目では10歳代、70歳以上の割合が他の年代よりも低くなっている。



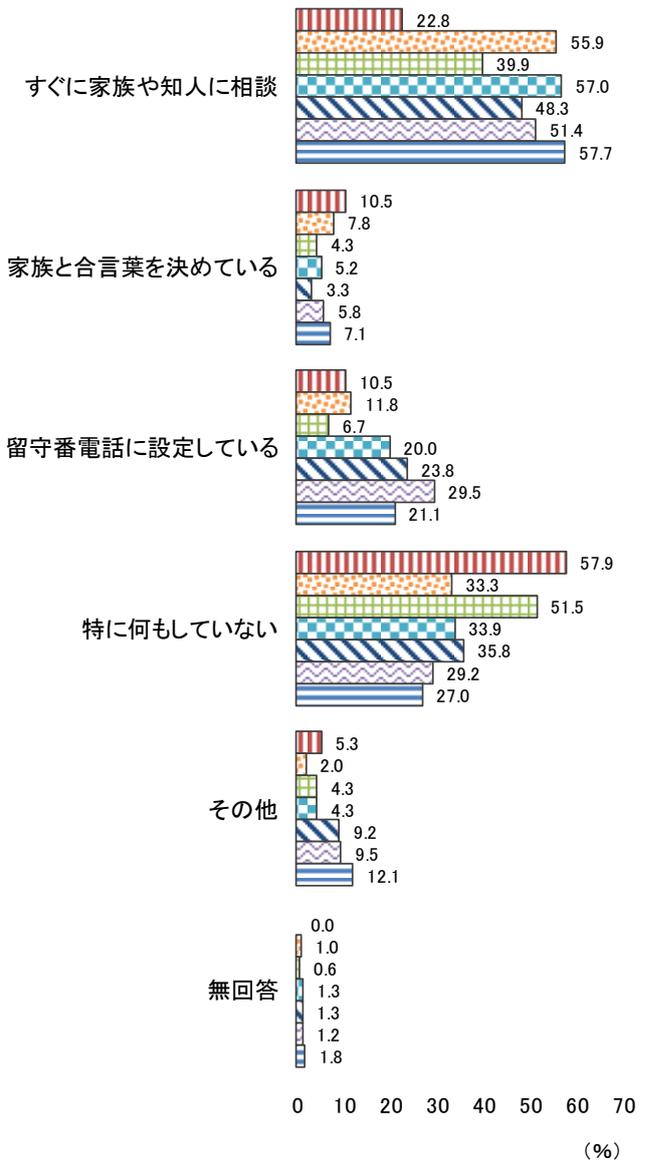
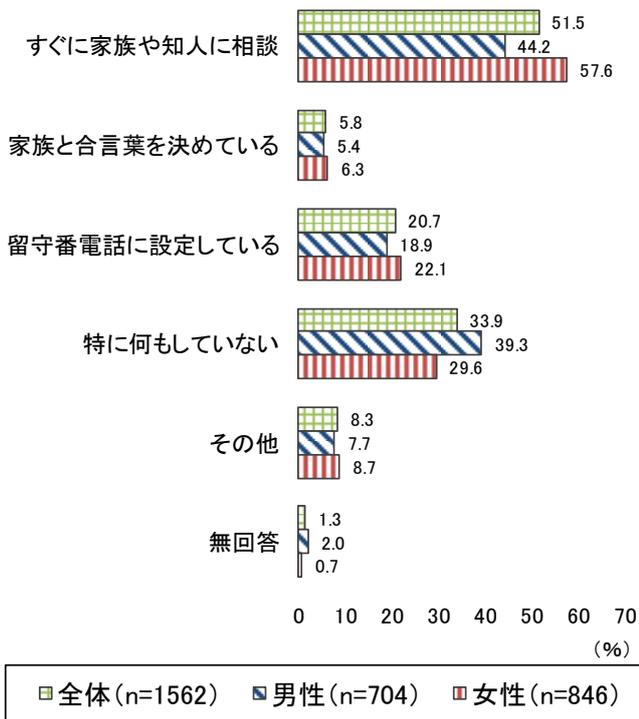
問 20 被害にあわないために気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

「すぐに家族や知人に相談」が51.5%と最も高く、ついで「特に何もしていない」が33.9%、「留守番電話に設定している」が20.7%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「すぐに家族や知人に相談」が最も高くなっている。特に女性では男性よりも10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、10歳代、30歳代では「特に何もしていない」が最も高く、いずれも5割を超えている。その他の年代では「すぐに家族や知人に相談」が最も高くなっている。

問20 被害にあわないために気をつけていること



特殊詐欺

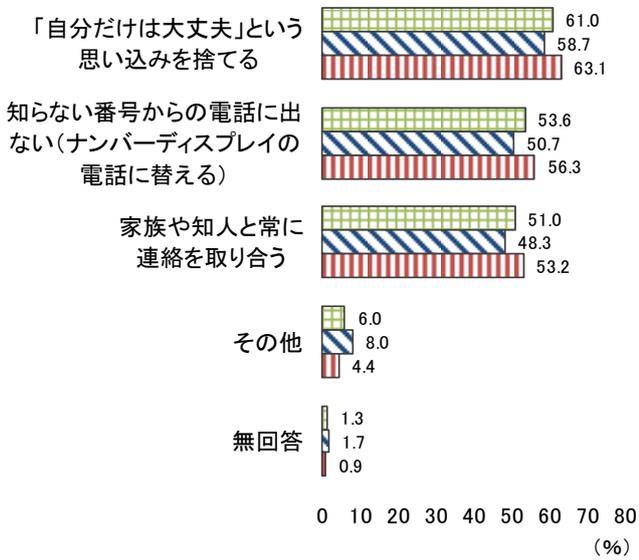
問 21 被害にあわないようにするには、今後どうすれば良いと思いますか。(〇はいくつでも)

「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨てる」が 61.0%と最も高く、ついで「知らない番号からの電話に出ない(ナンバーディスプレイの電話に替える)」が 53.6%、「家族や知人と常に連絡を取り合う」が 51.0%となっている。

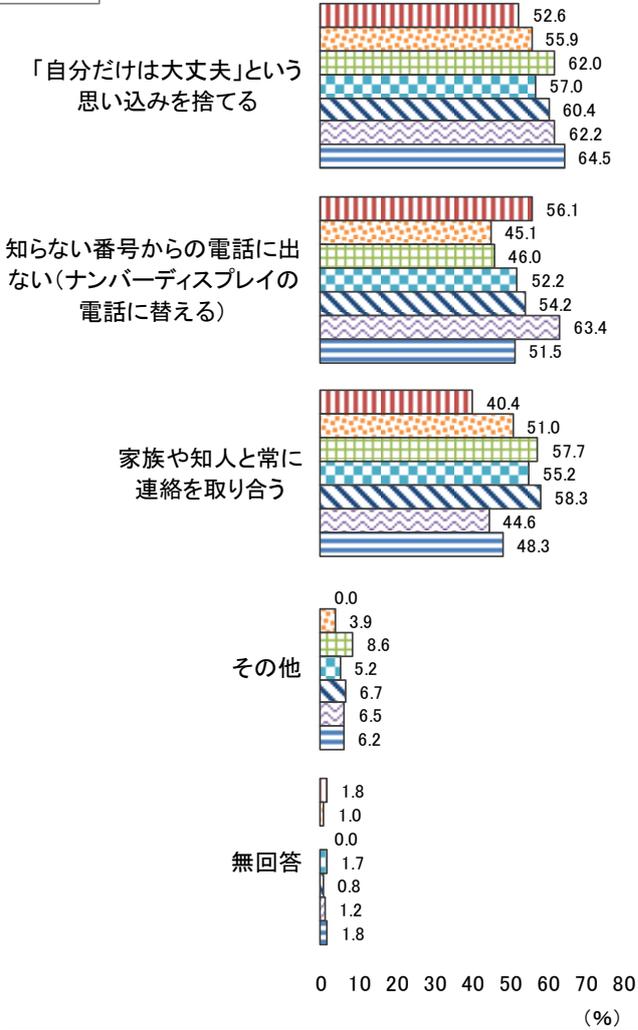
性別にみると、男性・女性ともに「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨てる」が最も高くなっている。

年代別にみると、10歳代、60歳代以外の年代では、「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨てる」が最も高くなっている。10歳代、60歳代では、「知らない番号からの電話に出ない(ナンバーディスプレイの電話に替える)」が最も高くなっている。

問21 被害にあわないために、今後どうすれば良いと思うか



■全体(n=1562) ■男性(n=704) ■女性(n=846)



■10歳代(n=57) ■20歳代(n=102)
 ■30歳代(n=163) ■40歳代(n=230)
 ■50歳代(n=240) ■60歳代(n=325)
 ■70歳以上(n=437)

4. 医療提供体制について

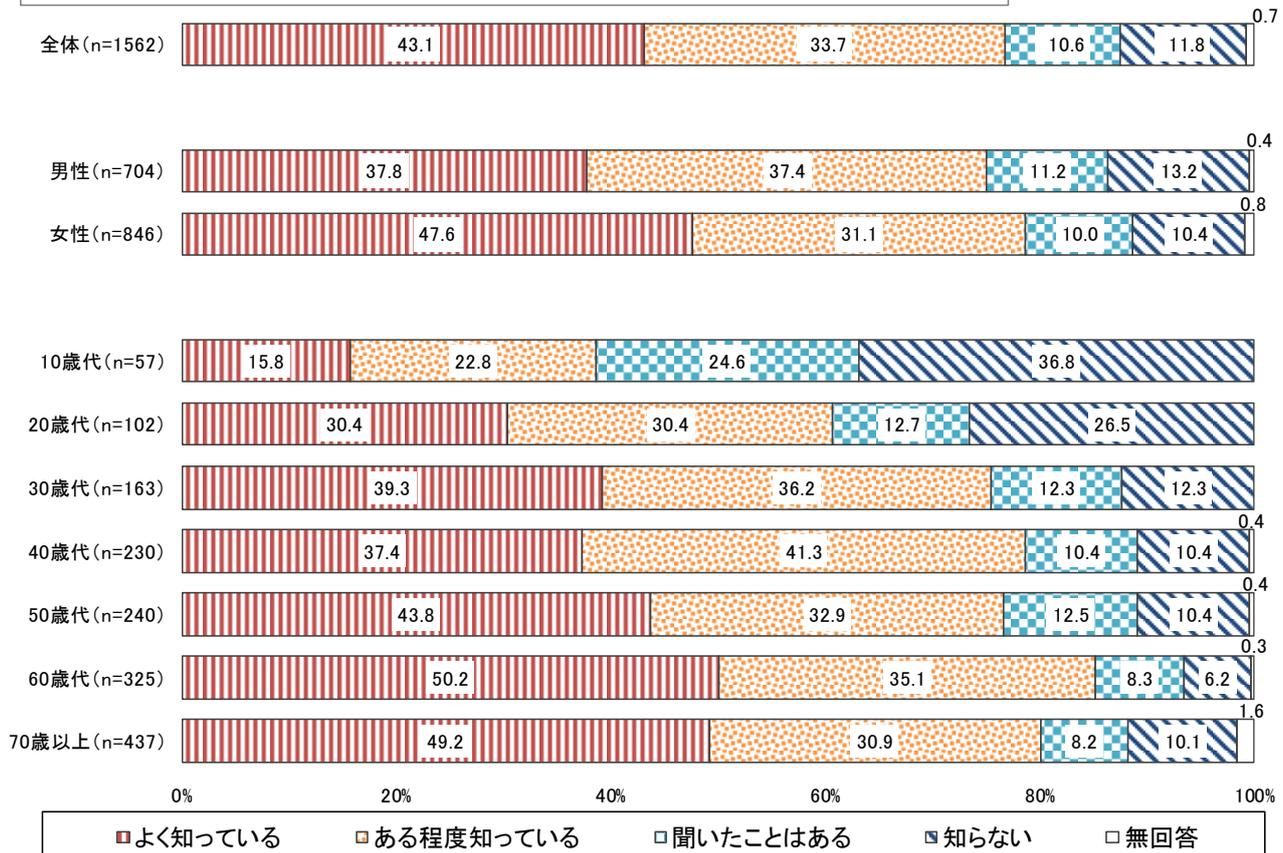
問 22 松阪市内には3総合病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、松阪市民病院）があります。これらの病院は原則として、休日・夜間に救急車で搬送を必要とする重症の方や、精密な検査などが必要でかかりつけ医等の紹介状を持った方しか受診することができないことを知っていますか。（〇は1つだけ）

「よく知っている」が43.1%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が33.7%、「知らない」が11.8%となっている。

性別にみると、男性よりも女性の方が知っている（「よく知っている」「ある程度知っている」の合計）人がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代では知っている人が38.6%であるが、その他の年代では6割以上となっている。

問22 市内の3総合病院が重症の方や紹介状を持った方しか受診できないことを知っているか



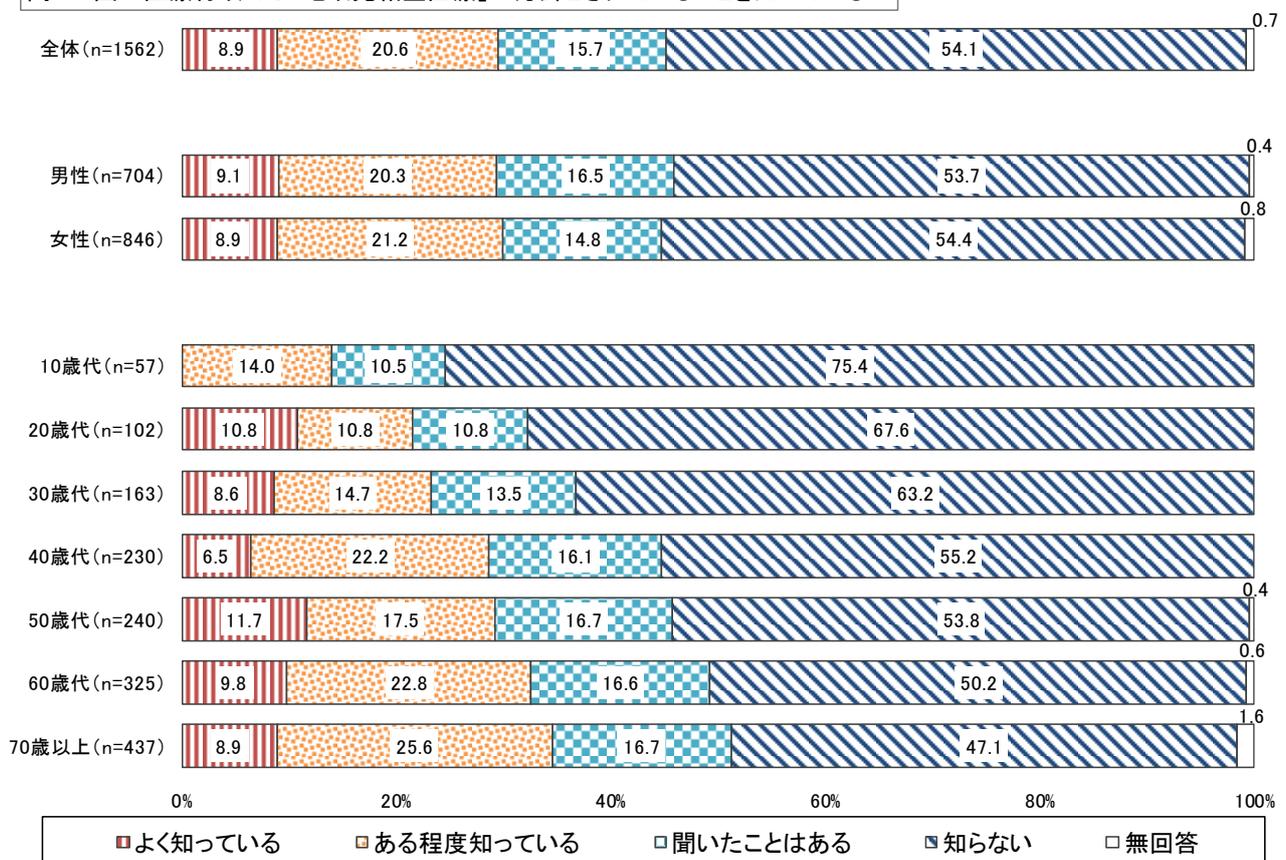
問 23 国の医療行政では、ひとつの病院の中だけで完結する「病院完結型医療」ではなく、地域全体で医療から介護までを完結させて提供する「地域完結型医療」が方針とされていることを知っていますか。(○は1つだけ)

「知らない」が54.1%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が20.6%、「聞いたことはある」が15.7%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに知っている（「よく知っている」「ある程度知っている」の合計）人は3割程度となっており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、年代が上がるにつれて、知っている人は高くなっており、70歳以上では34.5%となっている。

問23 国の医療行政では「地域完結型医療」が方針とされていることを知っているか



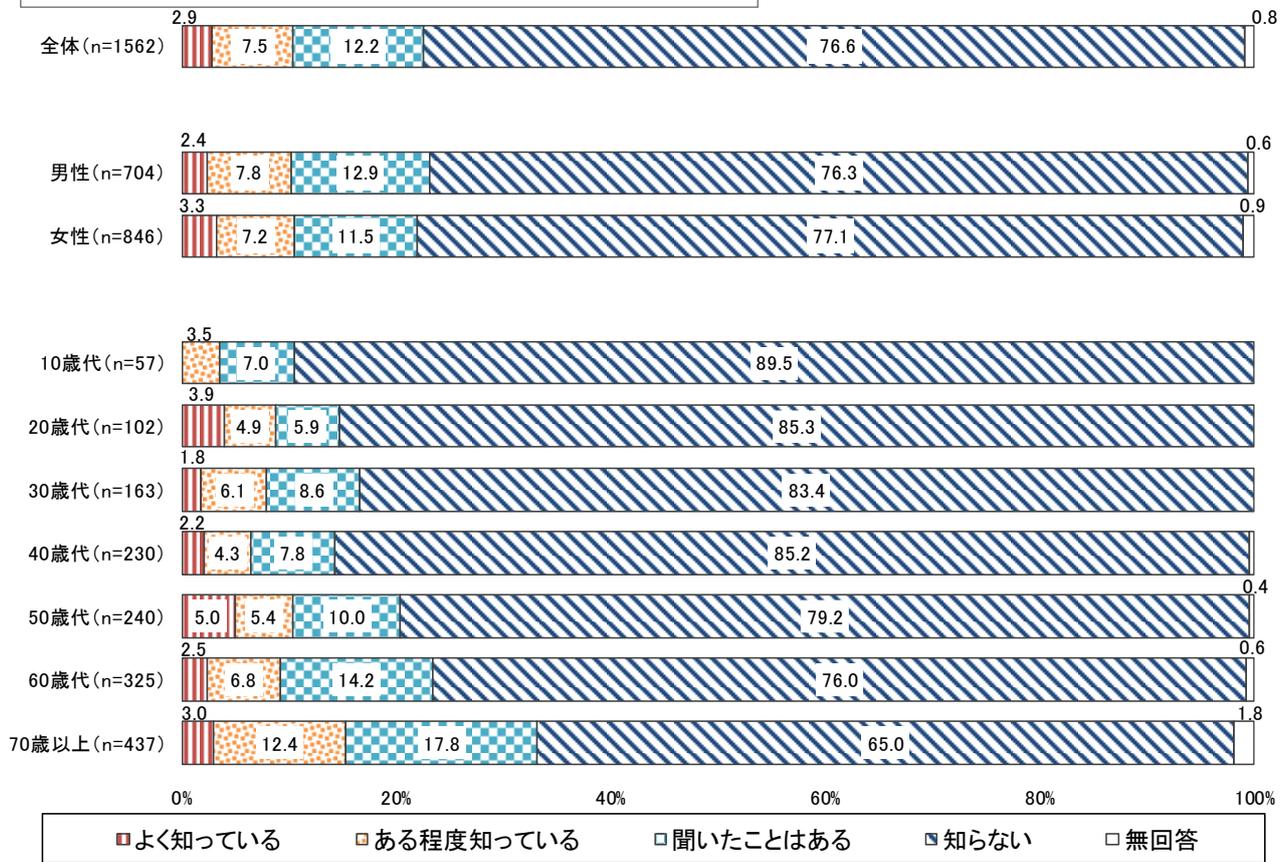
問 24 いわゆる団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年を視野に、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化・連携を適切に推進するため、平成 29 年 3 月に三重県が『三重県地域医療構想』を策定したことを知っていますか。(〇は 1 つだけ)

「知らない」が 76.6%と最も高く、ついで「聞いたことはある」が 12.2%、「ある程度知っている」が 7.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「知らない」が 7 割半ばとなっており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても「知らない」が最も高くなっているが、50 歳代以上から「聞いたことはある」が徐々に増加し 70 歳以上では 17.8%となっている。

問24 三重県が『三重県地域医療構想』を策定したことを知っているか



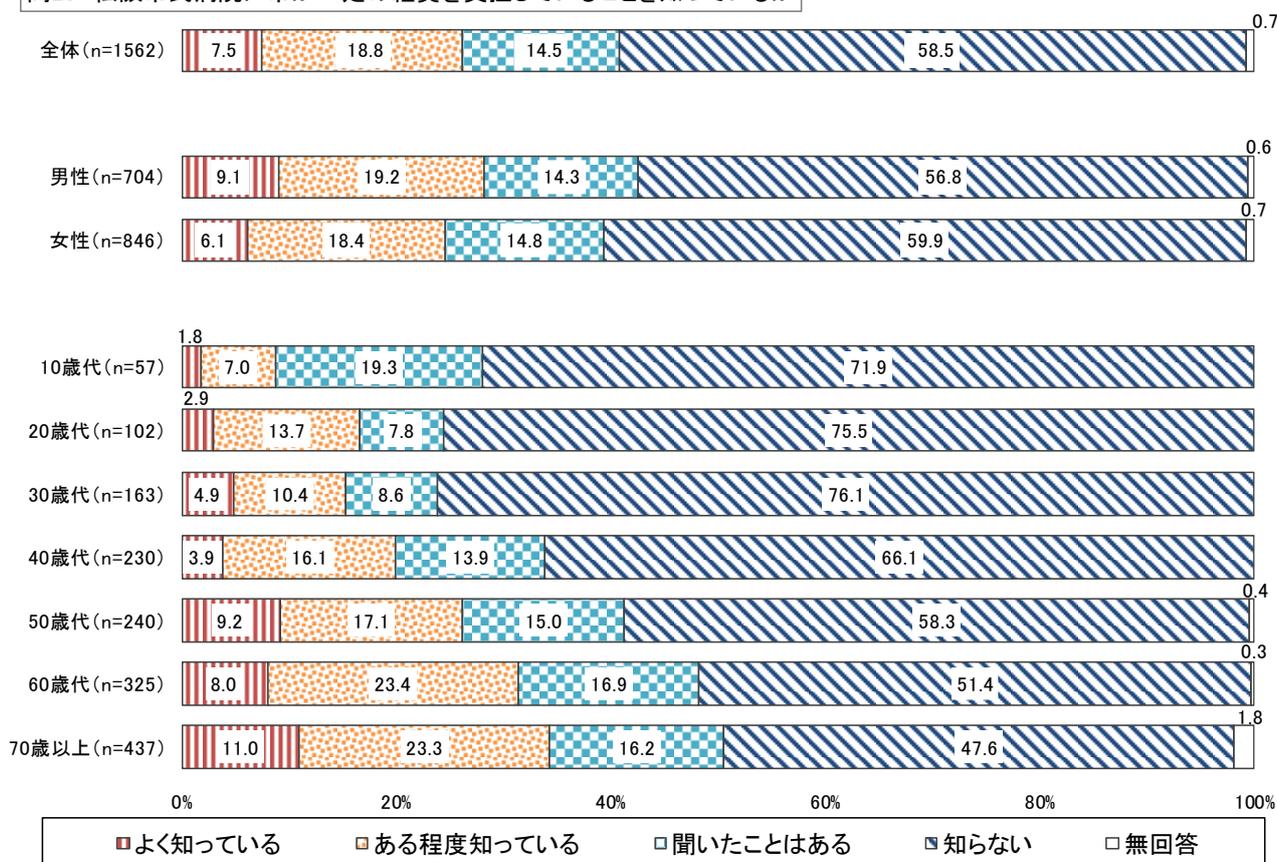
問 25 松阪市民病院の会計について、一定の経費（毎年度約 9 億円）を市が負担していることを知っていますか。（〇は 1 つだけ）

「知らない」が 58.5%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 18.8%、「聞いたことはある」が 14.5%となっている。

性別にみると、男性の方が知っている（「よく知っている」「ある程度知っている」の合計）人がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても「知らない」が最も高くなっているが、年代が上がるにつれて知っている人が増加する傾向がみられる。

問25 松阪市民病院に市が一定の経費を負担していることを知っているか



5. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

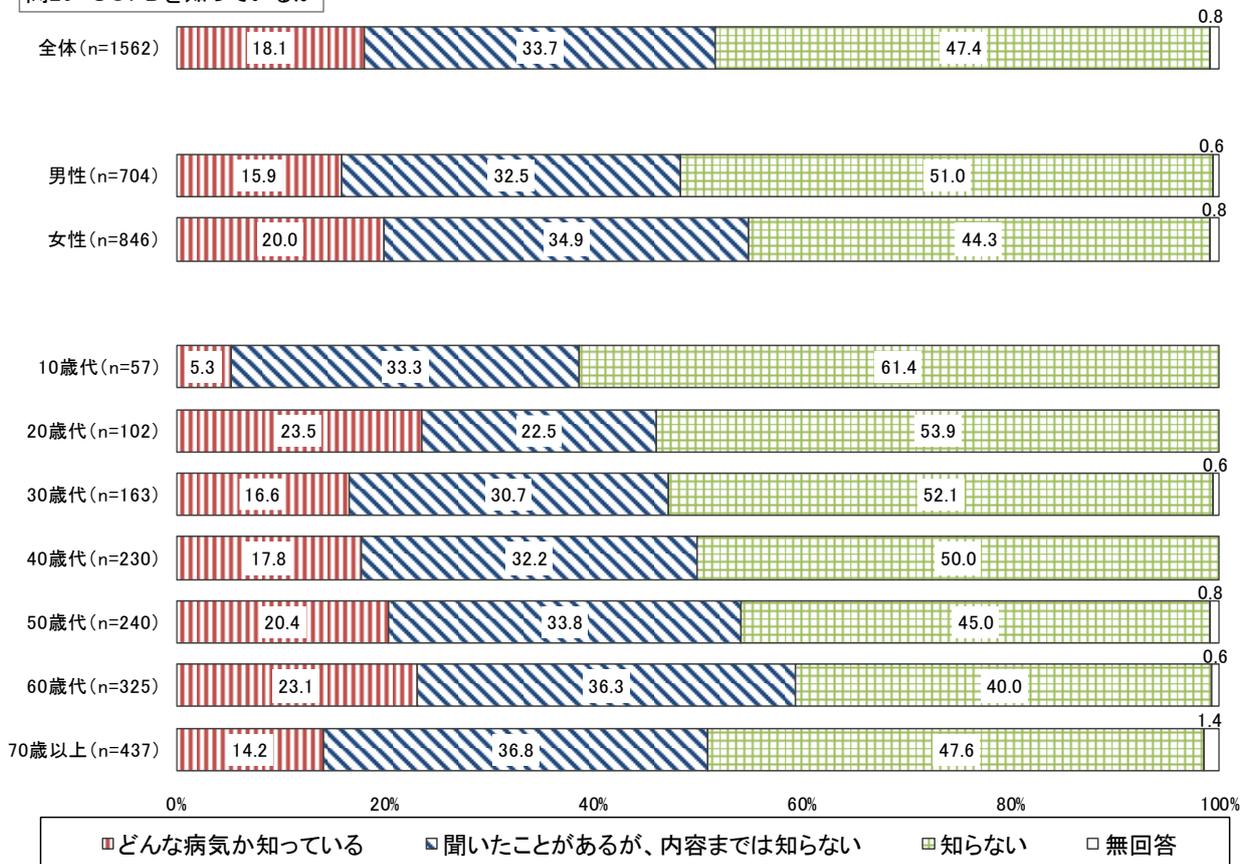
問 26 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。（○は1つだけ）

「知らない」が47.4%と最も高く、ついで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が33.7%、「どんな病気か知っている」が18.1%となっている。

性別にみると、女性では「どんな病気か知っている」が20.0%となっており、男性よりもやや高くなっている。また、男性では「知らない」が5割を超えており、女性よりも5ポイント以上高くなっている。

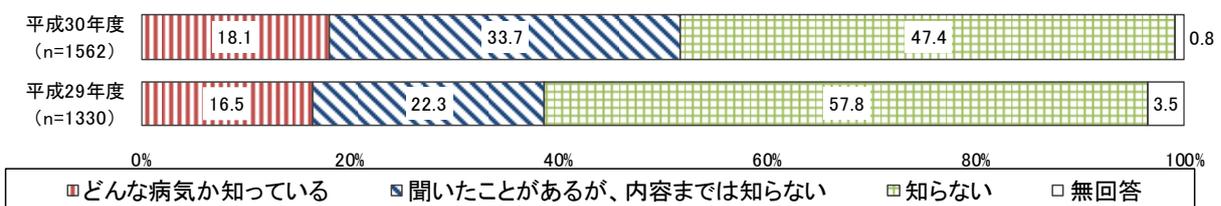
年代別にみると、いずれの年代においても「知らない」が最も高くなっている。また、10歳代を除き「どんな病気か知っている」は1割半ばから2割半ばとなっている。

問26 COPDを知っているか



前回と比較すると、「知らない」が減少した一方で、「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が増加している。

問26 COPDを知っているか



6. 市運営コミュニティバスの運営形態について

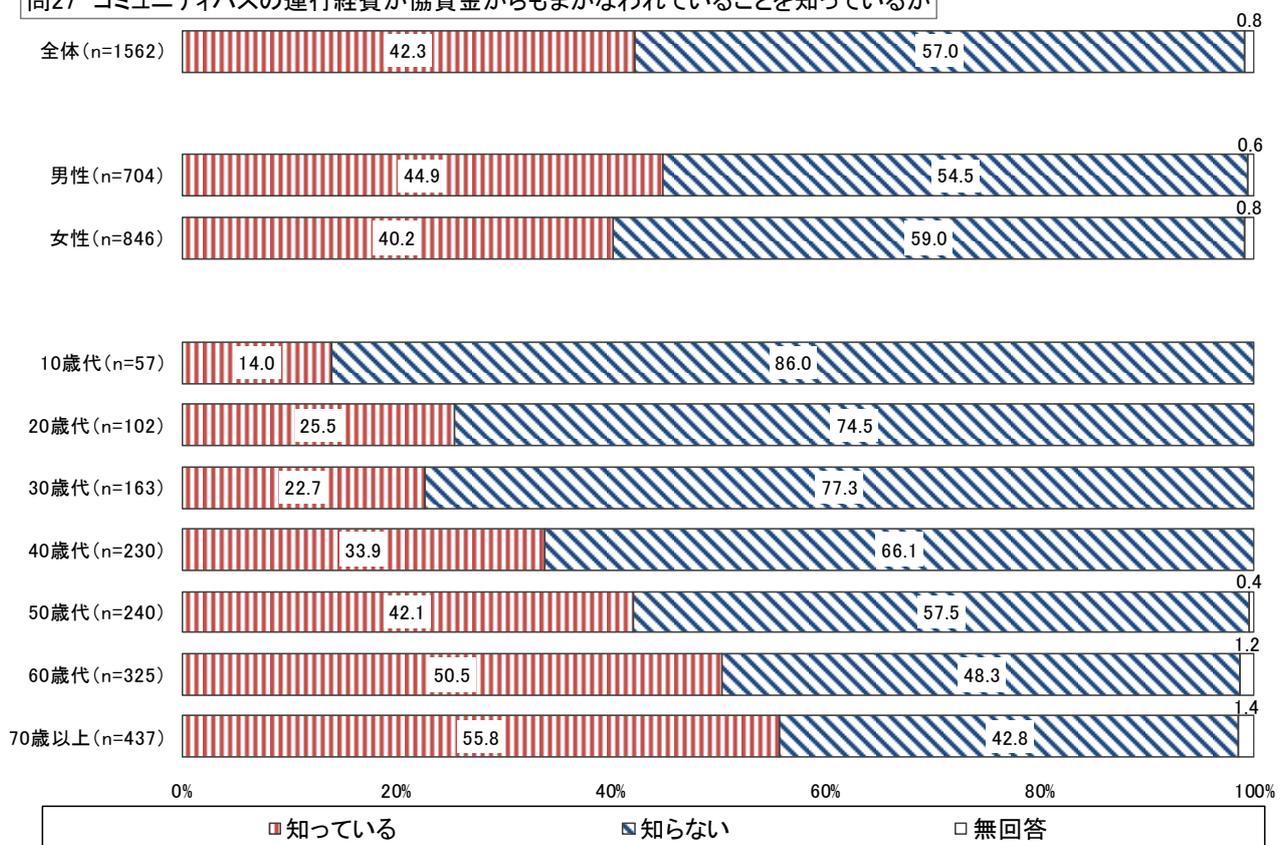
問 27 松阪市運営バスの運行経費は、運賃と公費に加え、その他の財源として、企業や沿線地域等の住民の協賛金でまかなわれているのを知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」が57.0%、「知っている」が42.3%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、30歳代以降、「知っている」が徐々に増加していき、70歳以上では55.8%となっている。

問27 コミュニティバスの運行経費が協賛金からもまかなわれていることを知っているか



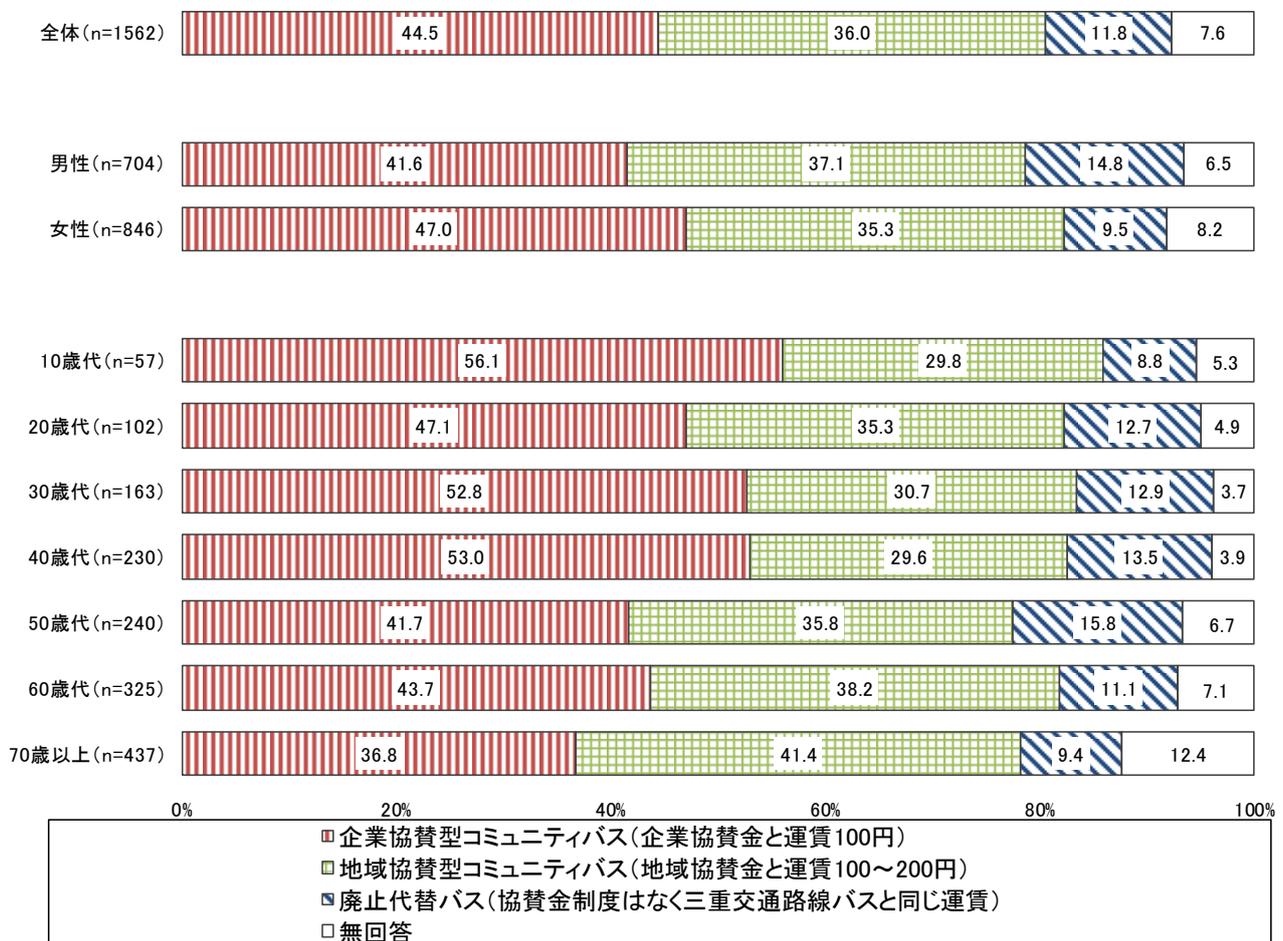
問 28 松阪市運営バスは、上記のように、協賛金をいただいているコミュニティバスは 100 円ないし 200 円の運賃で、廃止代替バスは三重交通の運賃形態と同様のもので運営しています。どの運営形態が望ましいと思いますか。(○は1つだけ)

「企業協賛型コミュニティバス(企業協賛金と運賃 100 円)」が 44.5%と最も高く、ついで「地域協賛型コミュニティバス(地域協賛金と運賃 100~200 円)」が 36.0%、「廃止代替バス(協賛金制度はなく三重交通路線バスと同じ運賃)」が 11.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「企業協賛型コミュニティバス」が最も高くなっている。

年代別にみると、60 歳代までは「企業協賛型コミュニティバス」が最も高くなっている。ただし、50 歳代以降では「地域協賛型コミュニティバス」も徐々に増加していき、70 歳以上では 4 割を超えている。

問28 コミュニティバスの運営形態で望ましいもの



コミュニティバス

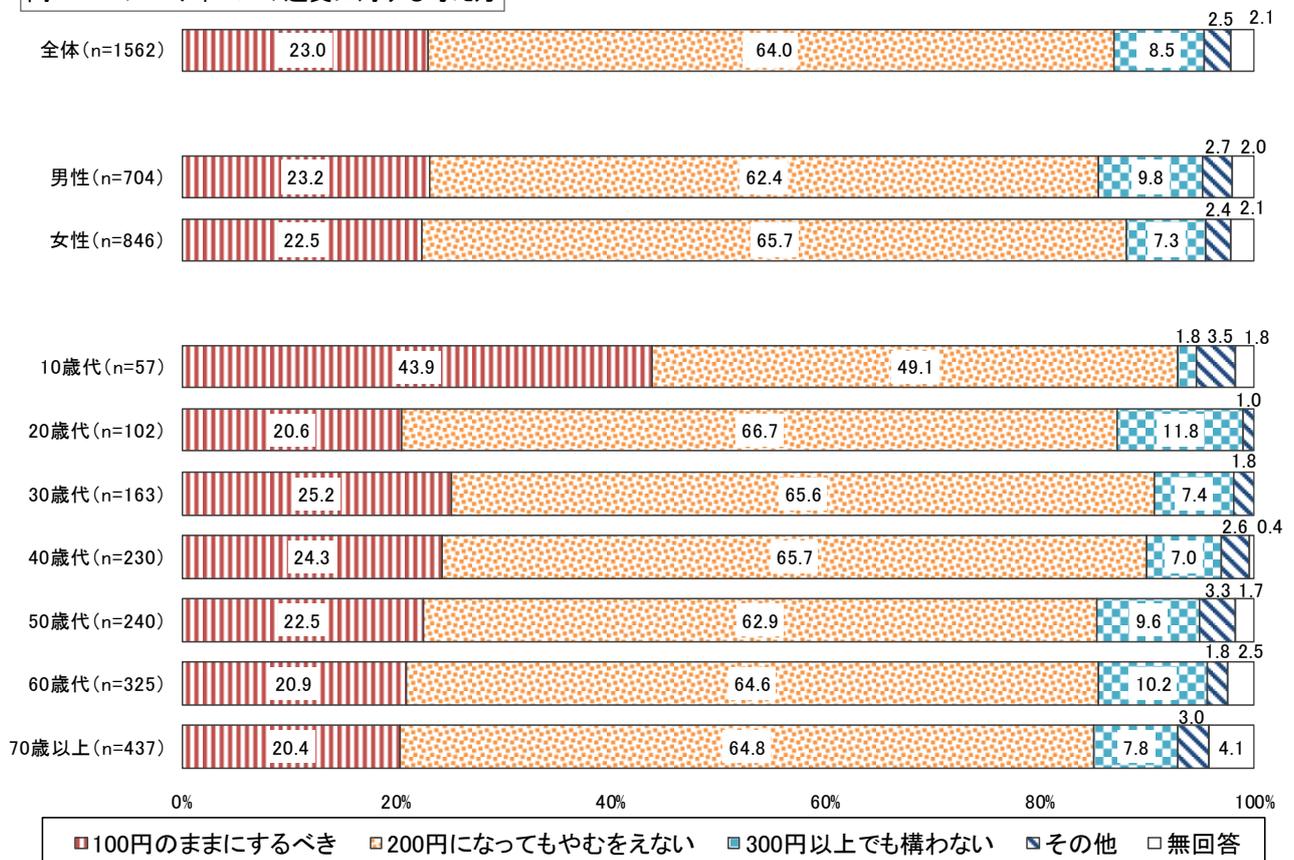
問 29 昨年度の「市民意識調査（3000人アンケート）」で、バスを利用する運賃として最も回答が多かった運賃の金額は、「200円まで」でした。運賃100円のコミュニティバスについて、あなたの運賃に対する考え方に最も近いのは、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

「200円になってもやむをえない」が64.0%と最も高く、ついで「100円のままとすべき」が23.0%、「300円以上でも構わない」が8.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「200円になってもやむをえない」が最も高くなっており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても「200円になってもやむをえない」が最も高くなっており、10歳代を除くすべての年代で6割以上となっている。

問29 コミュニティバスの運賃に対する考え方



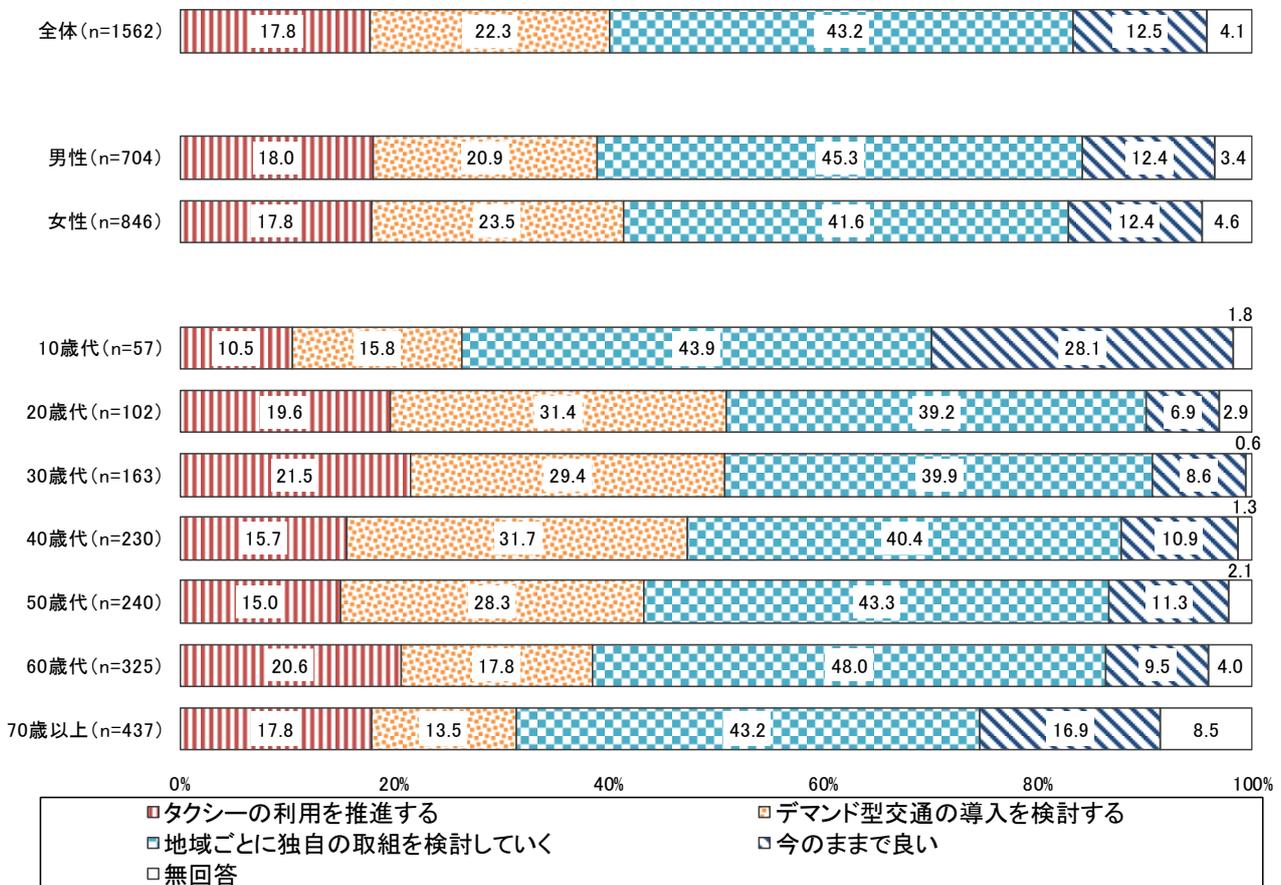
問30 松阪市のコミュニティ交通を、きめ細かいニーズに対応できるものとしていくには、どうしていきべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

「地域ごとに独自の取組を検討していく」が43.2%と最も高く、ついで「デマンド型交通の導入を検討する」が22.3%、「タクシーの利用を推進する」が17.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「地域ごとに独自の取組を検討していく」が最も高くなっており、いずれも4割を超えているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても「地域ごとに独自の取組を検討していく」が最も高くなっている。10歳代では「今のままで良い」も28.1%と高くなっている。20歳代から50歳代では「デマンド型交通の導入を検討する」も3割程度で高くなっている。

問30 コミュニティ交通を今後どうしていきべきだと思うか



7. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」について

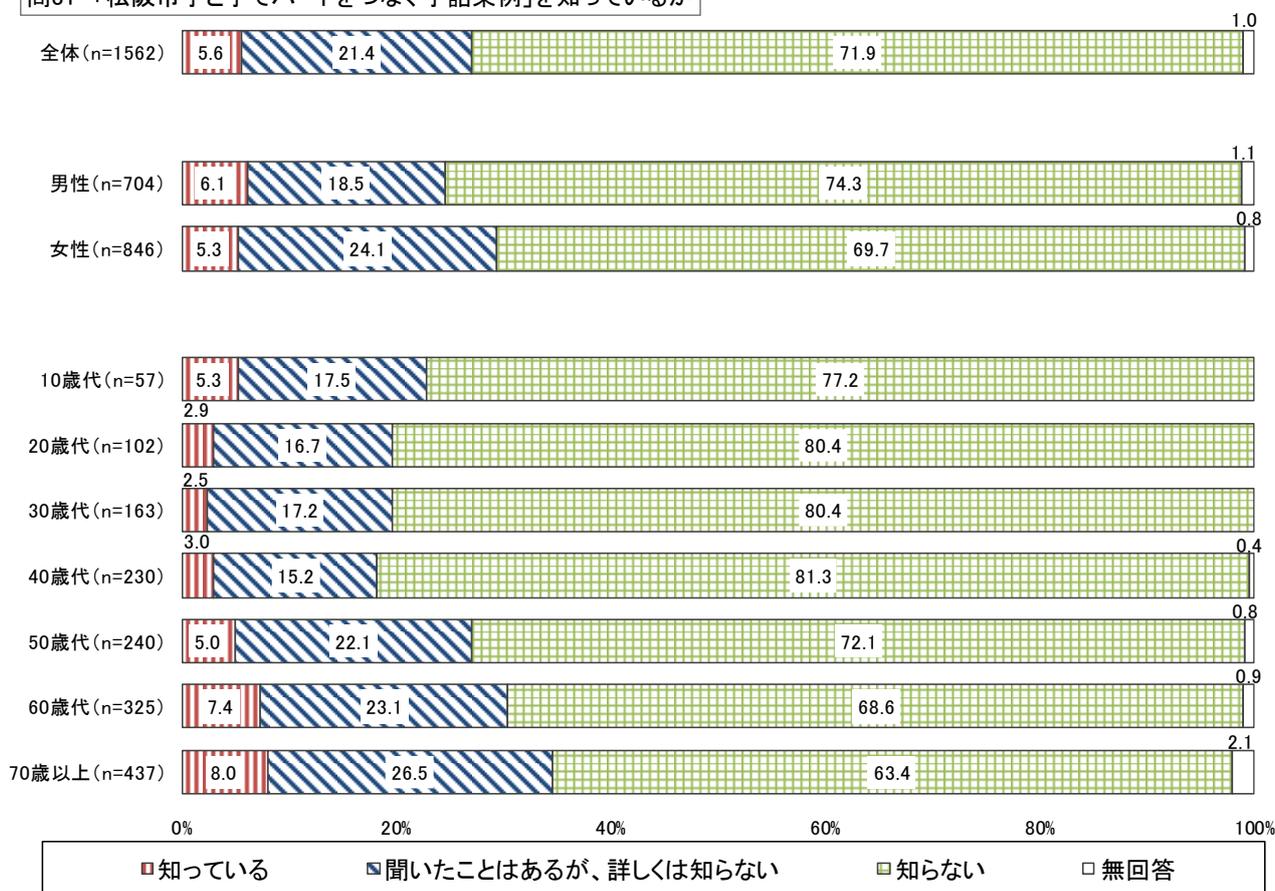
問 31 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」が71.9%と最も高く、ついで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が21.4%、「知っている」が5.6%となっている。

性別にみると、いずれにおいても「知らない」が高くなっているが、女性では「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が男性よりも5ポイント以上高く、24.1%となっている。

年代別にみると、「知っている」はいずれの年代においても1割未満となっているが、50歳代以上になると「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が2割以上となっている。

問31 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」を知っているか



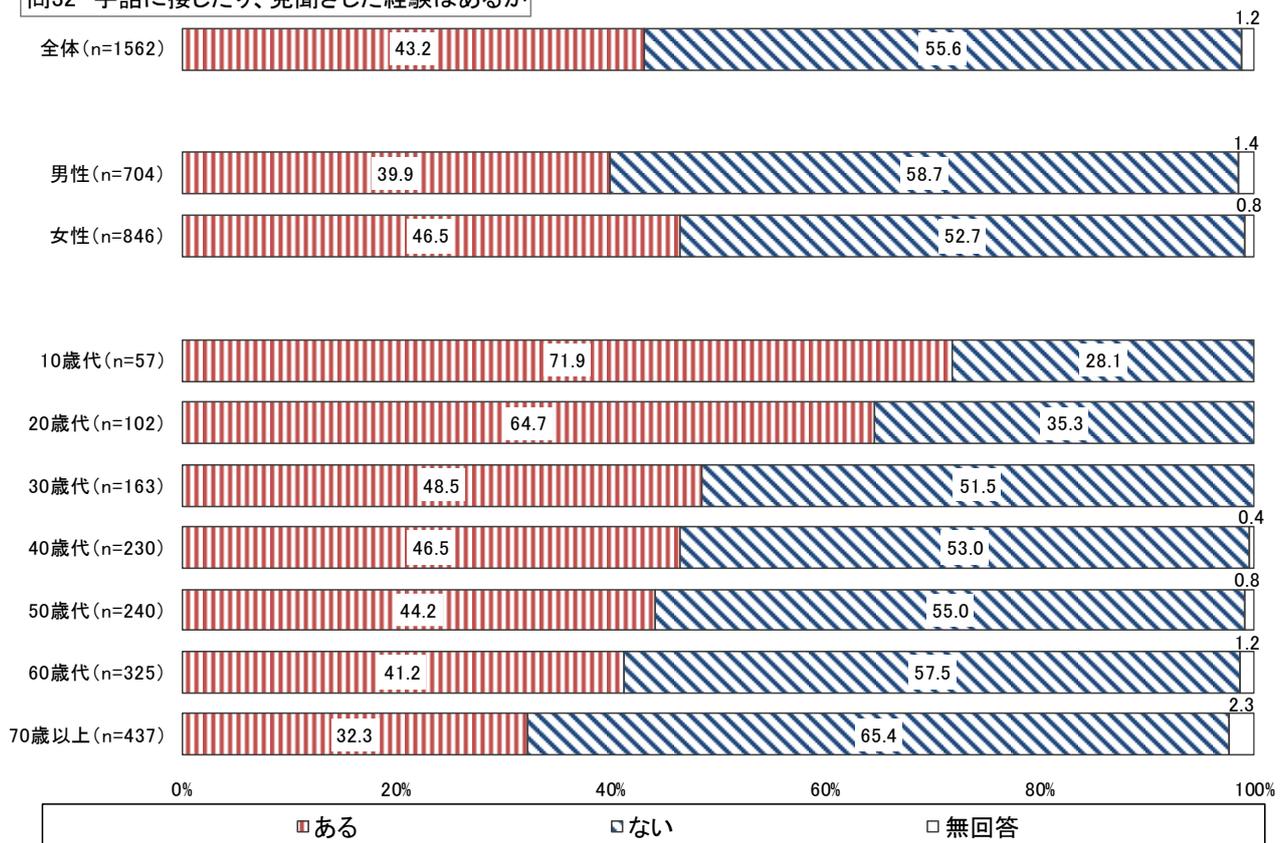
問 32 手話に接したり、見聞きした経験はありますか。(○は1つだけ)

「ない」が55.6%、「ある」が43.2%となっている。

性別にみると、男性では「ある」は39.9%であるのに対し、女性では46.5%となっており、女性の方が男性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「ある」が71.9%と高くなっているが、その後、年代が上がるにつれて、徐々に減少していき70歳以上では32.3%となっている。

問32 手話に接したり、見聞きした経験はあるか



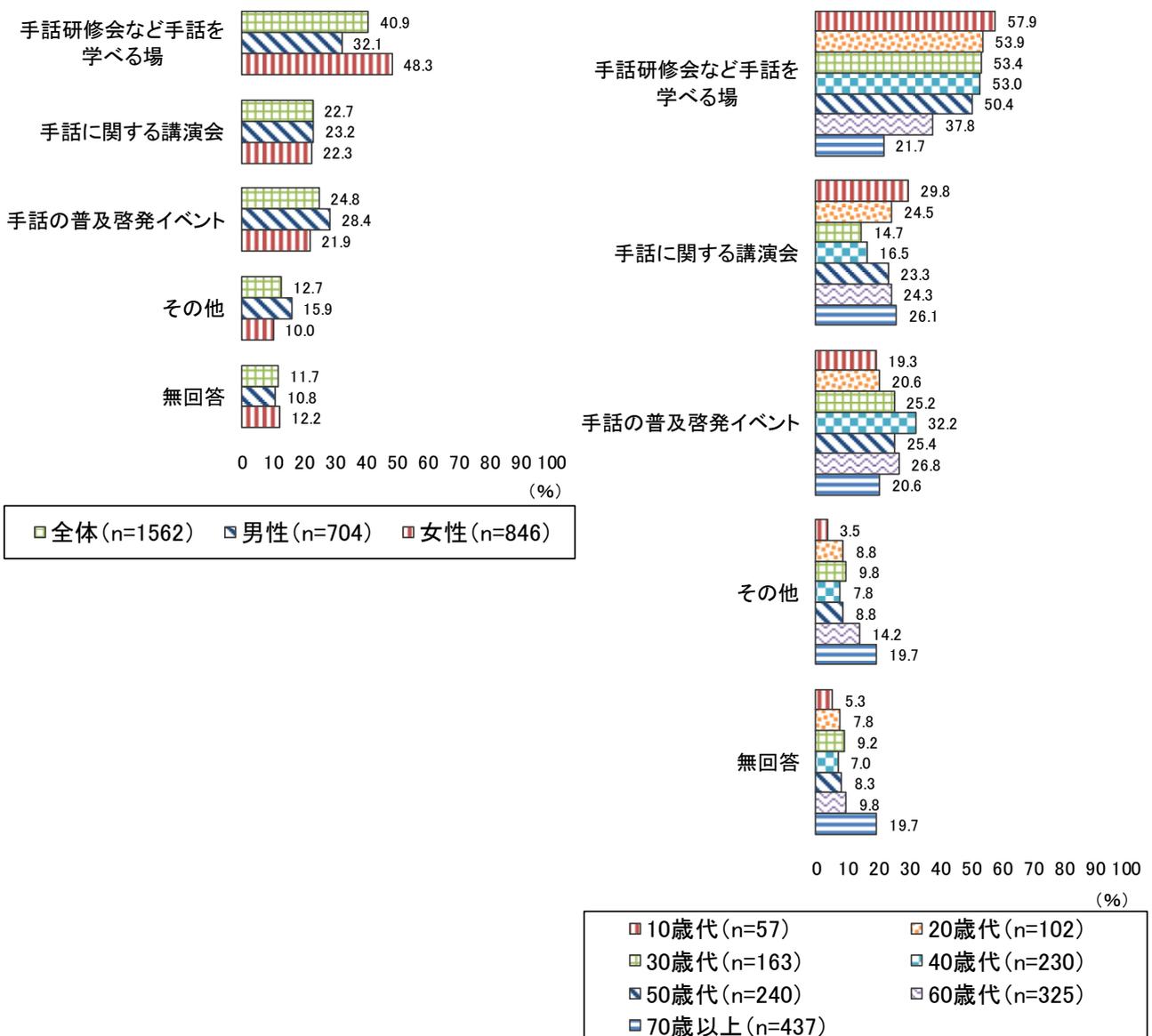
問 33 手話に関する取組について参加したいと思うものを選んでください。(〇はいくつでも)

「手話研修会など手話を学べる場」が40.9%と最も高く、ついで「手話の普及啓発イベント」が24.8%、「手話に関する講演会」が22.7%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「手話研修会など手話を学べる場」が最も高くなっているが、男性が32.1%であるのに対し、女性は48.3%となっており、女性の方が15ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、10歳代から50歳代で「手話研修会など手話を学べる場」が5割を超えているが、60歳代以降ではその割合は減少している。

問33 手話に関する取組で参加したいと思うもの



8. ごみの減量に効果的な取り組みについて

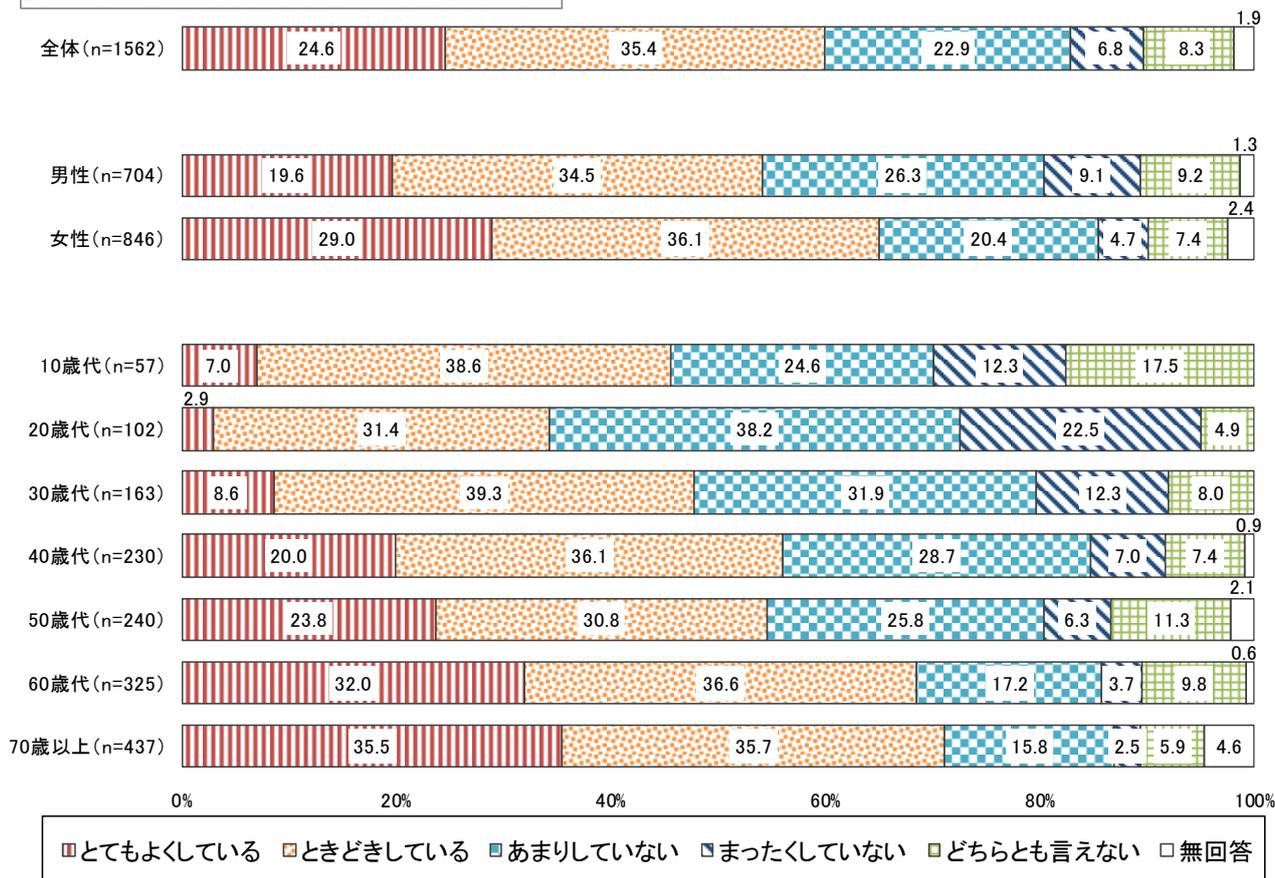
問 34 あなたは、普段の生活の中で、何か燃えるごみを減らす取組や工夫をしていますか。
(○は1つだけ)

「ときどきしている」が35.4%と最も高く、ついで「とてもよくしている」が24.6%、「あまりしていない」が22.9%となっている。

性別にみると、している（「とてもよくしている」「ときどきしている」の合計）人は男性よりも女性の方が10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、20歳代ではしている人が34.3%であるのに対し、していない（「あまりしていない」「まったくしていない」の合計）人は60.7%となっている。ただし、20歳代以降、年代が上がるにつれて、している人が増加する傾向がみられ、70歳以上でしている人は71.2%となっている。

問34 燃えるごみを減らす取組や工夫をしているか



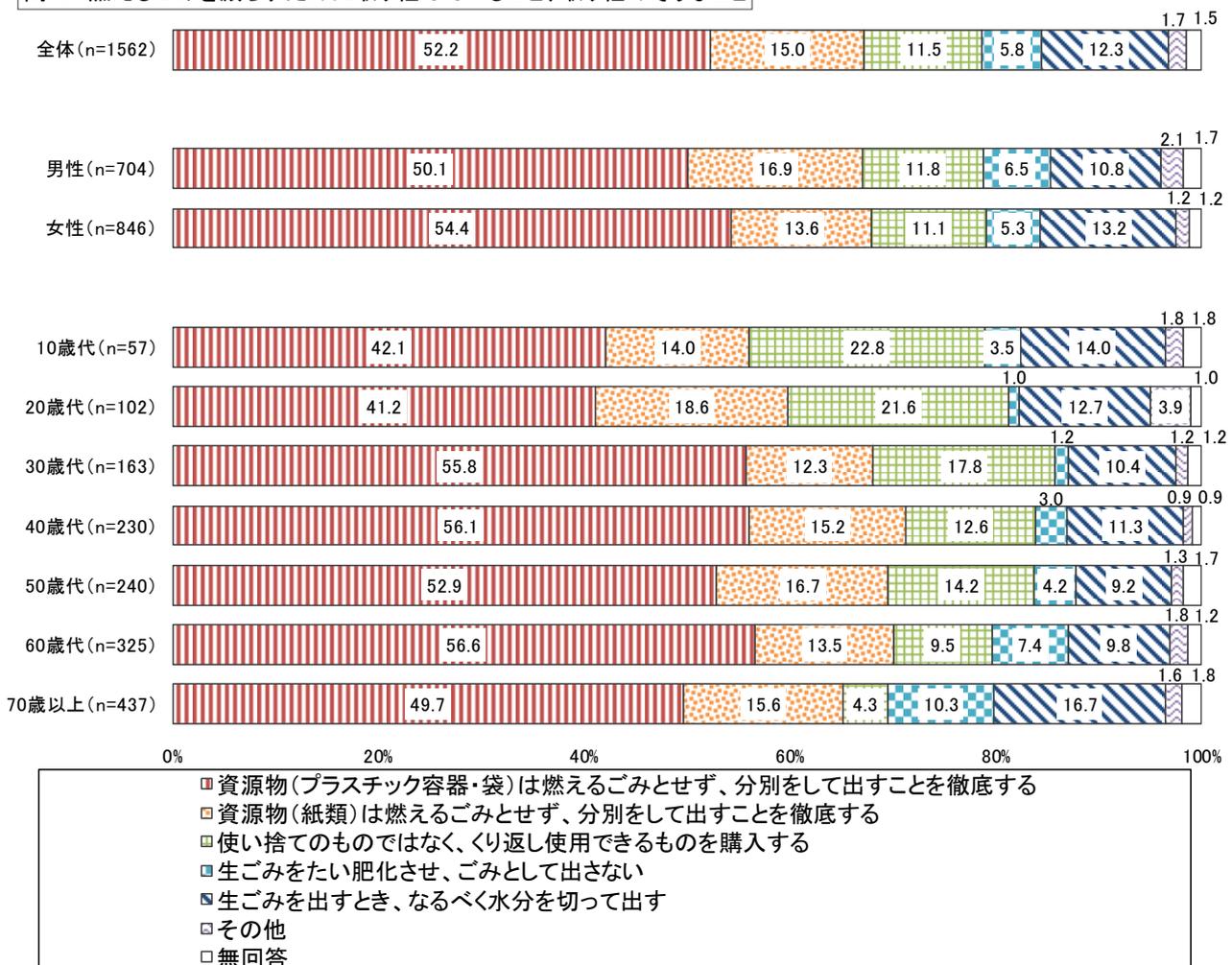
問 35 あなたは、普段、燃えるごみを減らすために、主にどのようなことに取り組んでいますか。また、特に取り組んでいない方は、どんな取組なら実行できそうですか。
(○は1つだけ)

「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が52.2%と最も高く、ついで「資源物（紙類）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が15.0%、「生ごみを出すとき、なるべく水分を切って出す」が12.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が最も高く、男性で50.1%、女性で54.4%となっており、女性の方がやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれの年代においても「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が最も高くなっている。特に30歳代以上で高くなっている。また、10歳代、20歳代では「使い捨てのものではなく、くり返し使用できるものを購入する」が他の年代よりも高く、2割を超えている。

問35 燃えるごみを減らすために取り組んでいること、取り組めそうなこと



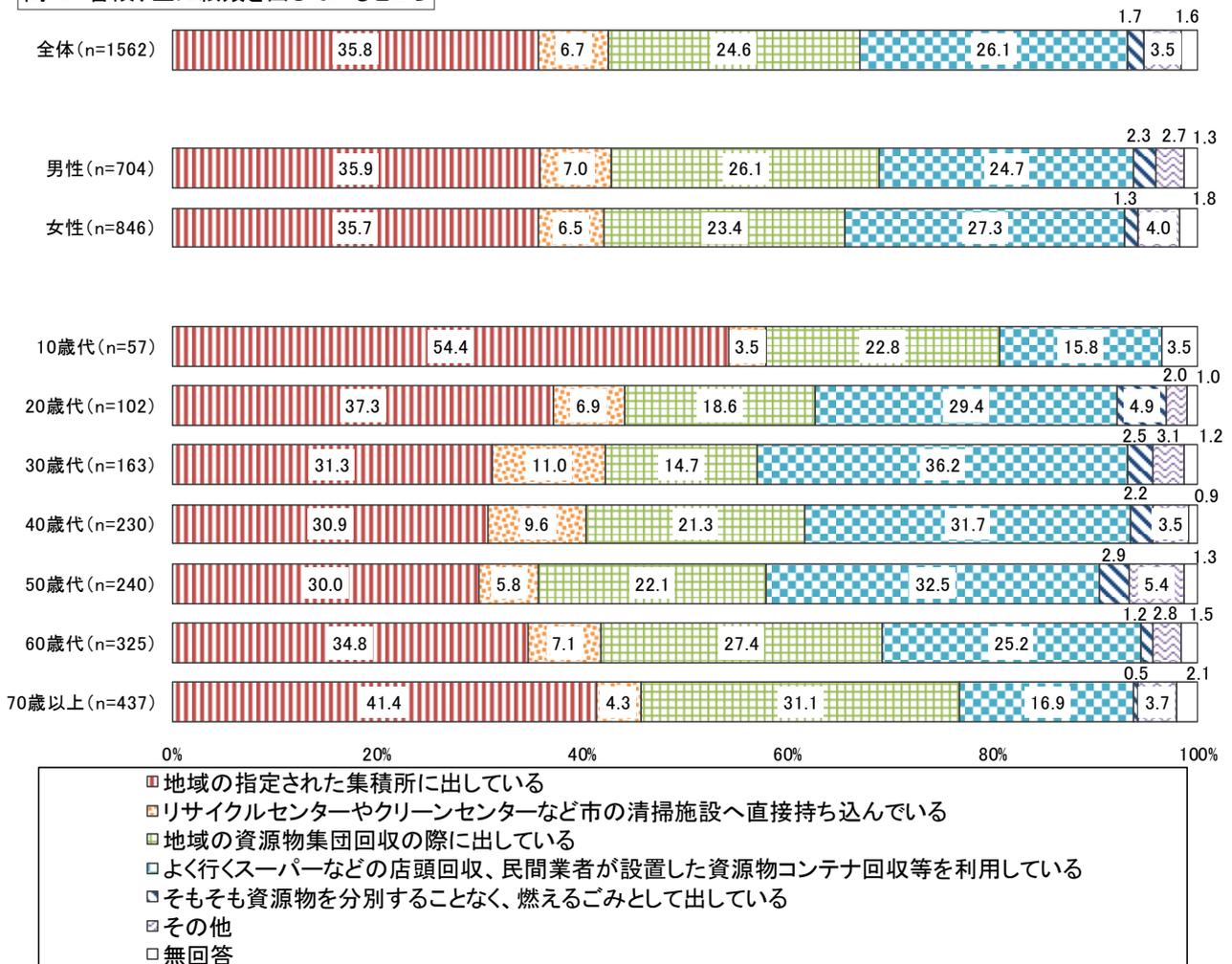
問 36 あなたは、普段、紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌・雑紙）を主にどこに出していますか。（〇は1つだけ）

「地域の指定された集積所に出している」が35.8%と最も高く、ついで「よく行くスーパーなどの店頭回収、民間業者が設置した資源物コンテナ回収等を利用している」が26.1%、「地域の資源物集団回収の際に出している」が24.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「地域の指定された集積所に出している」が3割半ばで最も高くなっている。また、男性は「地域の資源物集団回収の際に出している」が女性よりもやや高くなっているが、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、30歳代から50歳代では「よく行くスーパーなどの店頭回収、民間業者が設置した資源物コンテナ回収等を利用している」が最も高く、3割を超えている。その他の年代では「地域の指定された集積所に出している」が最も高くなっている。

問36 普段、主に紙類を出しているところ



9. 観光施策について

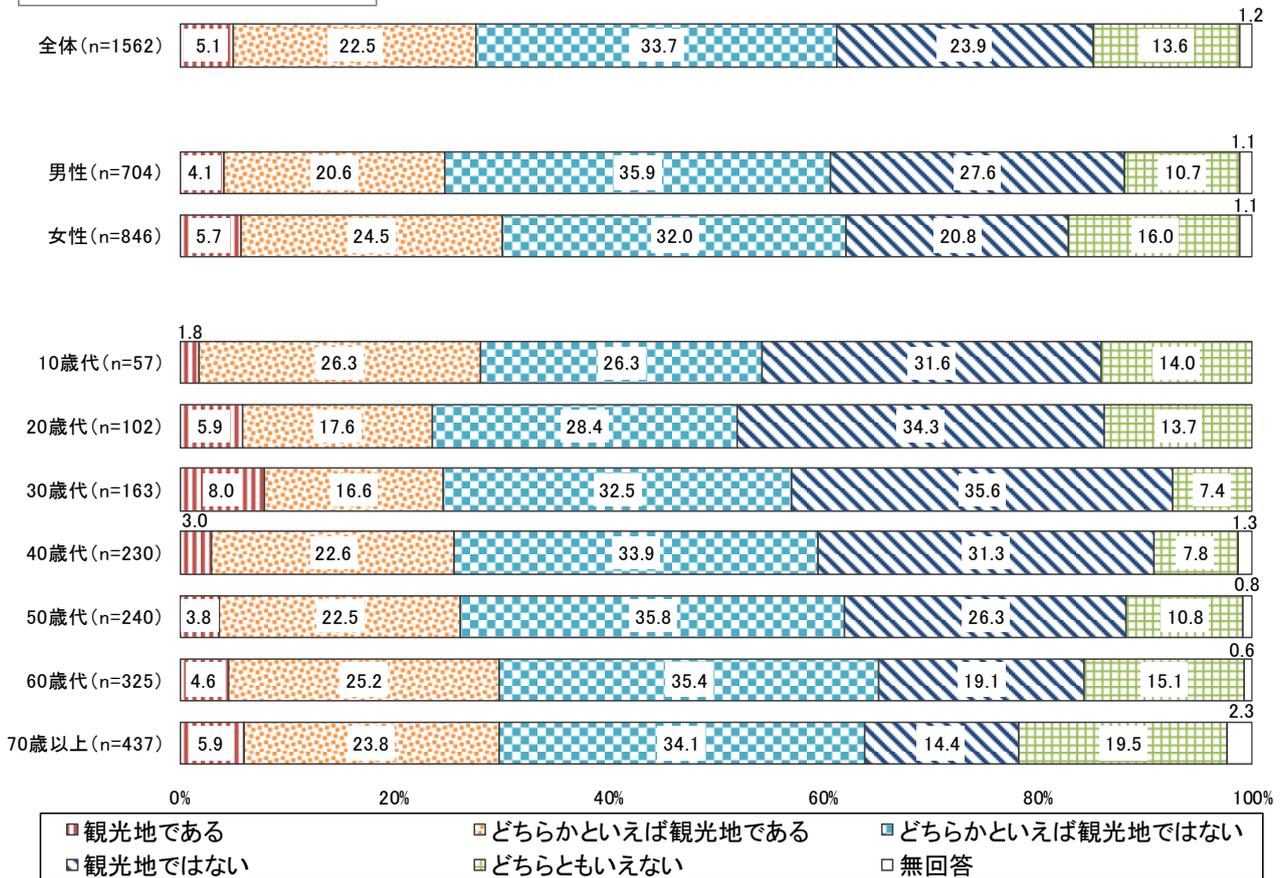
問 37 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(〇は1つだけ)

「どちらかといえば観光地ではない」が33.7%と最も高く、ついで「観光地ではない」が23.9%、「どちらかといえば観光地である」が22.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに観光地ではない(「どちらかといえば観光地ではない」「観光地ではない」の合計)が高くなっており、特に男性では女性よりも10ポイント程度高い。

年代別にみると、いずれの年代においても観光地である(「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計)は3割未満となっており、観光地ではないが高くなっている。ただし、30歳代以降、「どちらともいえない」は年代が上がるにつれて増加しており、70歳以上では19.5%となっている。

問37 松阪市を観光地だと思うか



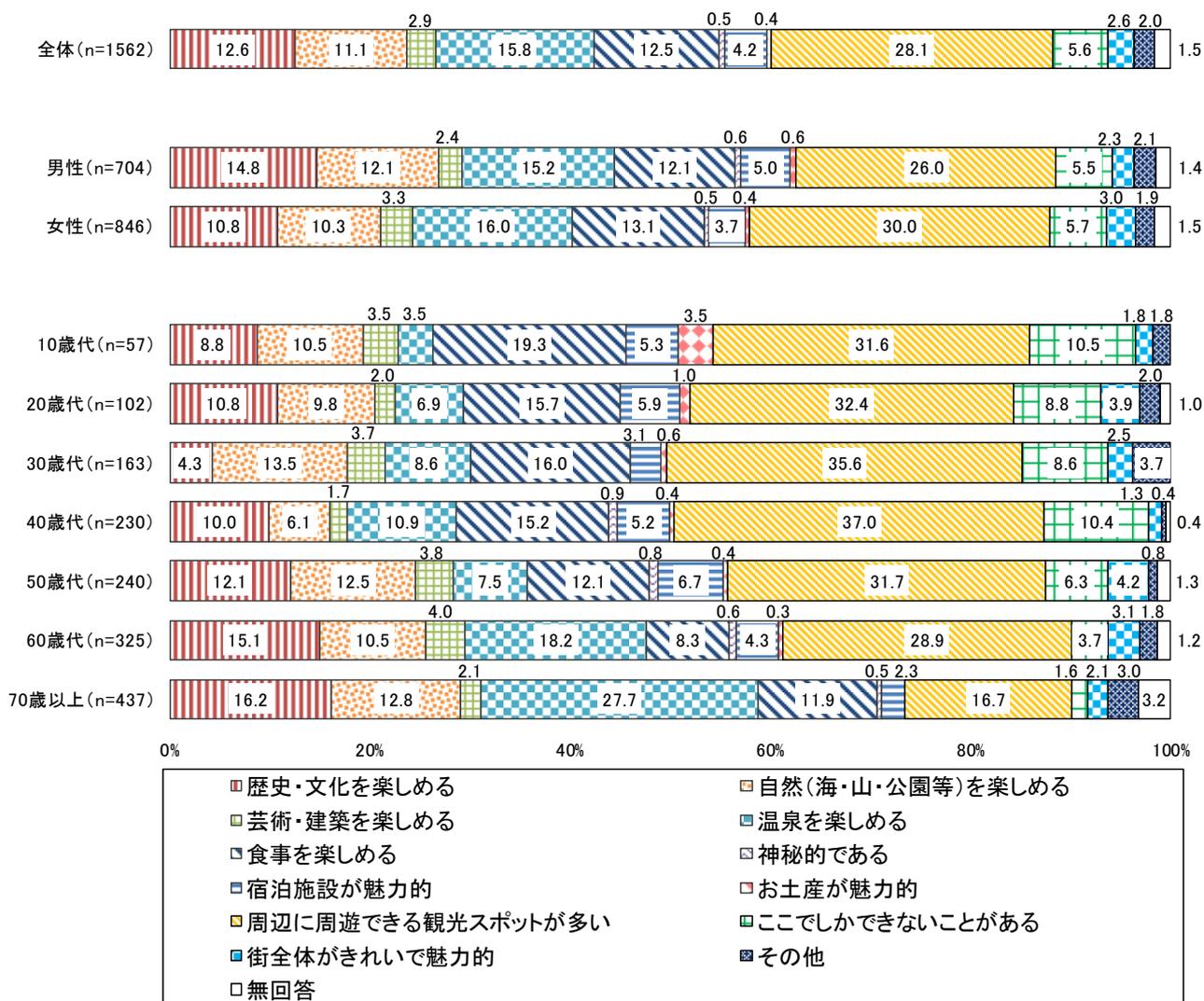
問 38 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(〇は1つだけ)

「周辺に周遊できる観光スポットが多い」が28.1%と最も高く、ついで「温泉を楽しめる」が15.8%、「歴史・文化を楽しめる」が12.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「周辺に周遊できる観光スポットが多い」が最も高くなっている。

年代別にみると、10歳代から60歳代では「周辺に周遊できる観光スポットが多い」が最も高くなっているが、70歳以上では「温泉を楽しめる」が最も高くなっている。

問38 旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めるか

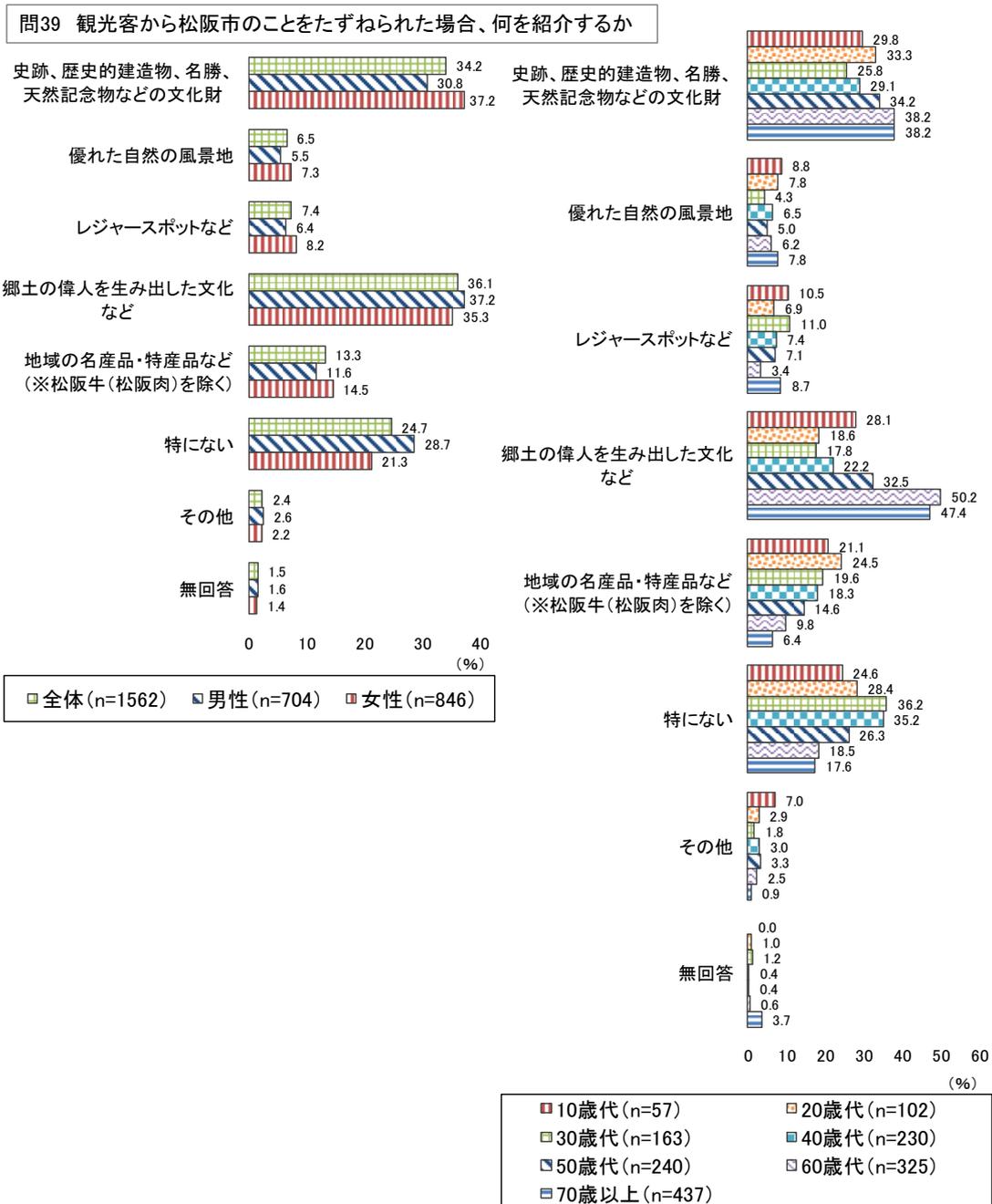


問 39 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、松阪牛（松阪肉）を除き、何を紹介（自慢）しますか。（〇は2つまで）

「郷土の偉人を生み出した文化など」が36.1%と最も高く、ついで「史跡、歴史的建造物、名勝、天然記念物などの文化財」が34.2%、「特にない」が24.7%となっている。

性別にみると、男性では「郷土の偉人を生み出した文化など」が37.2%、女性では「史跡、歴史的建造物、名勝、天然記念物などの文化財」が37.2%で最も高くなっている。また、男性・女性ともに「特にない」が比較的高くなっている。

年代別にみると、60歳代、70歳以上では「郷土の偉人を生み出した文化など」が5割程度と高くなっている。



10. 松阪の地場産品について

問 40 松阪市の特産品としてアピールしていけるものには何がありますか。ご自由にご記入ください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 40	1	肉類	354	29.0
	2	調味料・加工品	200	16.4
	3	工芸品等	200	16.4
	4	野菜類	124	10.2
	5	果実類	84	6.9
	6	菓子類	47	3.8
	7	海藻類	38	3.1
	8	きのこ類	31	2.5
	9	魚介類	31	2.5
	10	米類	17	1.4
	11	植物・自然	17	1.4
	12	麺類	9	0.7
	13	いも類	9	0.7
	14	人物・キャラクター	9	0.7
	15	豆類・豆製品類	8	0.7
	16	砂糖類	4	0.3
	17	史跡・建築物	4	0.3
	18	油脂類	1	0.1
	19	その他	34	2.8
	合計	1,221		

《主な意見》

「1. 肉類」

- ・松阪牛
- ・鶏肉
- ・松阪豚

「2. 調味料・加工品」

- ・お茶
- ・みそ
- ・つけもの

「3. 工芸品等」

- ・木綿
- ・和紙
- ・さるはじき

問 41 地域に埋もれている松阪の新たな特産品といえば何がありますか。ご自由にご記入ください。

地場産品

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 41	1	野菜類	97	20.0
	2	果実類	86	17.7
	3	肉類	60	12.4
	4	調味料・加工品	39	8.0
	5	菓子類	30	6.2
	6	工芸品等	25	5.2
	7	魚介類	19	3.9
	8	きのこ類	18	3.7
	9	米類	17	3.5
	10	海藻類	13	2.7
	11	豆類・豆製品類	12	2.5
	12	飲料類	8	1.6
	13	植物・自然	8	1.6
	14	いも類	7	1.4
	15	麺類	6	1.2
	16	史跡・建築物	5	1.0
	17	砂糖類	2	0.4
	18	人物・キャラクター	2	0.4
	19	その他	31	6.4
	合計		485	

《主な意見》

「1. 野菜類」

- ・モロヘイヤ
- ・大根
- ・赤菜

「2. 果実類」

- ・梨
- ・いちご
- ・びわ

「3. 肉類」

- ・鶏肉
- ・豚肉
- ・鹿・猪肉

11. フルマラソンの開催について

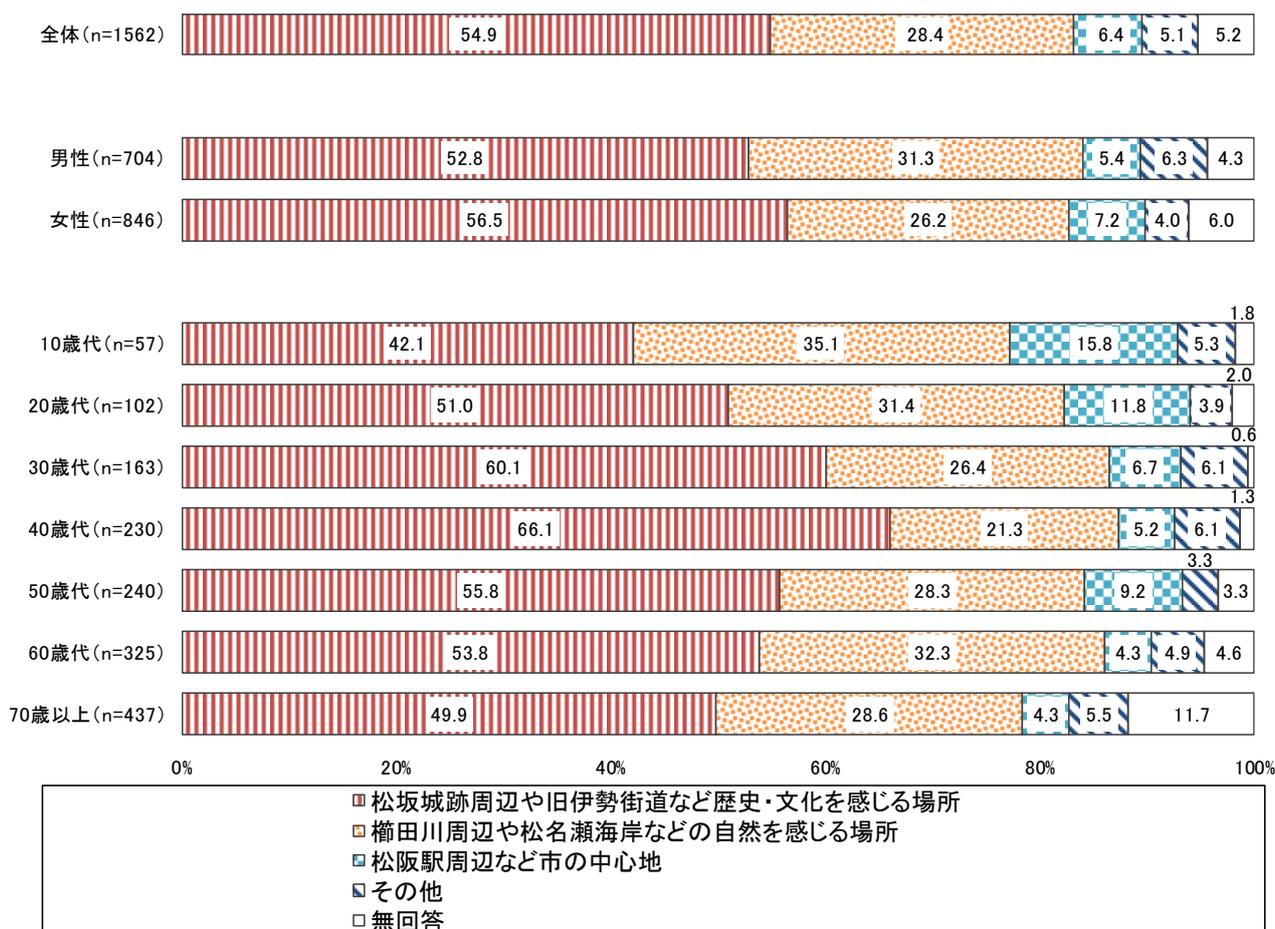
問 42 松阪のマラソンで走りたい（走ってほしい）と思うコースは、どのような場所だと思いますか。（〇は1つだけ）

「松坂城跡周辺や旧伊勢街道など歴史・文化を感じる場所」が54.9%と最も高く、ついで「榎田川周辺や松名瀬海岸などの自然を感じる場所」が28.4%、「松阪駅周辺など市の中心地」が6.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「松坂城跡周辺や旧伊勢街道など歴史・文化を感じる場所」が最も高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても、「松坂城跡周辺や旧伊勢街道など歴史・文化を感じる場所」が最も高くなっており、10歳代から40歳代にかけて増加した後、年代が上がるにつれて減少している。

問42 松阪のマラソンで走りたいと思うコース



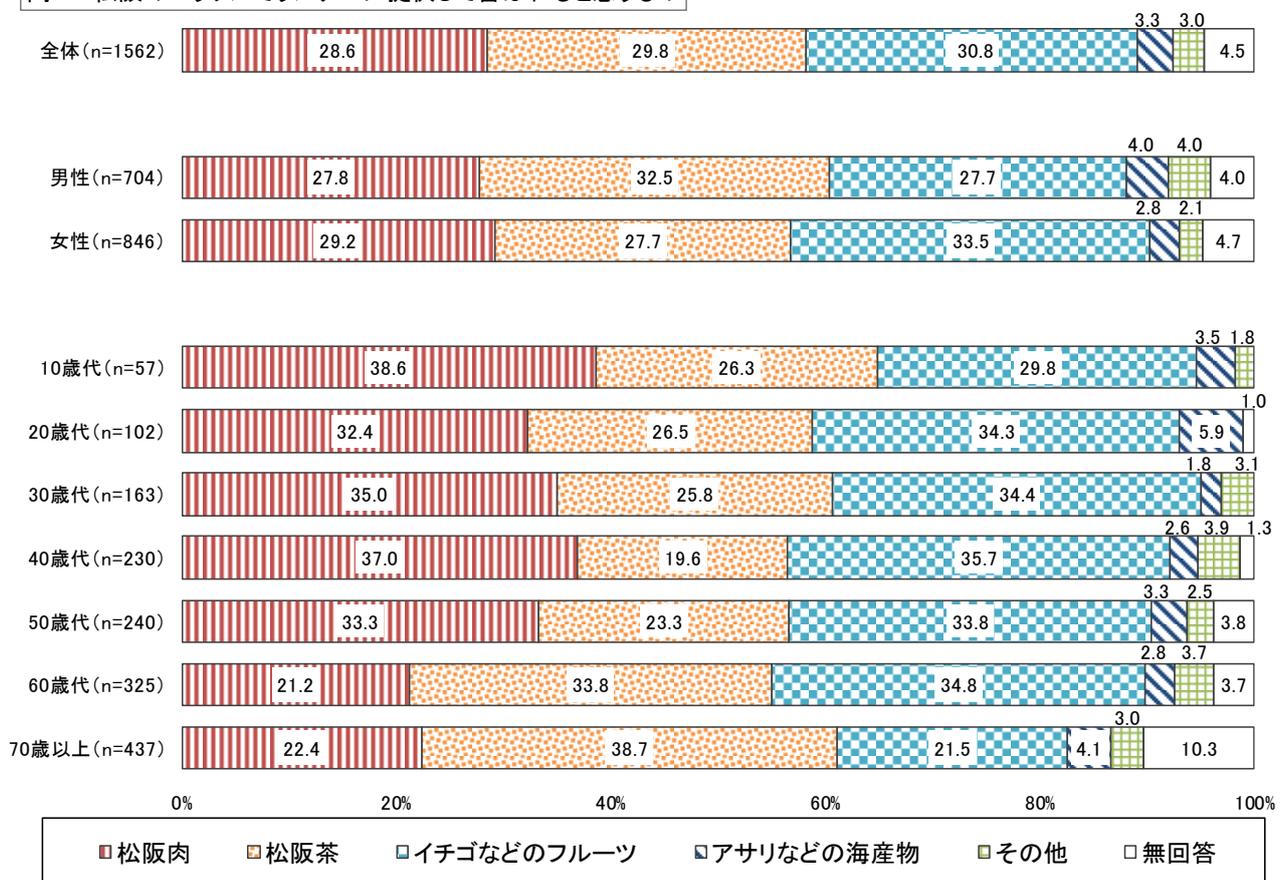
問 43 各地のマラソンでは、ランナーに飲料水や軽食を提供する場所やフィニッシュ会場において各地の特産物や名物が提供されています。松阪のマラソンでランナーに提供するとすれば何が喜ばれると思いますか。(〇は1つだけ)

「イチゴなどのフルーツ」が 30.8%と最も高く、ついで「松阪茶」が 29.8%、「松阪肉」が 28.6%となっている。

性別にみると、男性では「松阪茶」が 32.5%、女性では「イチゴなどのフルーツ」が 33.5%で最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代から50歳代では「松阪肉」と「イチゴなどのフルーツ」が同程度となっている。また、60歳代以上では他の年代よりも「松阪茶」が高くなっている。

問43 松阪のマラソンでランナーに提供して喜ばれると思うもの



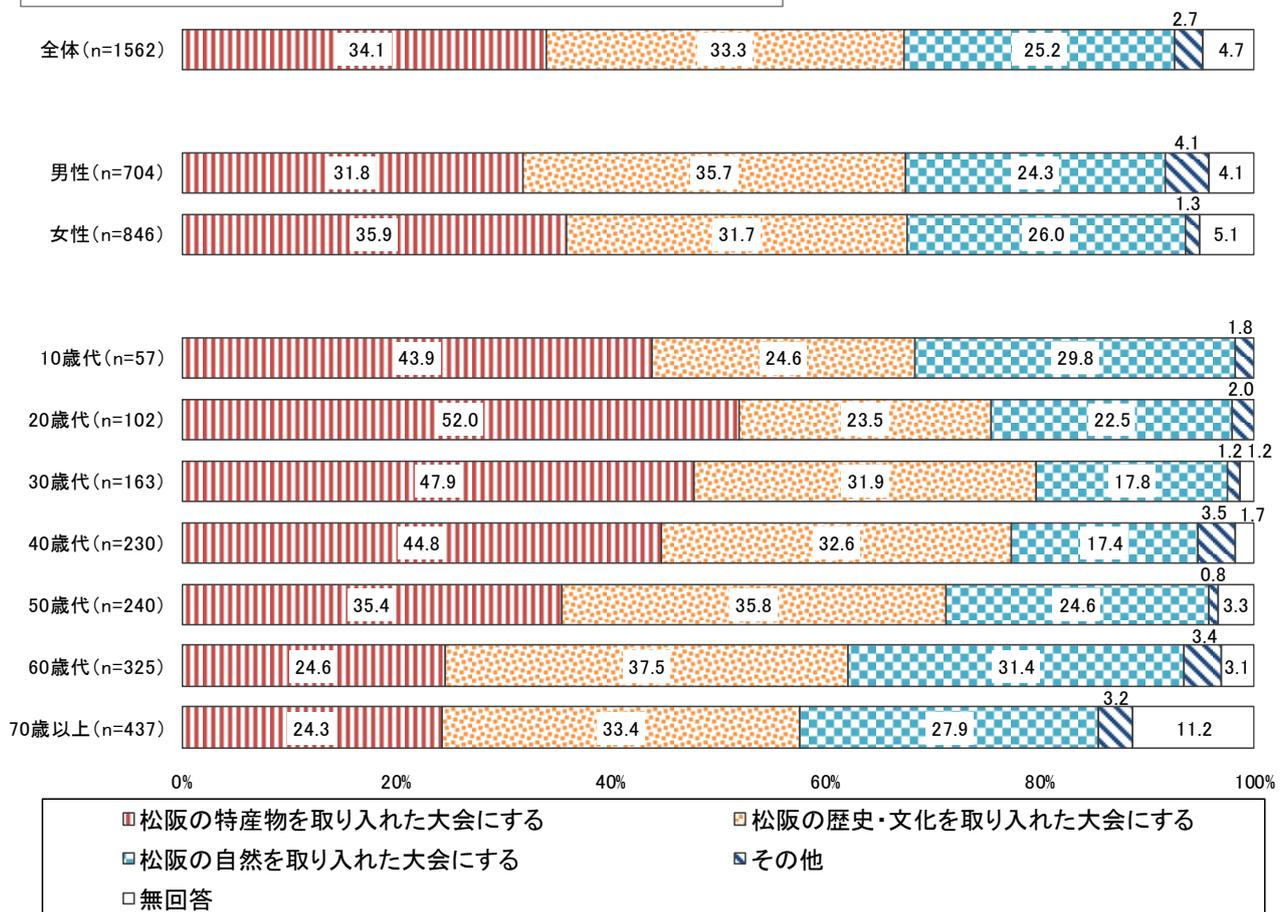
問 44 フルマラソンをとおしてどのように松阪らしさをPRしたら良いと思いますか。
(○は1つだけ)

「松阪の特産物を取り入れた大会にする」が34.1%と最も高く、ついで「松阪の歴史・文化を取り入れた大会にする」が33.3%、「松阪の自然を取り入れた大会にする」が25.2%となっている。

性別にみると、男性では「松阪の歴史・文化を取り入れた大会にする」が最も高く、35.7%となっている。女性では「松阪の特産物を取り入れた大会にする」が最も高く、35.9%となっている。

年代別にみると、10歳代から40歳代は「松阪の特産物を取り入れた大会にする」が最も高くなっている。50歳代では「松阪の特産物を取り入れた大会にする」と「松阪の歴史・文化を取り入れた大会にする」が同程度となり、60歳代以上になると「松阪の歴史・文化を取り入れた大会にする」が最も高くなっている。

問44 フルマラソンを通してどのように松阪らしさをPRしたら良いと思うか



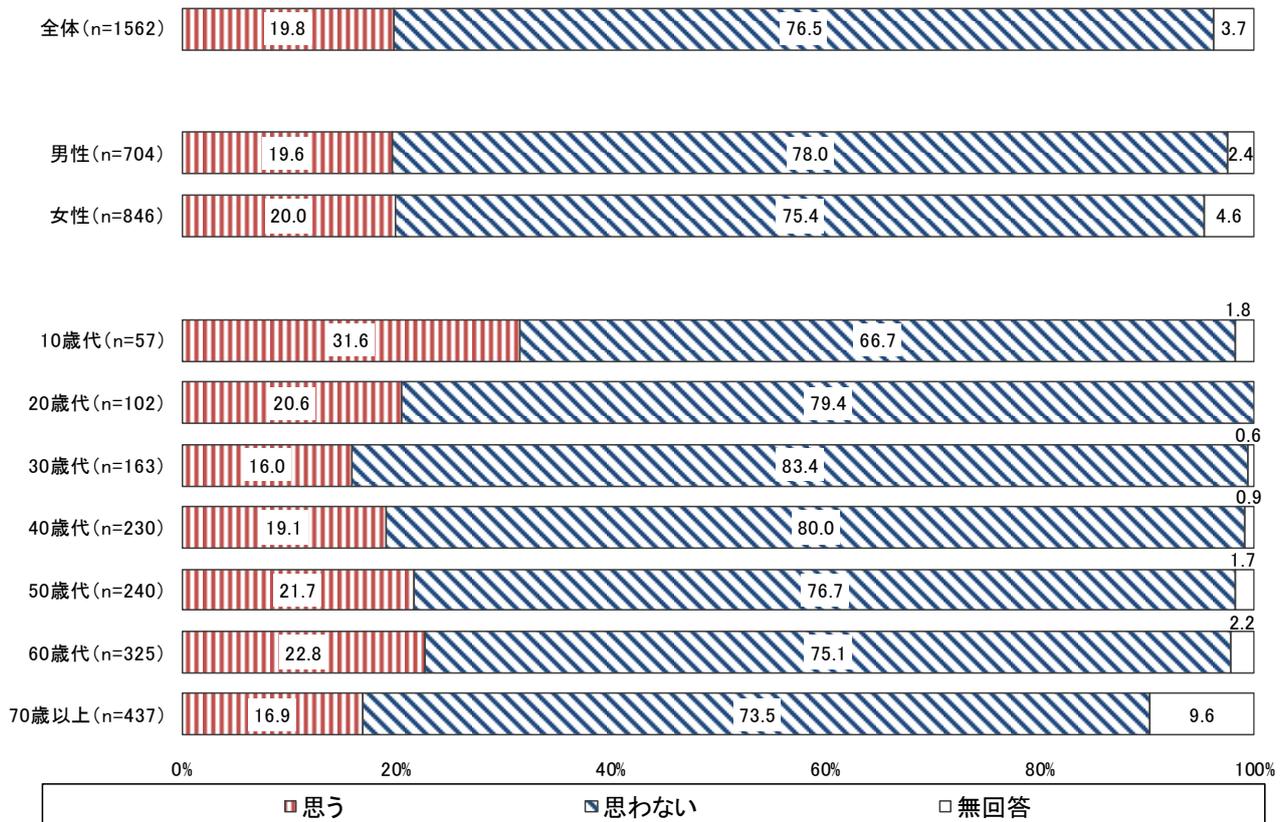
問 45 フルマラソンの開催には多くのボランティアスタッフの活躍が不可欠です。フルマラソンの開催においてボランティアとして参加しようと思いませんか。(〇は1つだけ)

「思わない」が76.5%、「思う」が19.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「思う」は2割程度となっており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、20歳代から70歳以上では「思う」は2割程度となっているが、10歳代では他の年代よりも高く、31.6%となっている。

問45 フルマラソンの開催にあたり、ボランティアとして参加しようと思うか



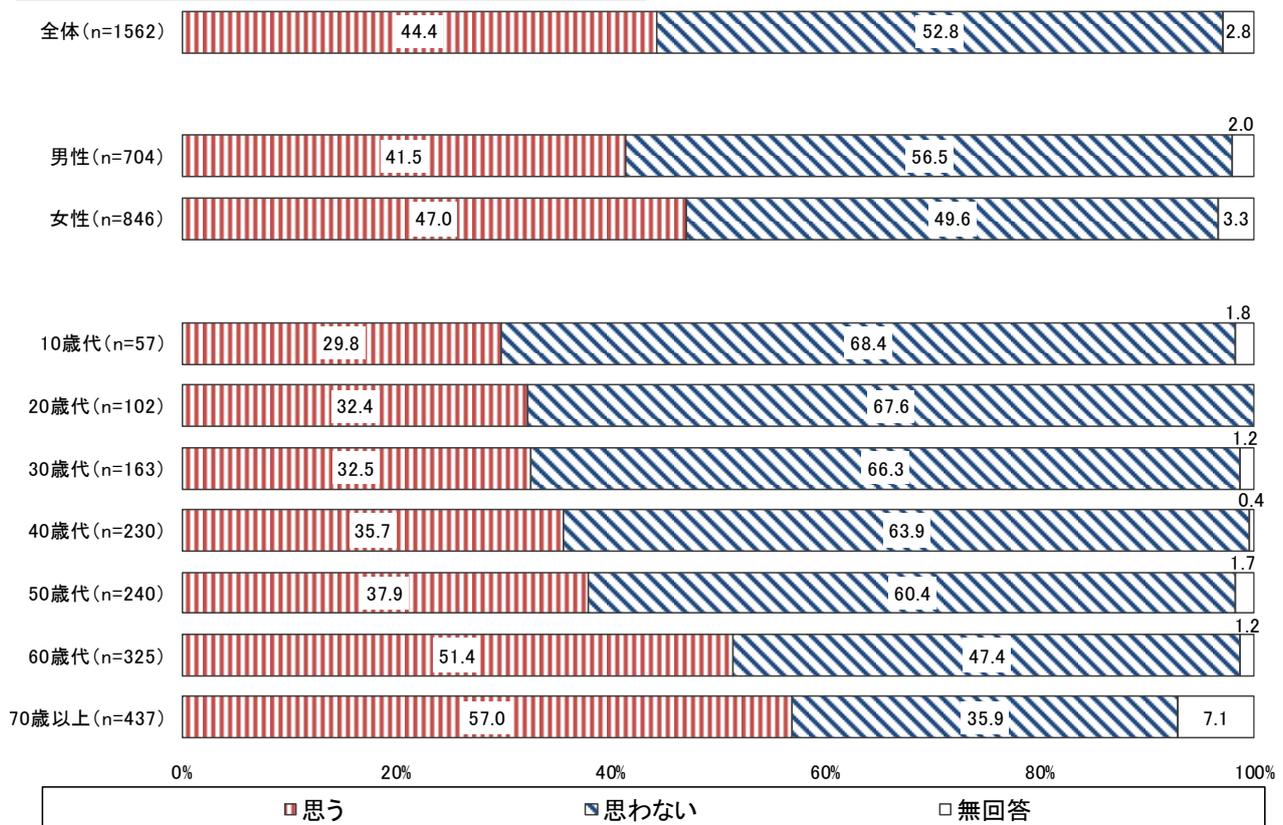
問 46 各地のマラソンではコース沿道で住民や企業の方々が趣向を凝らし、応援が行われ大会を盛り上げています。個人やグループなどを問わず、コース沿道での応援に参加しようと思いますか。(〇は1つだけ)

「思わない」が52.8%、「思う」が44.4%となっている。

性別にみると、女性では「思う」が男性よりも5ポイント以上高く、47.0%となっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「思う」が高くなっており、70歳以上では57.0%となっている。

問46 フルマラソンの際に、コース沿道で応援しようと思うか



12. 住民協議会について

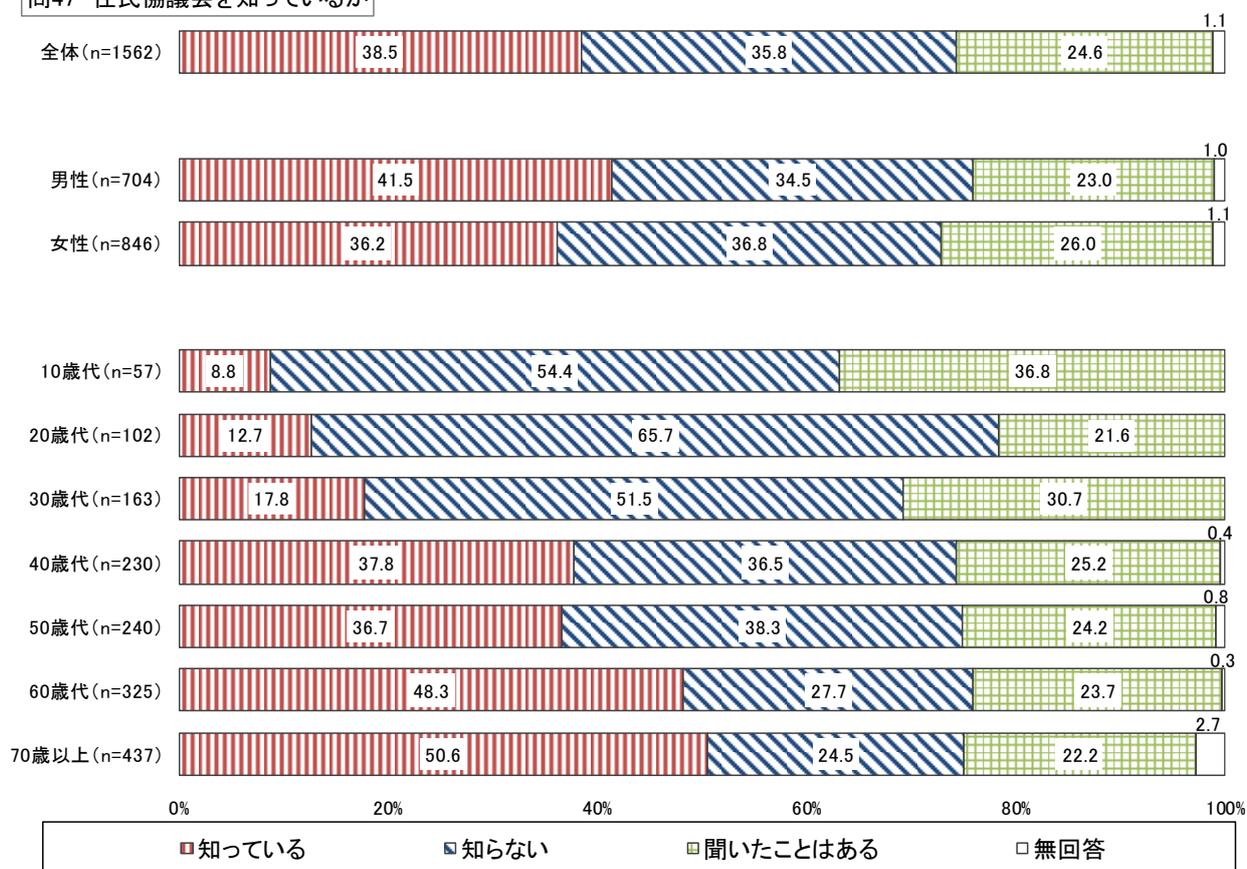
問47 住民協議会を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知っている」が38.5%と最も高く、ついで「知らない」が35.8%、「聞いたことはある」が24.6%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」が5ポイント以上高くなっている。

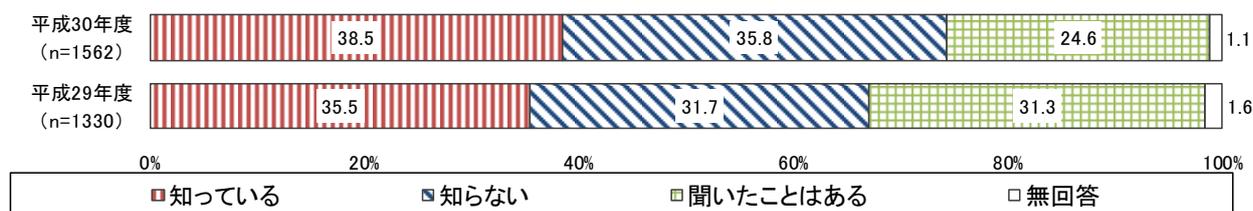
年代別にみると、30歳代までは「知っている」は2割未満であるのに対し、「知らない」が5割を超えている。40歳代、50歳代になると、「知っている」と「知らない」はほぼ同程度になり、60歳代以上になると、「知っている」がおよそ5割となっている。

問47 住民協議会を知っているか



前回と比較すると、「聞いたことはある」が減少し、「知っている」「知らない」がそれぞれわずかに増加している。

問47 住民協議会を知っているか



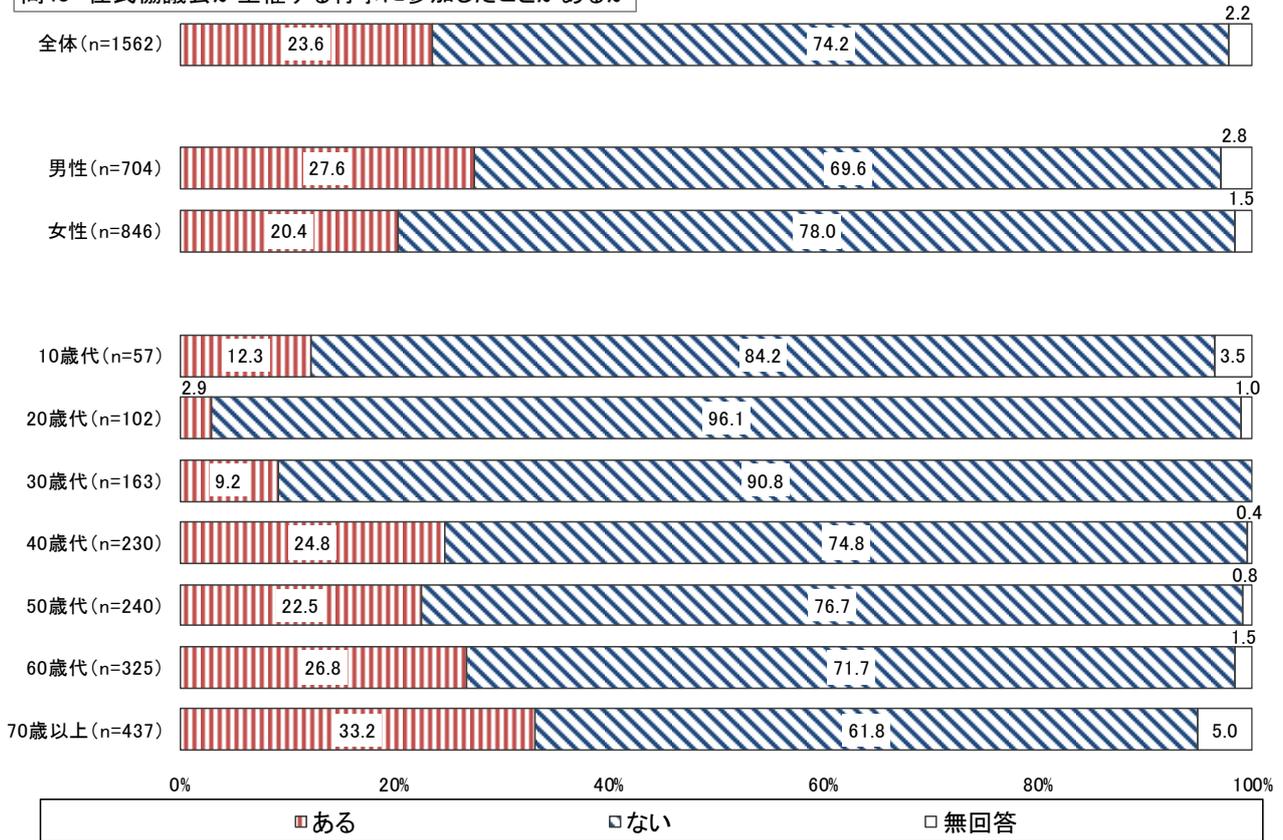
問 48 住民協議会が主催する行事に参加されたことがありますか。(○は1つだけ)

「ない」が74.2%、「ある」が23.6%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「ある」が5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、40歳代以上で「ある」は2割以上となり、70歳以上では3割を超えている。

問48 住民協議会が主催する行事に参加したことがあるか



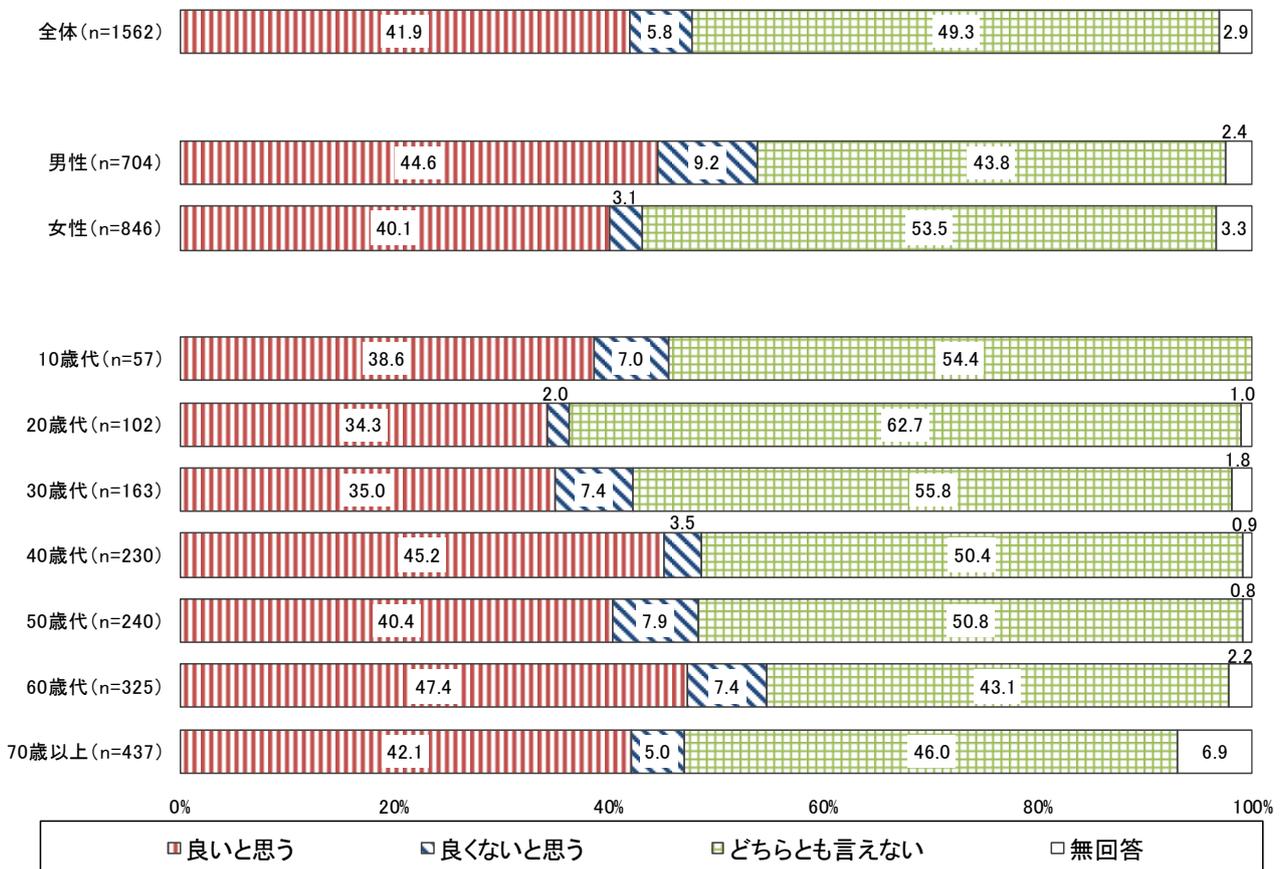
問 49 現在、住民協議会と自治会について、その役割分担や違いがわかりにくいというご意見があります。そこで市として地域の独自性や自由度を広げるという観点から、これらを含めた地域組織の一本化を提案しています。地域組織を一本化することについて、どう思いますか。(〇は1つだけ)

「どちらとも言えない」が 49.3%と最も高く、ついで「良いと思う」が 41.9%、「良くないと思う」が 5.8%となっている。

性別にみると、男性では「良いと思う」が 44.6%、女性では「どちらとも言えない」が 53.5%で最も高くなっている。

年代別にみると、60歳代では「良いと思う」が 47.4%で最も高くなっているのに対し、その他の年代では「どちらとも言えない」が最も高くなっている。

問49 地域組織を一本化することについてどう思うか



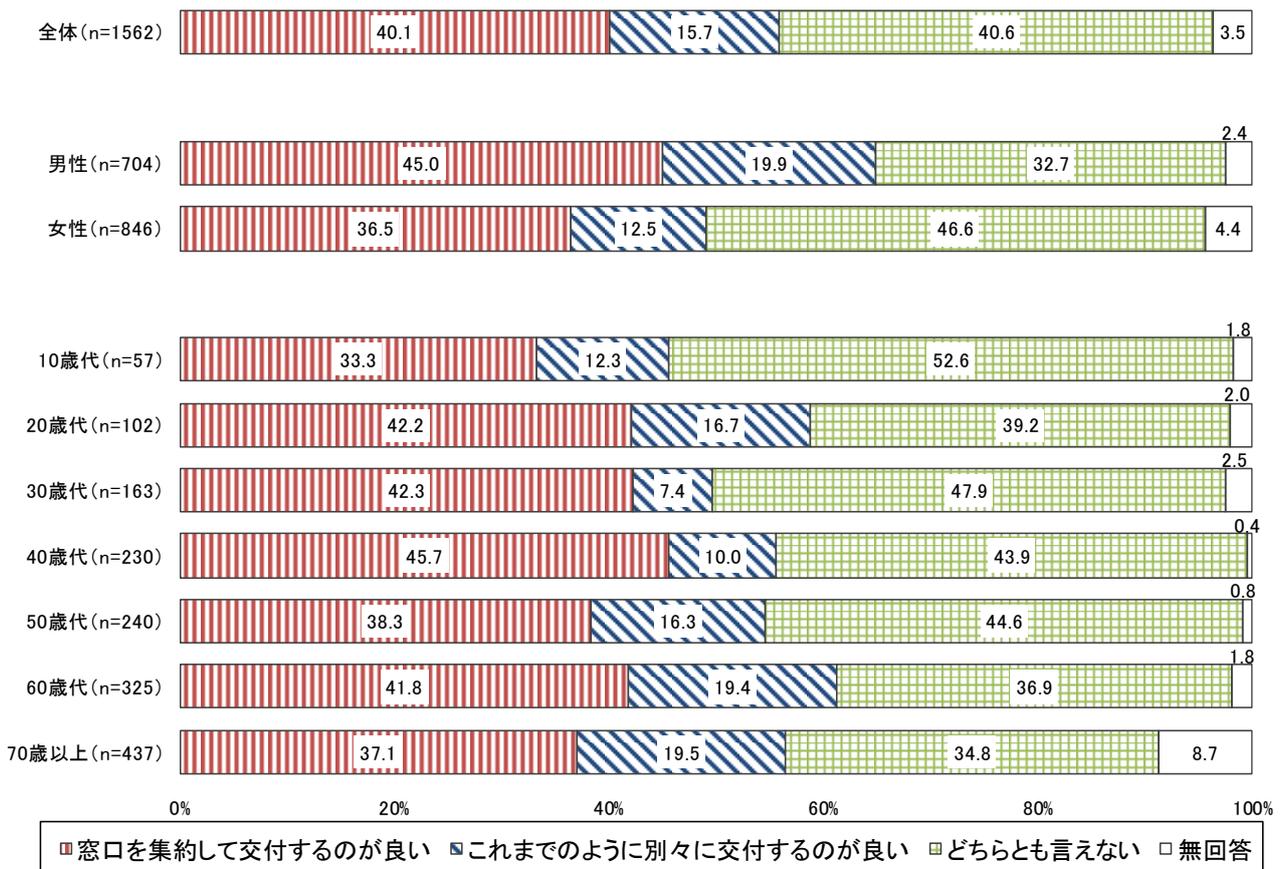
問 50 現在、市のいろいろな部局からいろいろな団体（住民協議会、自治会など）を通じて地域へお渡ししているお金（以下、地域予算 例：住民協議会活動交付金、広報等配布委託料など）が合わせて2億4千万円ほどあり、市では今後この地域予算を受け入れていただく地域の窓口を集約したいと考えています。窓口を集約することで、地域予算の流れがわかりやすくなりますが、受け取る側にとっては、地域予算の流れがそれまでとは変わってしまうこととなります。地域予算の受け入れ窓口を集約して地域にお渡しすることをどう思いますか。（○は1つだけ）

「どちらとも言えない」が40.6%と最も高く、ついで「窓口を集約して交付するのが良い」が40.1%、「これまでのように別々に交付するのが良い」が15.7%となっている。

性別にみると、男性では「窓口を集約して交付するのが良い」が最も高く、45.0%となっている。一方で女性では、「どちらとも言えない」が最も高く、46.6%となっている。

年代別にみると、10歳代を除くそれぞれの年代において、「窓口を集約して交付するのが良い」と「どちらとも言えない」が概ね同程度となっている。また、60歳代以上になると、「これまでのように別々に交付するのが良い」がおおよそ2割と他の年代よりも高くなっている。

問50 地域予算の受け入れ窓口を集約して地域に渡すことをどう思うか



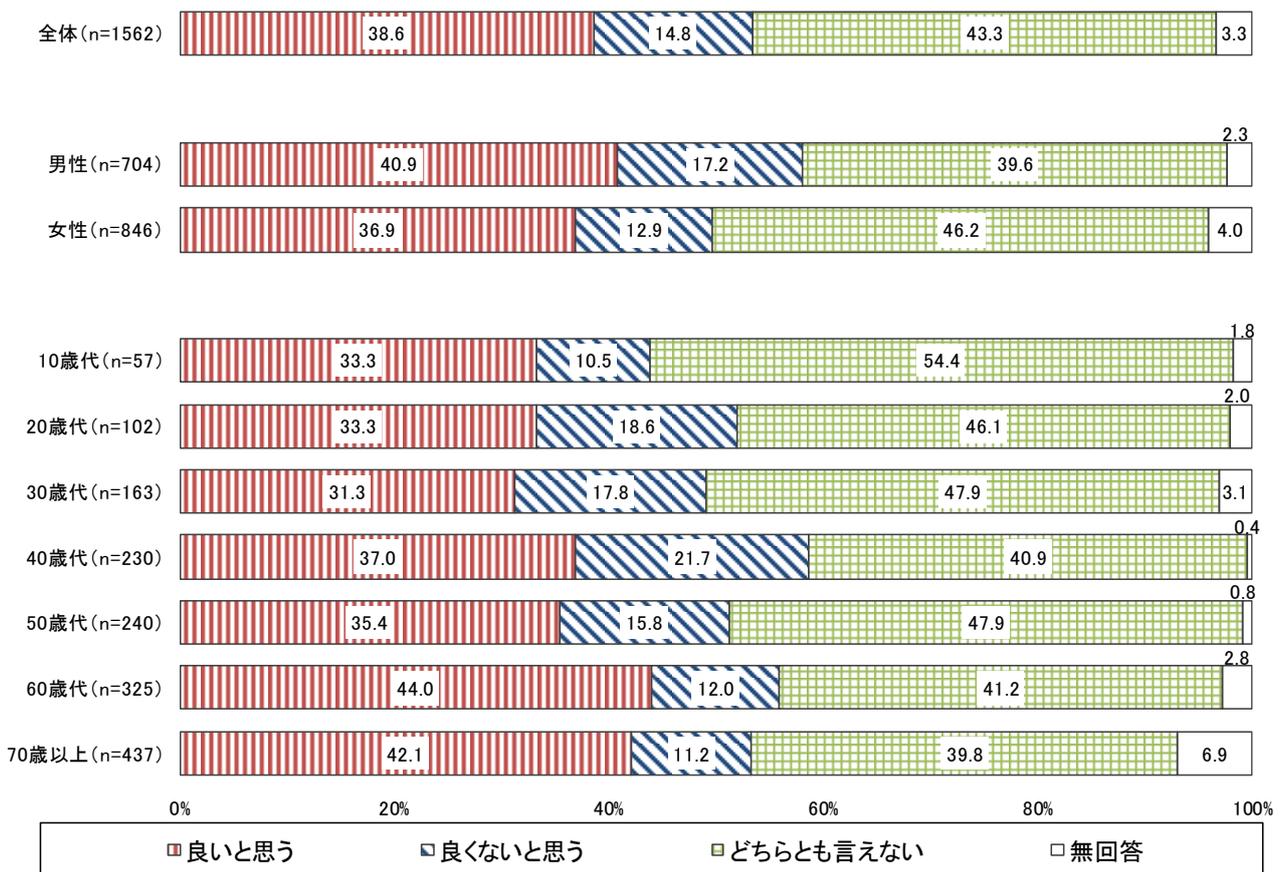
問 51 各地域において地域づくりを進めていただくうえで、地区市民センターや各地区公民館はその拠点となる施設です。現在は市が管理・運営をしていますが、将来的には管理・運営を地域にお任せ（委託）し、市職員を行政と地域との連携を保つための調整役として配置することで、より自由度の高い拠点施設として地域づくりに活用していただこうと考えています。地区市民センターや各地区公民館の管理・運営を地域にお任せ（委託）することについて、どのように思いますか。（○は1つだけ）

「どちらとも言えない」が43.3%と最も高く、ついで「良いと思う」が38.6%、「良くないと思う」が14.8%となっている。

性別にみると、男性では「良いと思う」が最も高く40.9%、女性では「どちらとも言えない」が最も高く46.2%となっている。

年代別にみると、10歳代から50歳代までは「どちらとも言えない」が最も高くなっているが、60歳代以上になると「良いと思う」の方がやや高くなっている。

問51 地区市民センター等の管理・運営を地域に委託することについてどう思うか



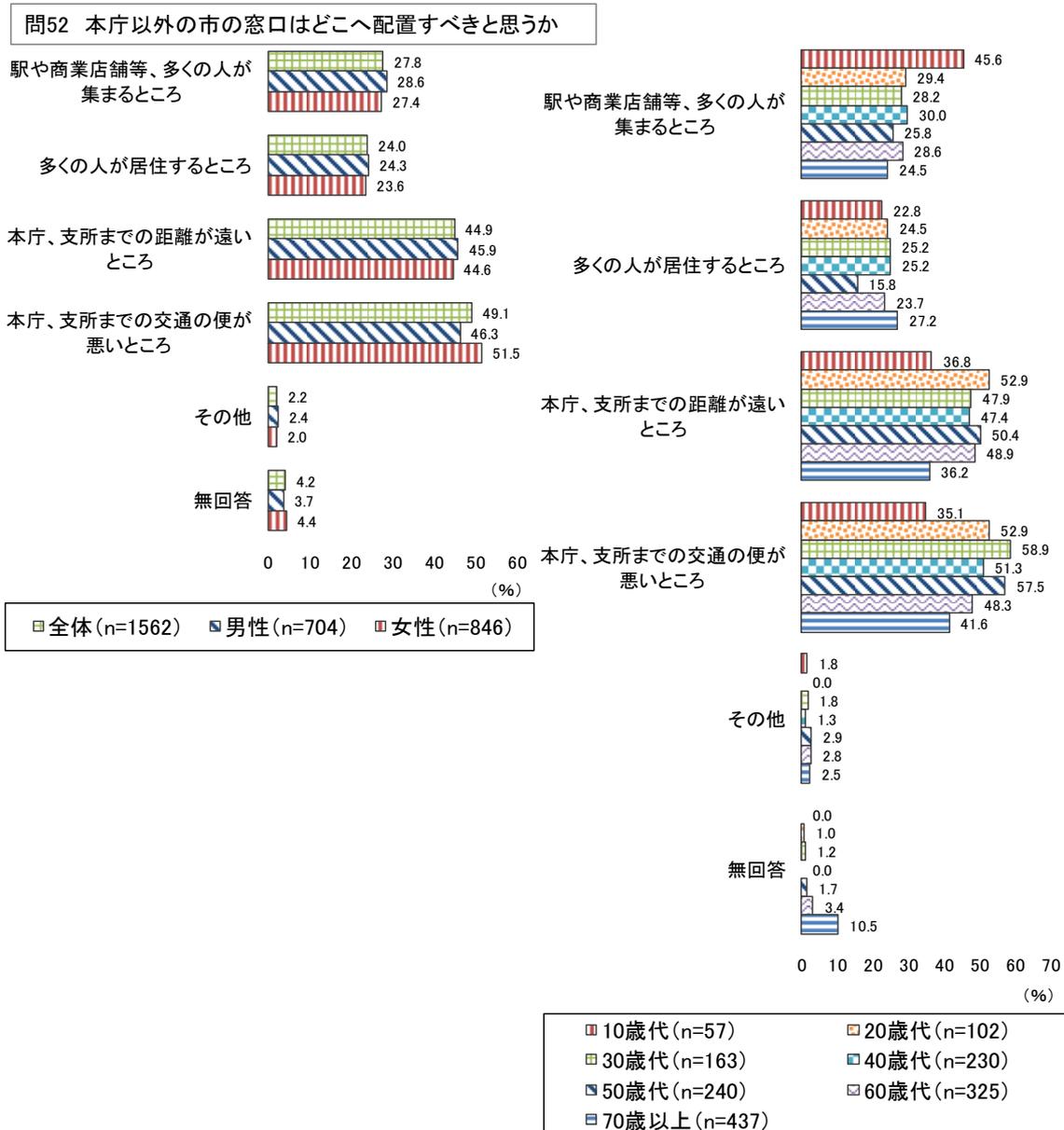
13. 市の窓口の最適配置について

問 52 本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、どのようなところへ配置すべきだと思いますか。（〇は2つまで）

「本庁、支所までの交通の便が悪いところ」が49.1%と最も高く、ついで「本庁、支所までの距離が遠いところ」が44.9%、「駅や商業店舗等、多くの人が集まる場所」が27.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「本庁、支所までの交通の便が悪いところ」が最も高くなっている。女性では男性よりも5ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、20歳代以上では「本庁、支所までの交通の便が悪いところ」や「本庁、支所までの距離が遠いところ」が高くなっているが、10歳代では「駅や商業店舗等、多くの人が集まる場所」が高く、45.6%となっている。



市の窓口

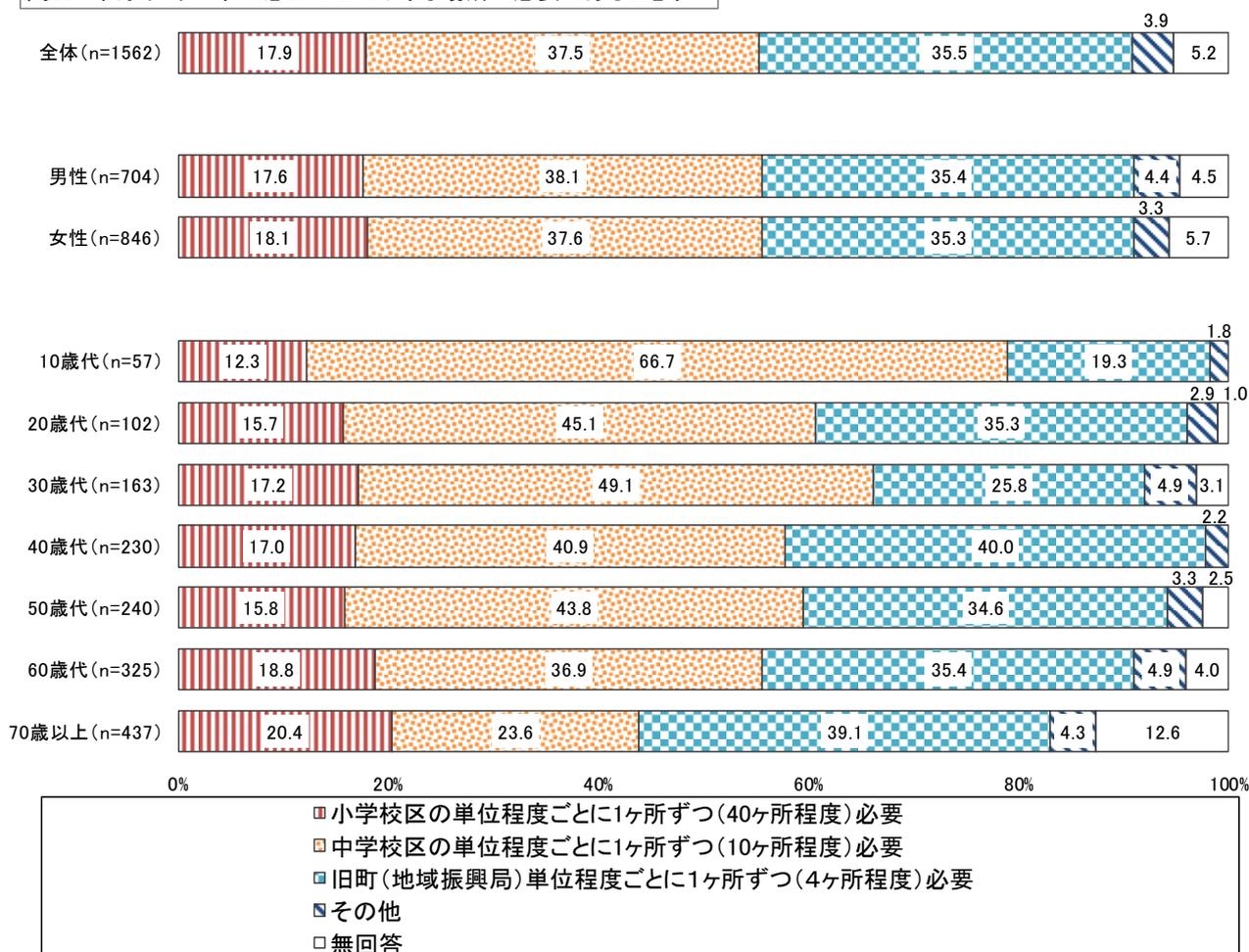
問53 居住人数等の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、どのような場所に（何ヶ所程度）必要であると思いますか。（〇は1つだけ）

「中学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（10ヶ所程度）必要」が37.5%と最も高く、ついで「旧町（地域振興局）単位程度ごとに1ヶ所ずつ（4ヶ所程度）必要」が35.5%、「小学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（40ヶ所程度）必要」が17.9%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「中学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（10ヶ所程度）必要」が3割半ばで最も高くなっており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代では「中学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（10ヶ所程度）必要」が最も高く66.7%となっているが、年代が上がるにつれてその割合は減少傾向を示しており、「旧町（地域振興局）単位程度ごとに1ヶ所ずつ（4ヶ所程度）必要」の割合が相対的に大きくなっている。

問53 本庁以外の市の窓口はどのような場所に必要であると思うか



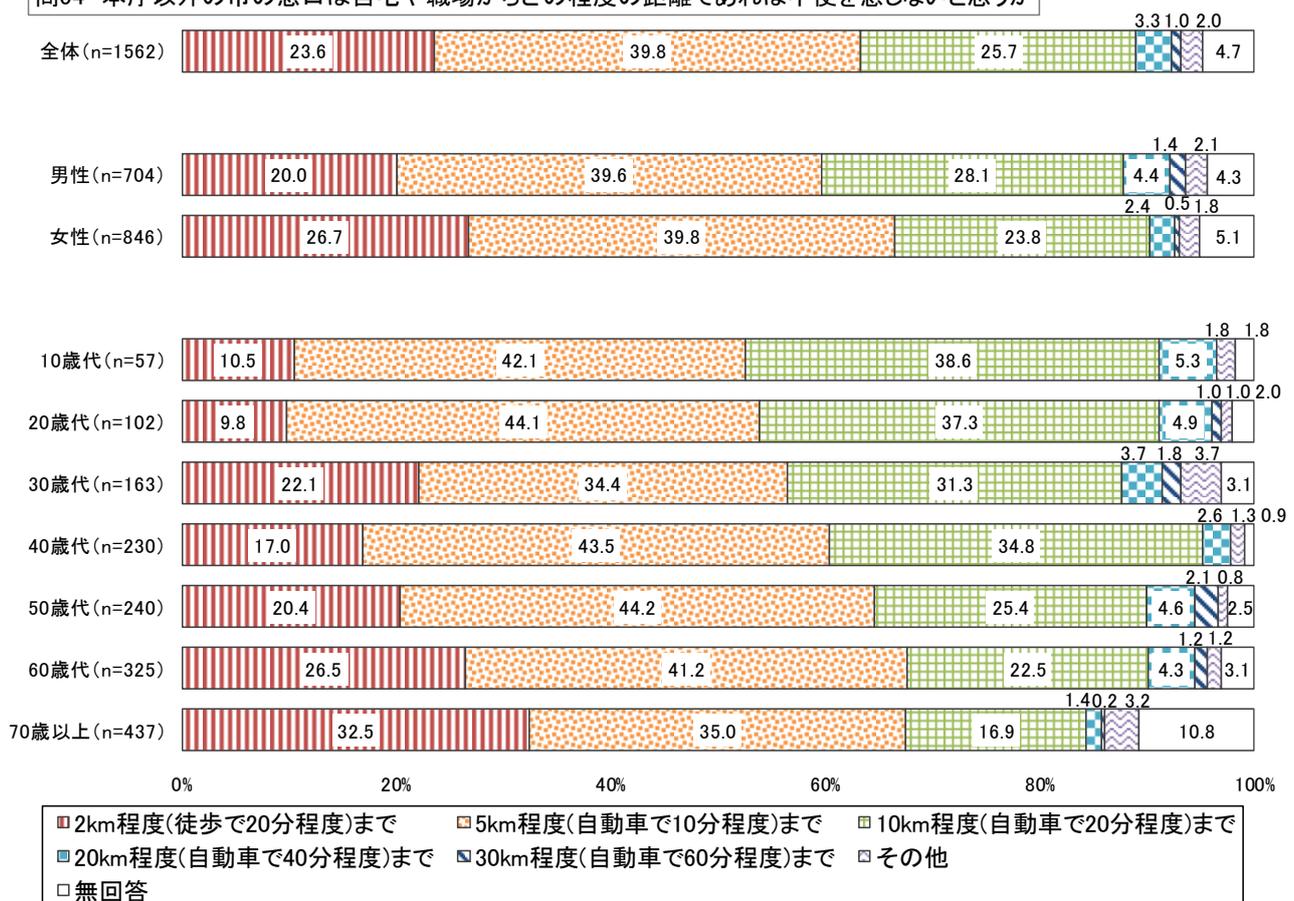
問 54 松阪市は、東西約 50km、南北約 37km に広がっており、面積が三重県内で 2 番目に大きい市であることから、市の窓口の配置にあたっては、窓口までの距離についても考慮する必要があります。距離の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、自宅や職場等からどのような距離までであれば不便を感じることなく手続きできるとお考えですか。（○は 1 つだけ）

「5km 程度(自動車で 10 分程度)まで」が 39.8%と最も高く、ついで「10km 程度(自動車で 20 分程度)まで」が 25.7%、「2km 程度(徒歩で 20 分程度)まで」が 23.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「5km 程度(自動車で 10 分程度)まで」が最も高くなっていることは同様だが、ついで男性では「10km 程度(自動車で 20 分程度)まで」が 28.1%で、女性では「2km 程度(徒歩で 20 分程度)まで」が 26.7%と高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「5km 程度(自動車で 10 分程度)まで」が最も高くなっている。また、10 歳代、20 歳代では「10km 程度(自動車で 20 分程度)まで」も比較的高くなっているのに対して、60 歳代以上では「2km 程度(徒歩で 20 分程度)まで」が高くなっている。

問54 本庁以外の市の窓口は自宅や職場からどの程度の距離であれば不便を感じないと思うか



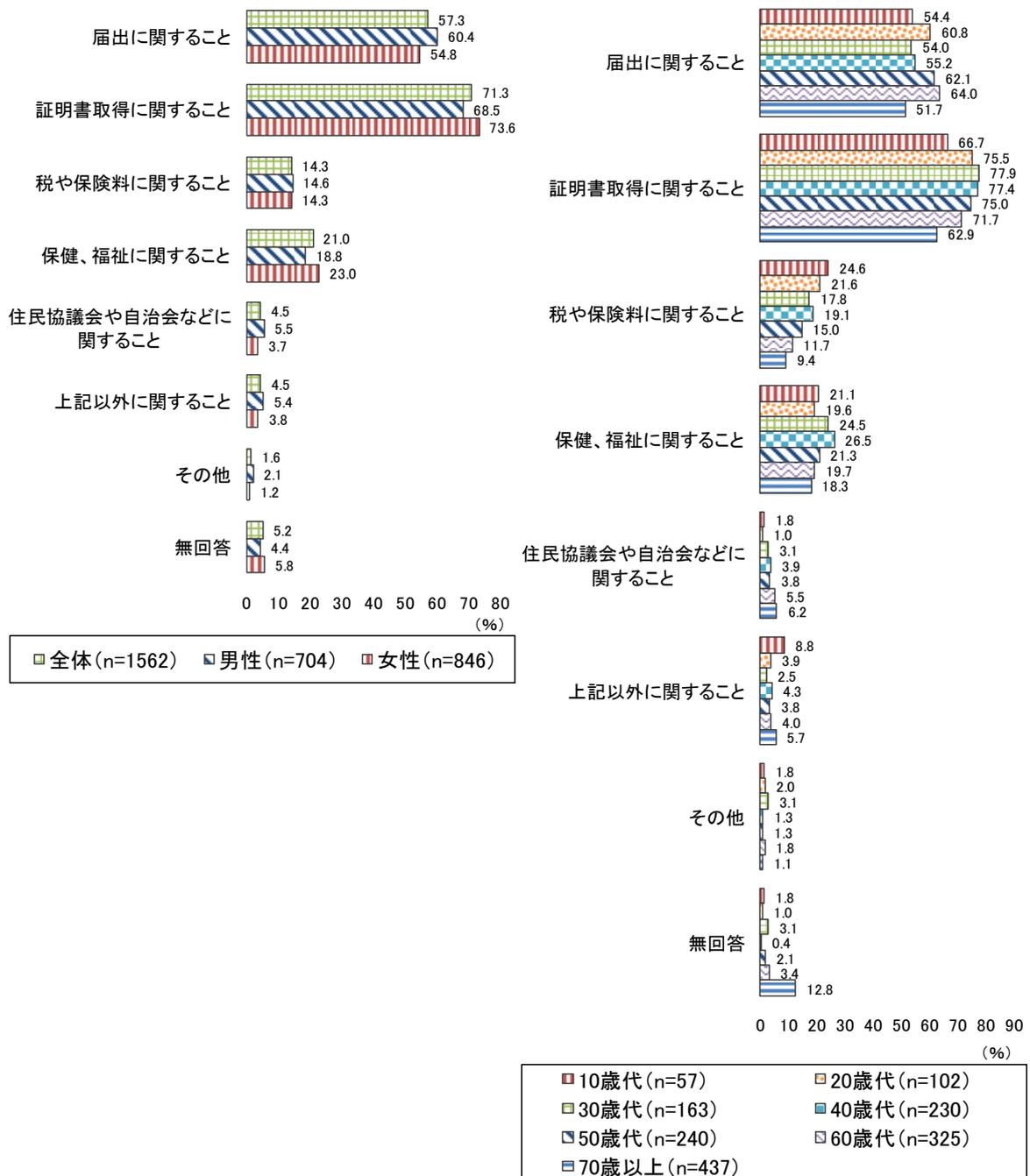
問 55 「支所、出張所に必要」と思う業務はどれですか。(〇は2つまで)

「証明書取得に関すること」が71.3%と最も高く、ついで「届出に関すること」が57.3%、「保健、福祉に関すること」が21.0%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「証明書取得に関すること」が最も高くなっている。特に女性では男性よりも約5ポイント高い、73.6%となっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「証明書取得に関すること」が最も高くなっており、年代による違いはみられない。

問55 「支所、出張所に必要」と思う業務



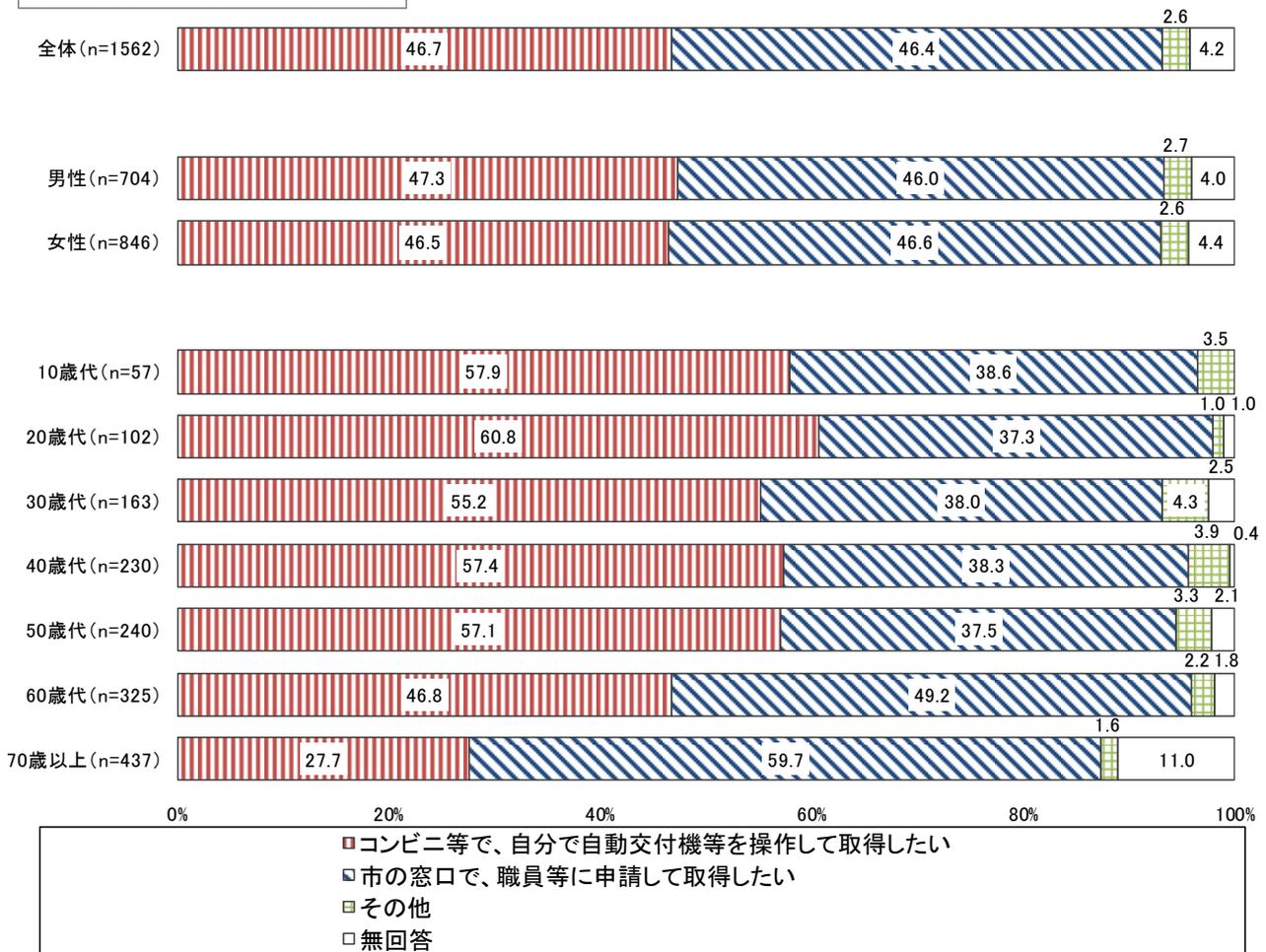
問 56 平成 30 年 2 月より、「戸籍謄本」、「住民票」、「印鑑登録証明書」、「所得証明書」などの証明書は、全国のコンビニで、マイナンバーカードを利用し、設置された自動交付機等を自分で操作することにより、市の窓口と同料金で、市役所の閉庁時間でも取得できるようになりました。（取得可能時間は証明書により異なります。）これからの証明書の取得について、あなたの考えをお聞かせください。（○は1つだけ）

「コンビニ等で、自分で自動交付機等を操作して取得したい」が 46.7%と最も高く、ついで「市の窓口で、職員等に申請して取得したい」が 46.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともにほぼ同様の傾向を示しており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、10 歳代から 50 歳代までは「コンビニ等で、自分で自動交付機等を操作して取得したい」が最も高くなっており、いずれの年代でも半数を超えているが、60 歳代以上になると「市の窓口で、職員等に申請して取得したい」が最も高くなってきている。特に 70 歳以上では「市の窓口で、職員等に申請して取得したい」の割合が高く、およそ 6 割となっている。

問56 証明書の取得についての考え



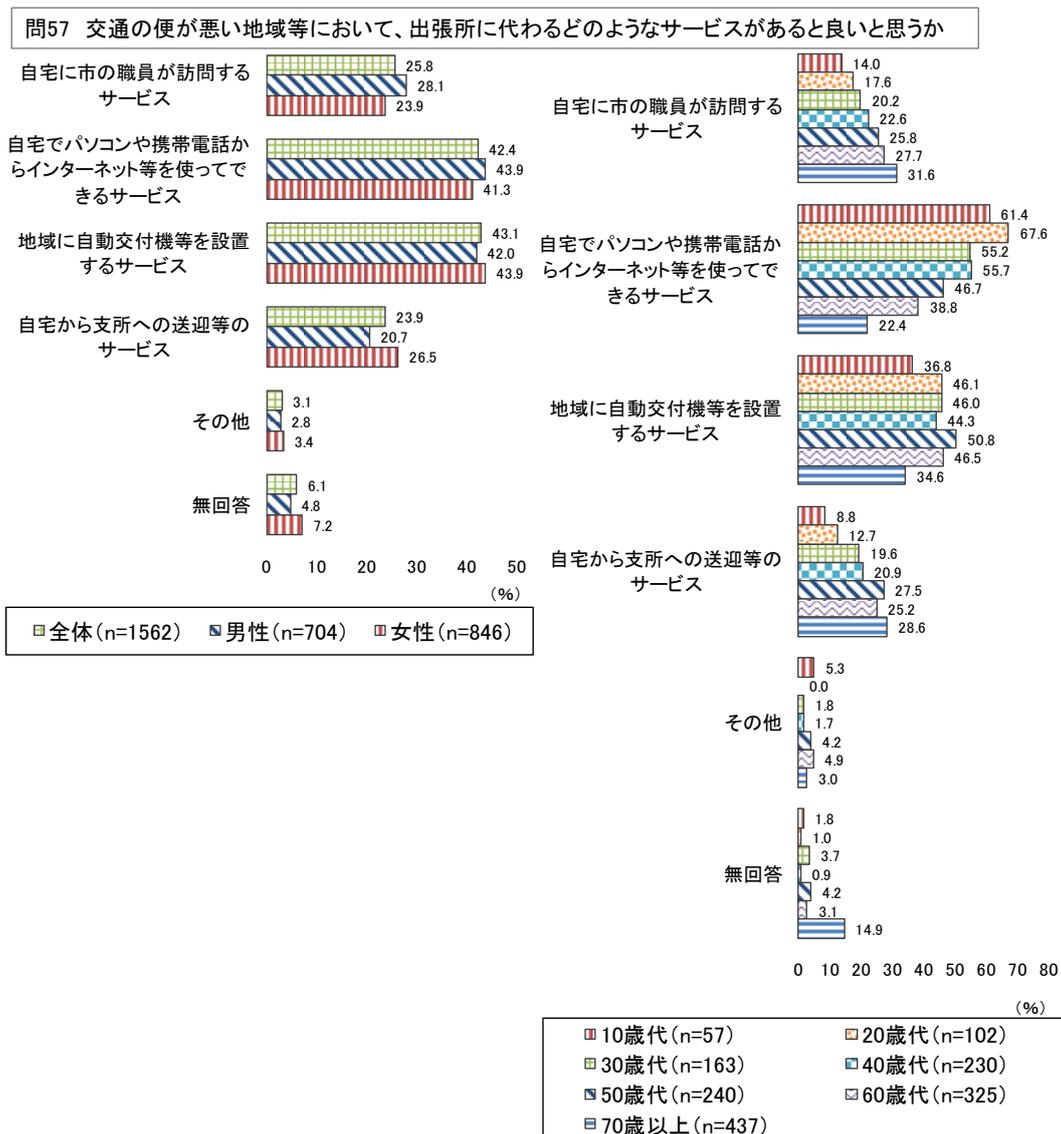
市の窓口

問 57 中山間地域等、交通の便が悪い地域等には、出張所を設置していますが、利用状況や運営費用等をふまえ、より利用しやすいサービスとして、現在の出張所に代わる新たなサービスも検討していく必要があります。どのようなサービスがあると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

「地域に自動交付機等を設置するサービス」が43.1%と最も高く、ついで「自宅でパソコンや携帯電話からインターネット等を使ってできるサービス」が42.4%、「自宅に市の職員が訪問するサービス」が25.8%となっている。

性別にみると、男性では「自宅でパソコンや携帯電話からインターネット等を使ってできるサービス」が43.9%で、女性では「地域に自動交付機等を設置するサービス」が43.9%で最も高くなっている。また、「自宅に市の職員が訪問するサービス」や「自宅から支所への送迎等のサービス」では性別による違いがみられる。

年代別にみると、10歳代から40歳代までは「自宅でパソコンや携帯電話からインターネット等を使ってできるサービス」が最も高く、特に10歳代、20歳代では6割を超えている。一方で、50歳代以上になると「地域に自動交付機等を設置するサービス」が最も高くなっている。

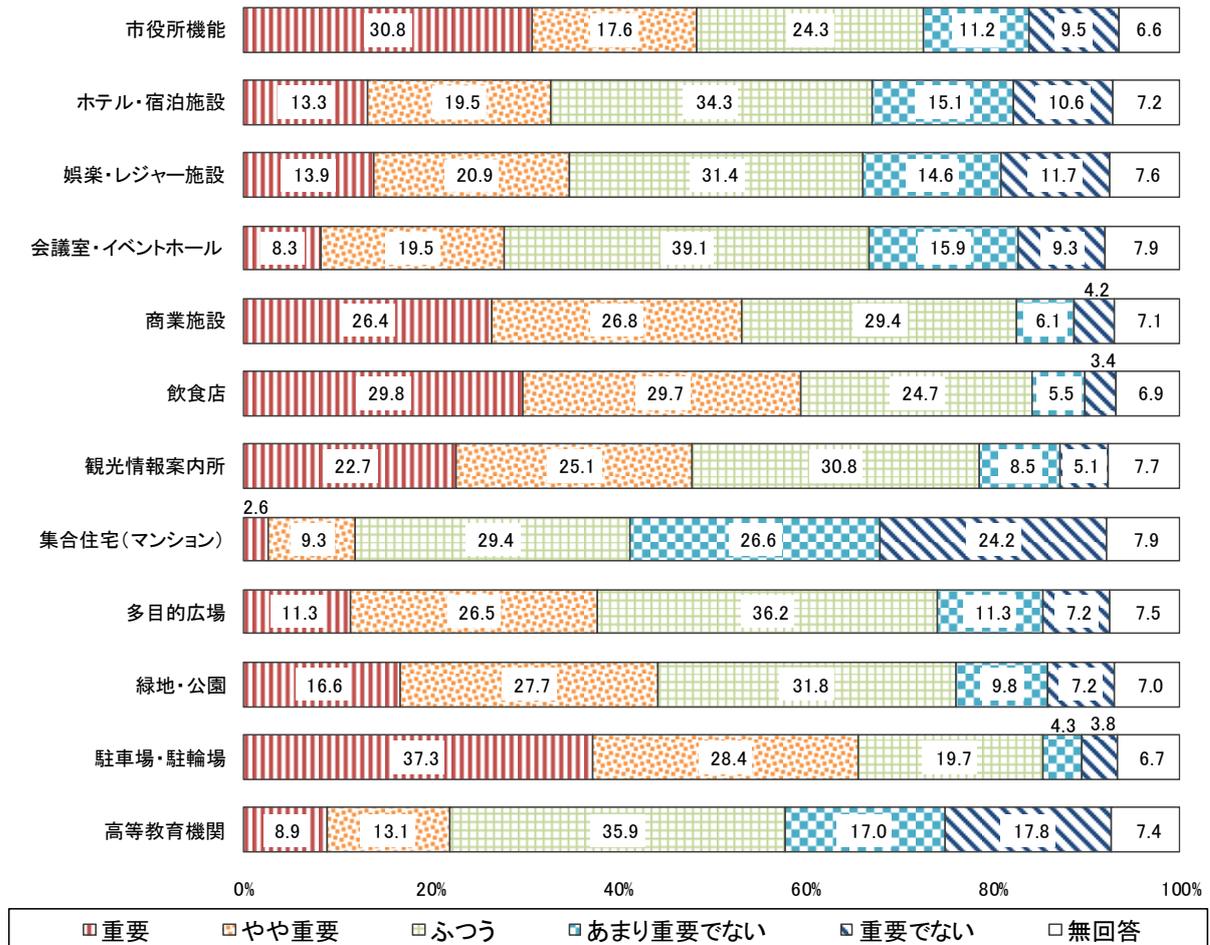


14. 松阪駅西地区の複合施設について

問 58 松阪駅西地区に複合施設を計画していますが、下記の施設、機能についての重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「駐車場・駐輪場」が65.7%、「飲食店」が59.5%、「商業施設」が53.2%となっている。

問58 松阪駅西地区の複合施設の機能として重要だと思うこと

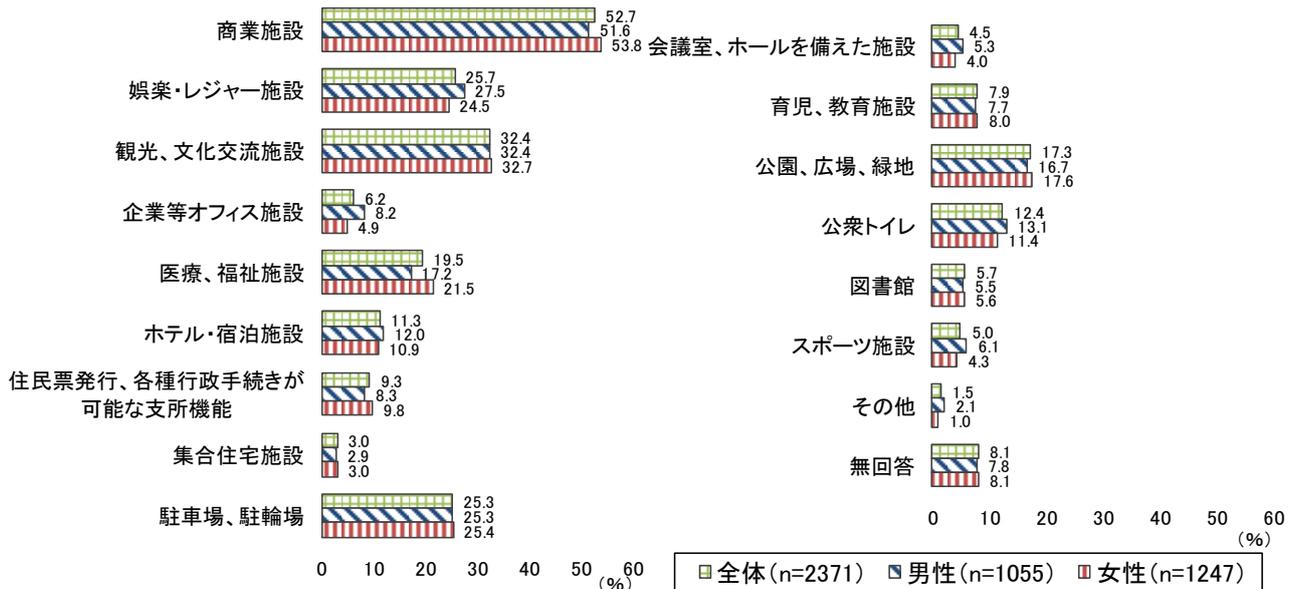


【参 考】平成 27 年度 松阪市総合計画策定に関する意識調査より（平成 28 年 3 月実施）

問 27. 松阪駅を中心とした市街地をより便利に、魅力的にしていくためにどのような施設、機能が必要だと思いますか。（○は3つまで）

「商業施設」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「観光、文化交流施設」の割合が 32.4%、「娯楽・レジャー施設」の割合が 25.7%となっています。

問27 中心市街地をより便利に、魅力的にしていくためにどのような施設、機能が必要か

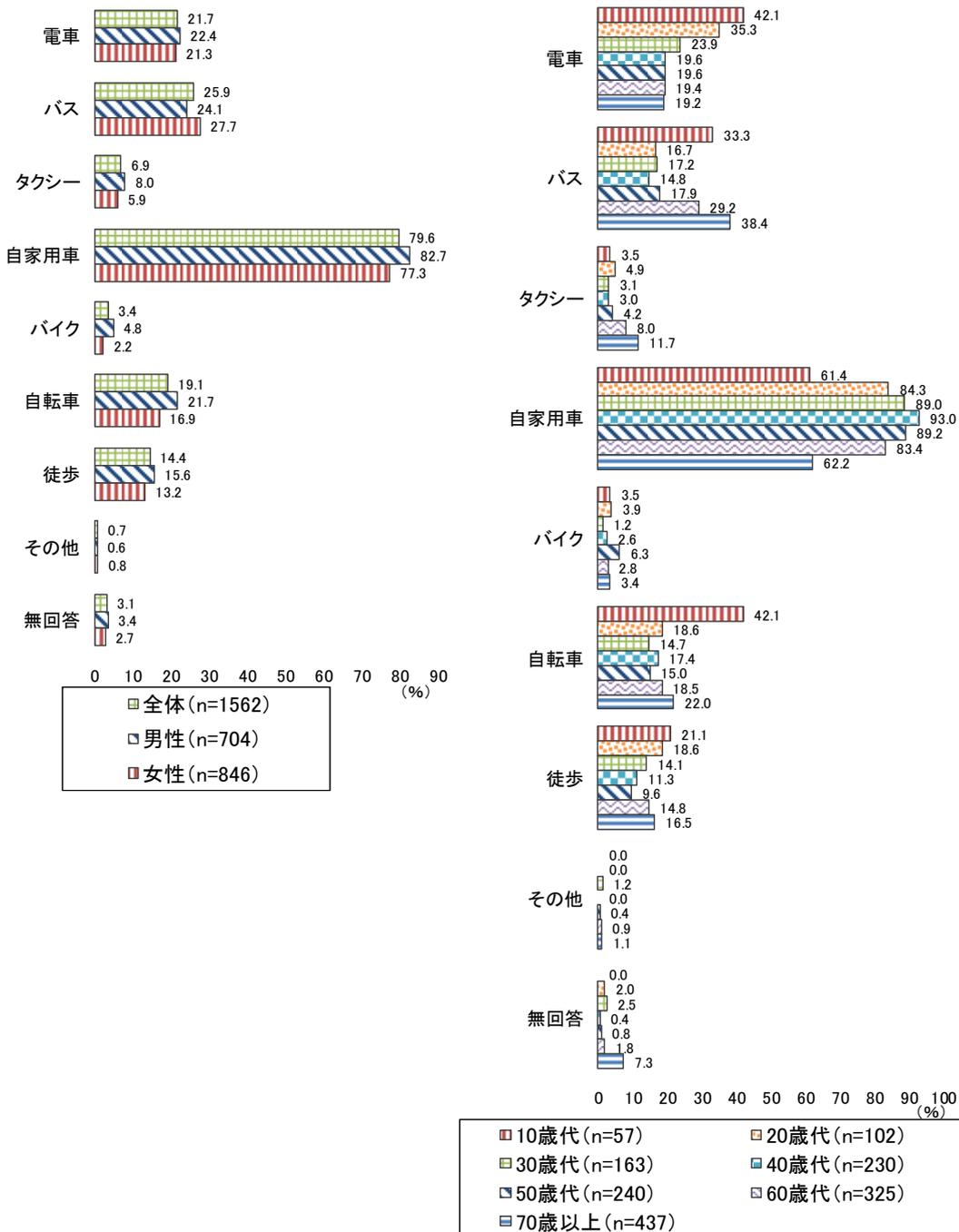


問 59 複合施設ができた後、利用するとした場合の交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「自家用車」が79.6%と最も高く、ついで「バス」が25.9%、「電車」が21.7%となっている。性別にみると、男性・女性ともに「自家用車」が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「自家用車」が最も高くなっているが、10歳代、70歳以上では他の年代よりもその割合は低くなっている。10歳代では「自家用車」の他に「電車」「バス」「自転車」が比較的高くなっている。70歳以上では「バス」が比較的高くなっている。

問59 複合施設までの交通手段



複合施設

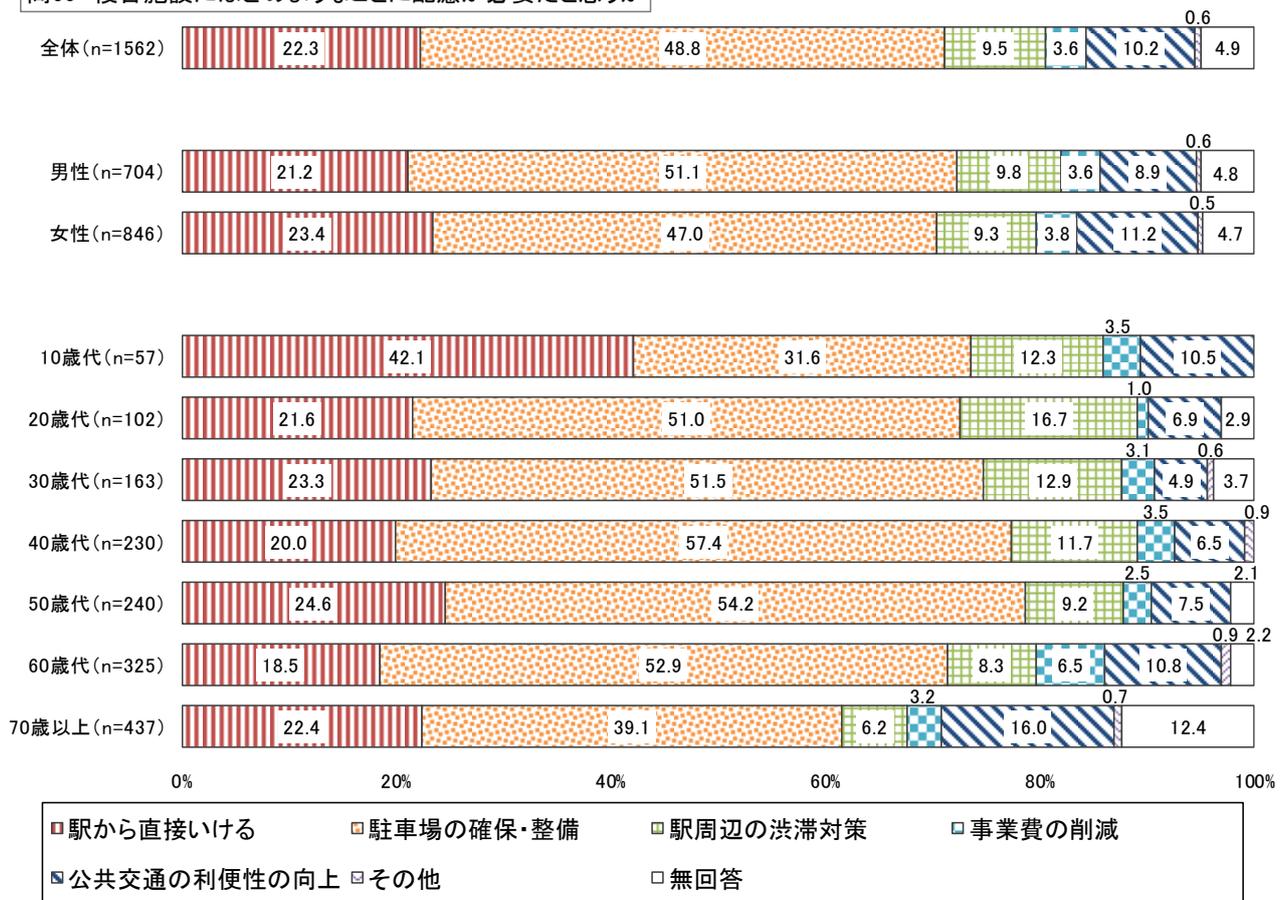
問 60 複合施設にはどのようなことに配慮が必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

「駐車場の確保・整備」が48.8%と最も高く、ついで「駅から直接いける」が22.3%、「公共交通の利便性の向上」が10.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「駐車場の確保・整備」が最も高くなっており、性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、10歳代では「駅から直接いける」が最も高く42.1%となっているのに対し、その他の年代では「駐車場の確保・整備」が最も高くなっている。

問60 複合施設にはどのようなことに配慮が必要だと思うか



問 61 複合施設内、またはその周辺にどのような空間がほしいですか。ご自由にご記入ください。

設問	詳細分類項目	件数	構成比 (%)	
問 61	I. 施設種別			
	1	公園・緑地	117	17.7
	2	休憩所・待ち合わせ場所	69	10.4
	3	商業施設	65	9.8
	4	飲食店	63	9.5
	5	駐車場	47	7.1
	6	多目的スペース・広場・イベントホール等	34	5.1
	7	スポーツ施設	25	3.8
	8	文化施設	22	3.3
	9	道路・交通施設	13	2.0
	10	特産物販売所	12	1.8
	11	教育・保育施設	10	1.5
	12	医療施設	9	1.4
	13	公共施設	8	1.2
	14	案内所・案内施設	4	0.6
	15	娯楽施設	3	0.5
	16	農園・牧場等	3	0.5
	17	治安機関	3	0.5
	18	その他	13	2.0
	II. 目的別			
	1	子どもの遊べる場所	43	6.5
	2	人の集まる場所	12	1.8
	3	楽しめる場所	10	1.5
	4	のんびりできる場所	10	1.5
	5	親子で過ごせる場所	9	1.4
	6	若者が集まりやすい場所	9	1.4
	7	高齢者が過ごせる場所	9	1.4
	8	交流のできる場所	7	1.1
	9	散策や街歩きのできる場所	7	1.1
	10	観光に活かせる場所	6	0.9
	11	長時間過ごすことのできる場所	5	0.8
	12	近代的なもの・おしゃれなものがある場所	5	0.8
	13	低コストな場所・建物	4	0.6
14	眺めの良い場所	3	0.5	
15	賑わいのある場所	2	0.3	
合計		661		

15. 市施設における使用料等の見直しについて

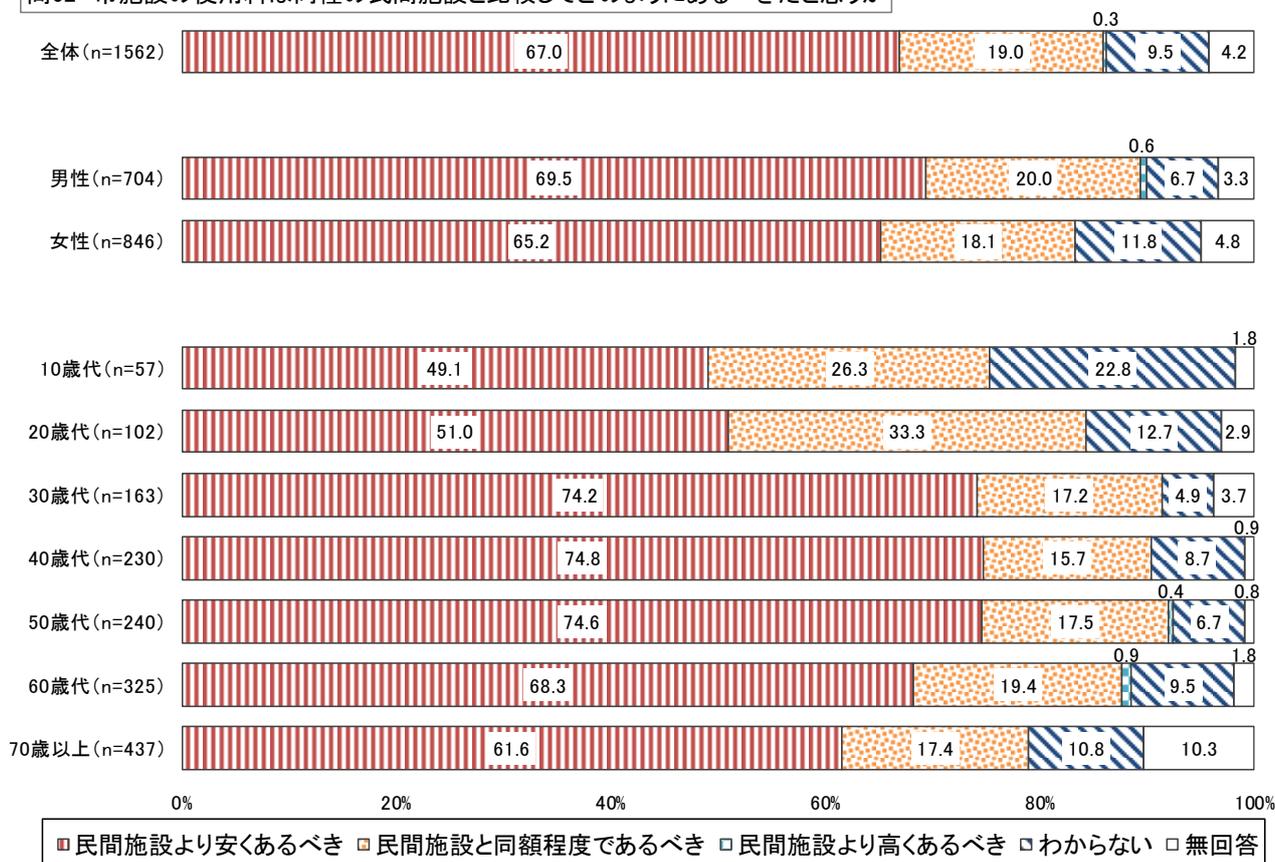
問 62 市施設の使用料は同種の民間施設と比較してどのようにあるべきだと思いますか。
(○は1つだけ)

「民間施設より安くあるべき」が67.0%と最も高く、ついで「民間施設と同額程度であるべき」が19.0%、「わからない」が9.5%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「民間施設より安くあるべき」が最も高くなっており、いずれも6割半ばを超えている。

年代別にみると、いずれの年代においても「民間施設より安くあるべき」が最も高くなっている。特に30歳代から50歳代は7割半ばとなっており、他の年代よりも高くなっている。

問62 市施設の使用料は同種の民間施設と比較してどのようにあるべきだと思うか



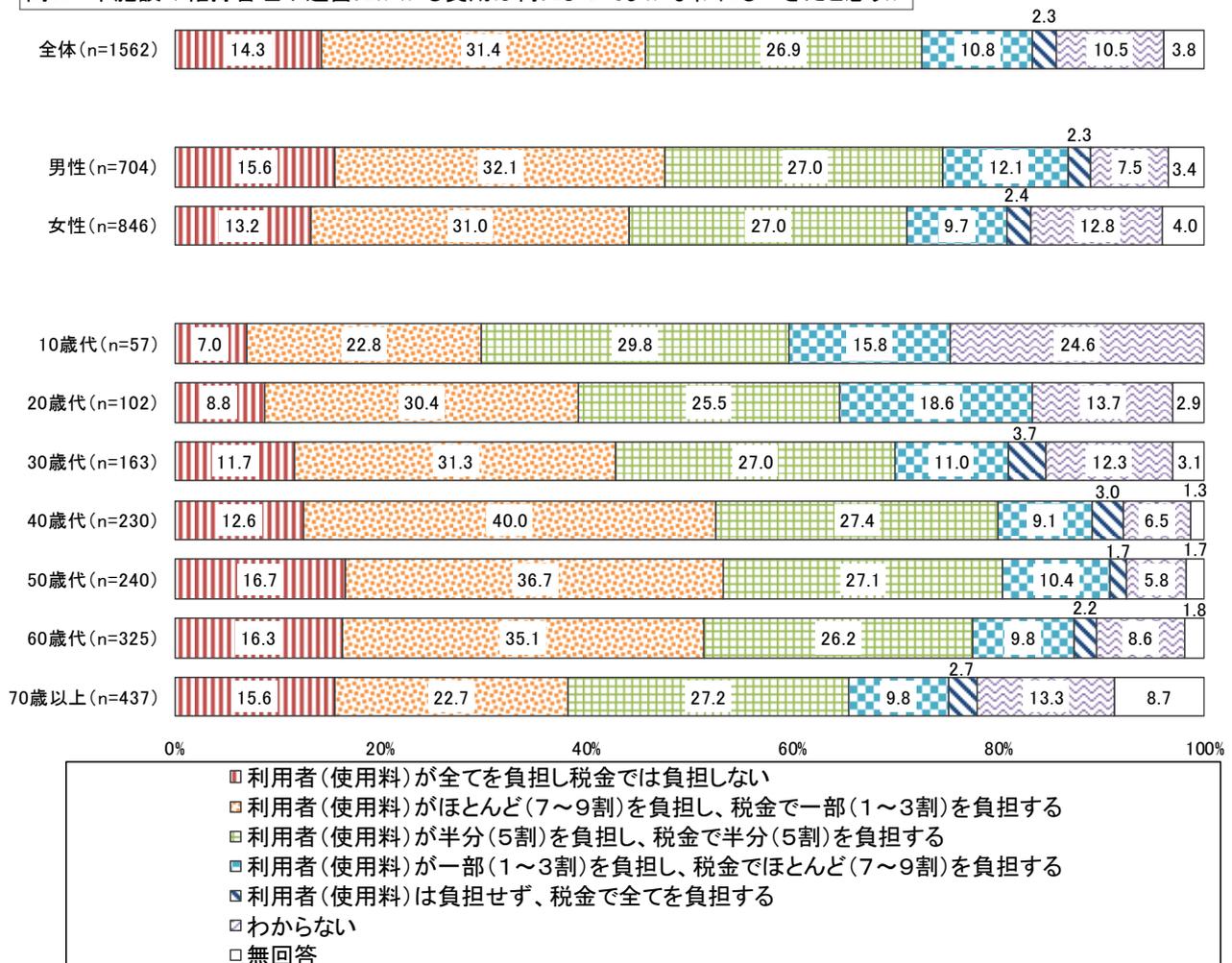
問 63 市施設の維持管理や運営には費用がかかります。この費用は何によってまかなわれるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

「利用者(使用料)がほとんど(7~9割)を負担し、税金で一部(1~3割)を負担する」が31.4%と最も高く、ついで「利用者(使用料)が半分(5割)を負担し、税金で半分(5割)を負担する」が26.9%、「利用者(使用料)が全てを負担し税金では負担しない」が14.3%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用者(使用料)がほとんど(7~9割)を負担し、税金で一部(1~3割)を負担する」が最も高くなっており、その他の項目についても性別による大きな差はみられない。

年代別にみると、20歳代から60歳代までは「利用者(使用料)がほとんど(7~9割)を負担し、税金で一部(1~3割)を負担する」が最も高くなっている。また、50歳代以上では「利用者(使用料)が全てを負担し税金では負担しない」が他の年代よりもやや高くなっている。

問63 市施設の維持管理や運営にかかる費用は何によってまかなわれるべきだと思うか

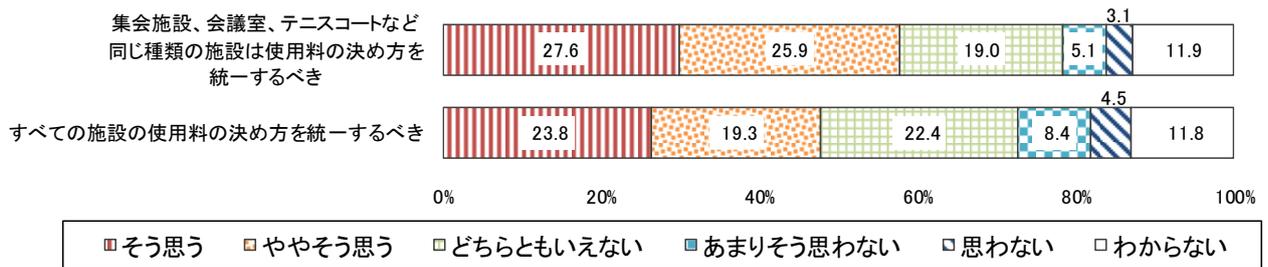


問 64 それぞれの市施設は、設置経過や目的、建築年度、規模、構造、立地条件等が異なります。市施設の使用料を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

「集会施設、会議室、テニスコートなど同じ種類の施設は使用料の決め方を統一するべき」では、そう思う(「そう思う」「ややそう思う」の合計)が53.5%となっている。

「すべての施設の使用料の決め方を統一するべき」では、そう思うが43.1%となっている。

問64 市施設の使用料を設定する際に基となる考え方はどのようにあるべきだと思うか



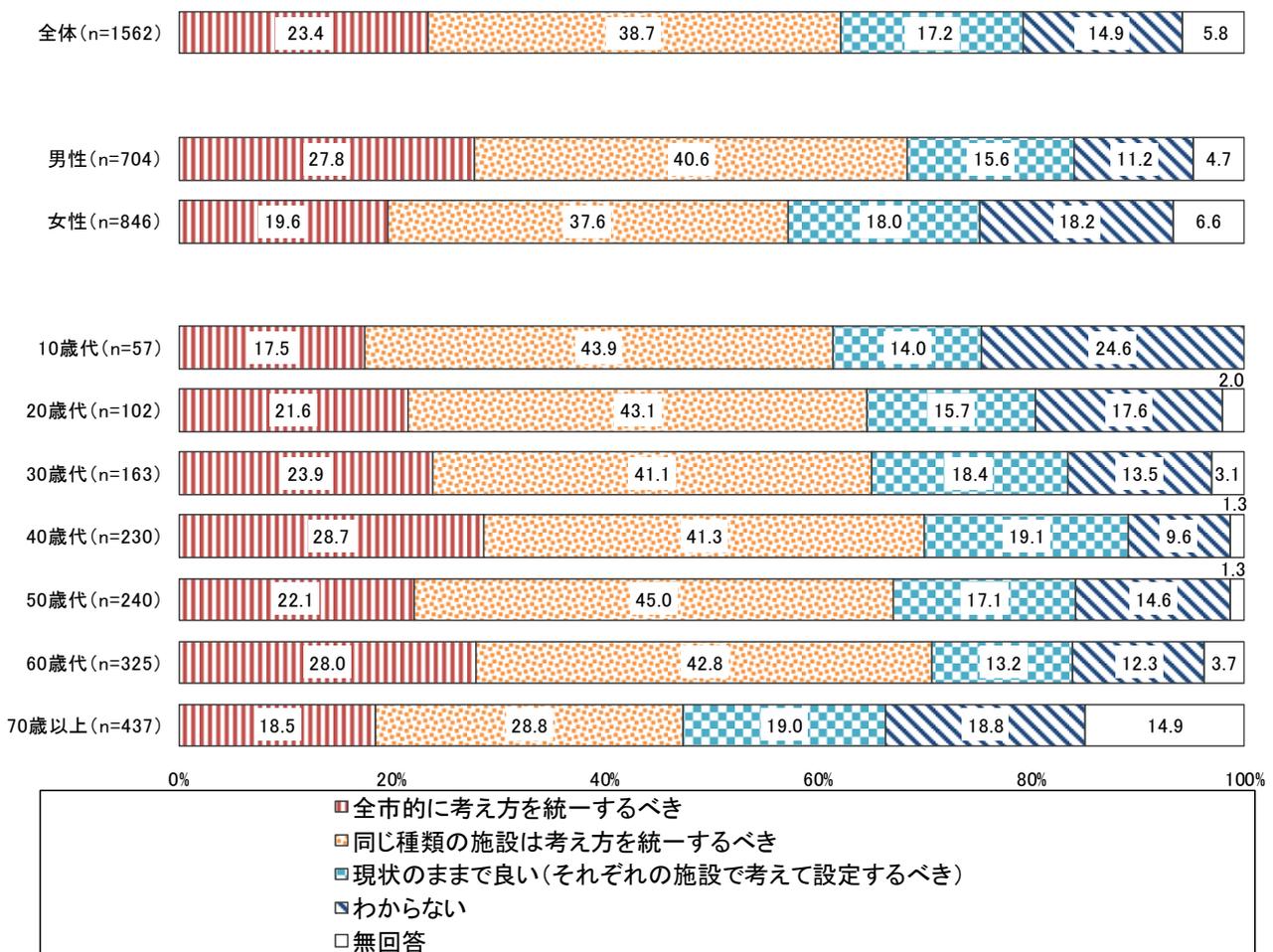
問 65 市の施設は、利用目的や利用者の状況等によって、通常より安価または無料で使用できるようになる減免制度がありますが、その考え方となる使用料の減額や免除の基準が異なっており、同じ種類の施設でも統一されていません。施設の使用料の減額や免除の基準を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

「同じ種類の施設は考え方を統一するべき」が38.7%と最も高く、ついで「全市的に考え方を統一するべき」が23.4%、「現状のままで良い(それぞれの施設で考えて設定するべき)」が17.2%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「同じ種類の施設は考え方を統一するべき」が最も高くなっている。ついで男性・女性ともに「全市的に考え方を統一するべき」が高くなっているが、男性の方が女性よりも5ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代においても「同じ種類の施設は考え方を統一するべき」が最も高くなっている。また、40歳代、60歳代では「全市的に考え方を統一するべき」が他の年代よりもやや高くなっている。

問65 市施設の使用料の減免の基準はどのようにあるべきだと思うか



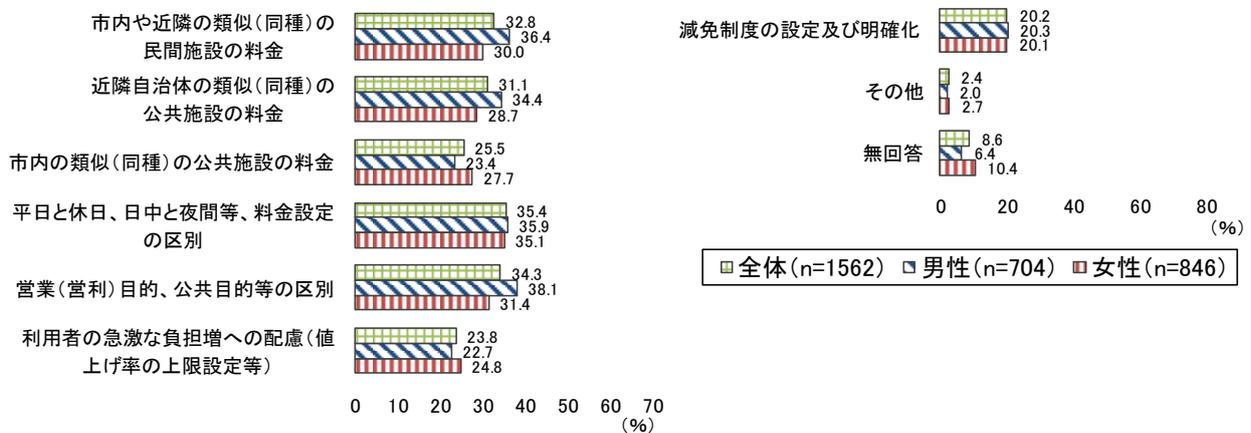
問 66 市施設の使用料を設定する際に考慮すべきと思われることは何ですか。(〇はいくつでも)

「平日と休日、日中と夜間等、料金設定の区別」が 35.4%と最も高く、ついで「営業（営利）目的、公共目的等の区別」が 34.3%、「市内や近隣の類似（同種）の民間施設の料金」が 32.8%となっている。

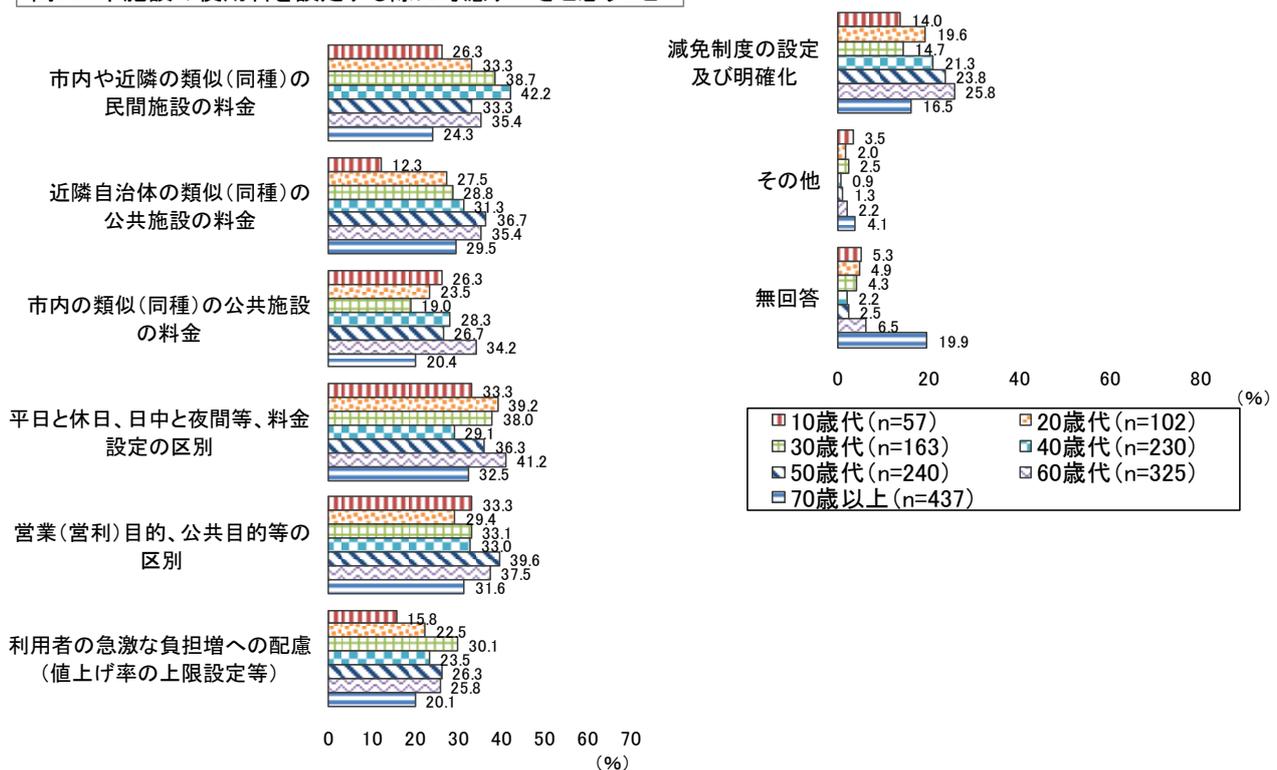
性別にみると、男性では「営業（営利）目的、公共目的等の区別」が 38.1%で女性よりも 5 ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代では「市内や近隣の類似（同種）の民間施設の料金」が最も高くなっているが、10 歳代、20 歳代、60 歳代以上では「平日と休日、日中と夜間等、料金設定の区別」が最も高くなっている。

問66 市施設の使用料を設定する際に考慮すべきと思うこと



問66 市施設の使用料を設定する際に考慮すべきと思うこと



16. 広報全般について

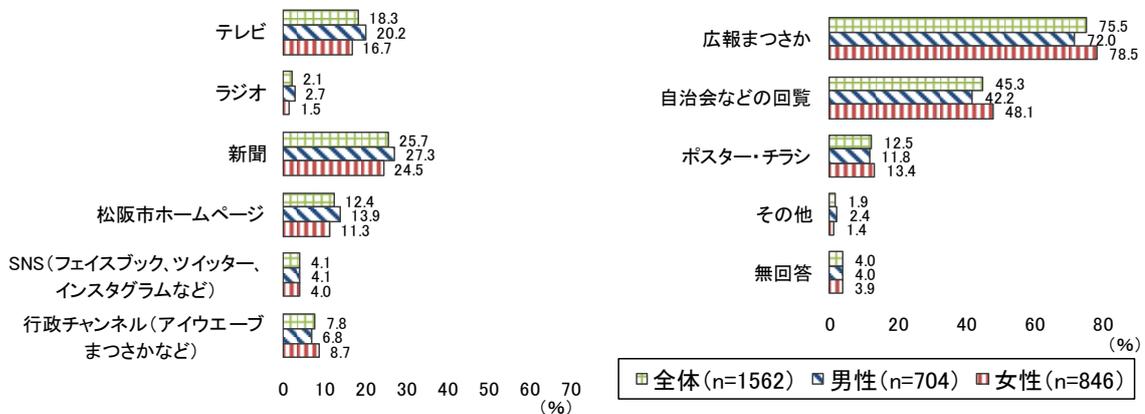
問 67 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

「広報まつさか」が75.5%と最も高く、ついで「自治会などの回覧」が45.3%、「新聞」が25.7%となっている。

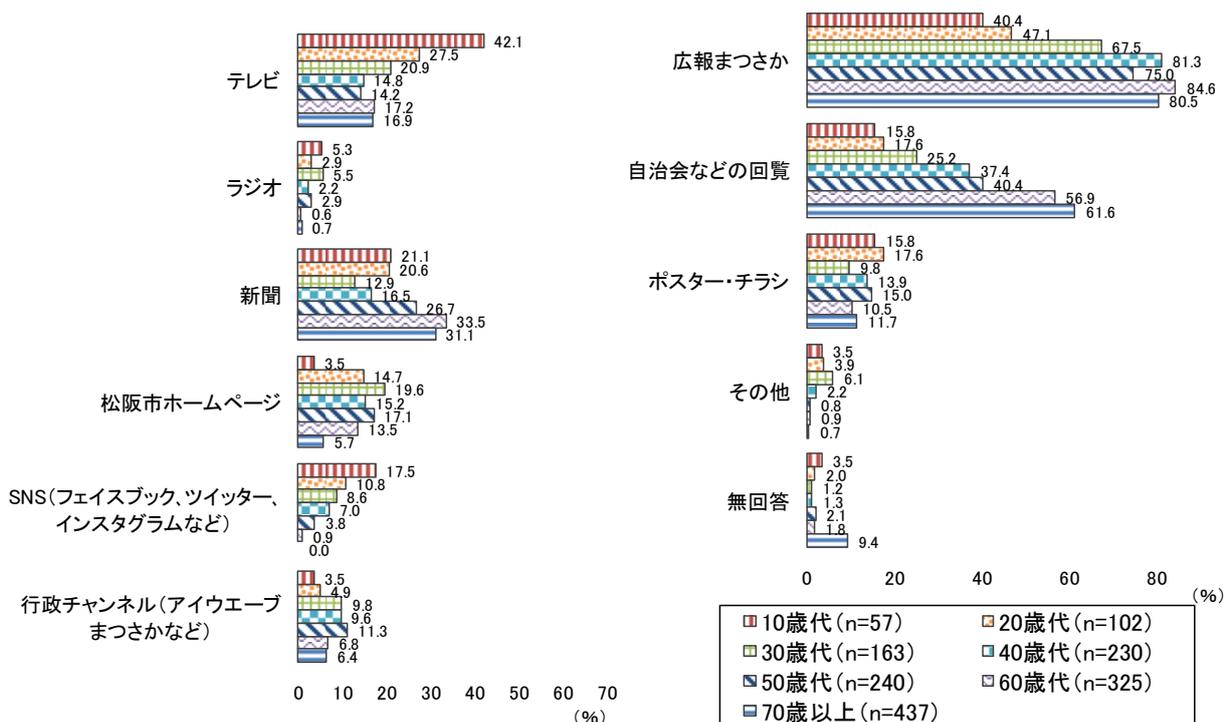
性別にみると、男性・女性ともに「広報まつさか」が最も高くなっているが、男性は女性よりも5ポイント程度低くなっている。

年代別にみると、「広報まつさか」は30歳代以降で高くなっているが、10歳代、20歳代では4割台となっており、相対的に低くなっている。また、「自治会などの回覧」は年代が上がるにつれて、割合が高くなっている。

問67 市の情報を主にどのような方法で得ているか



問67 市の情報を主にどのような方法で得ているか



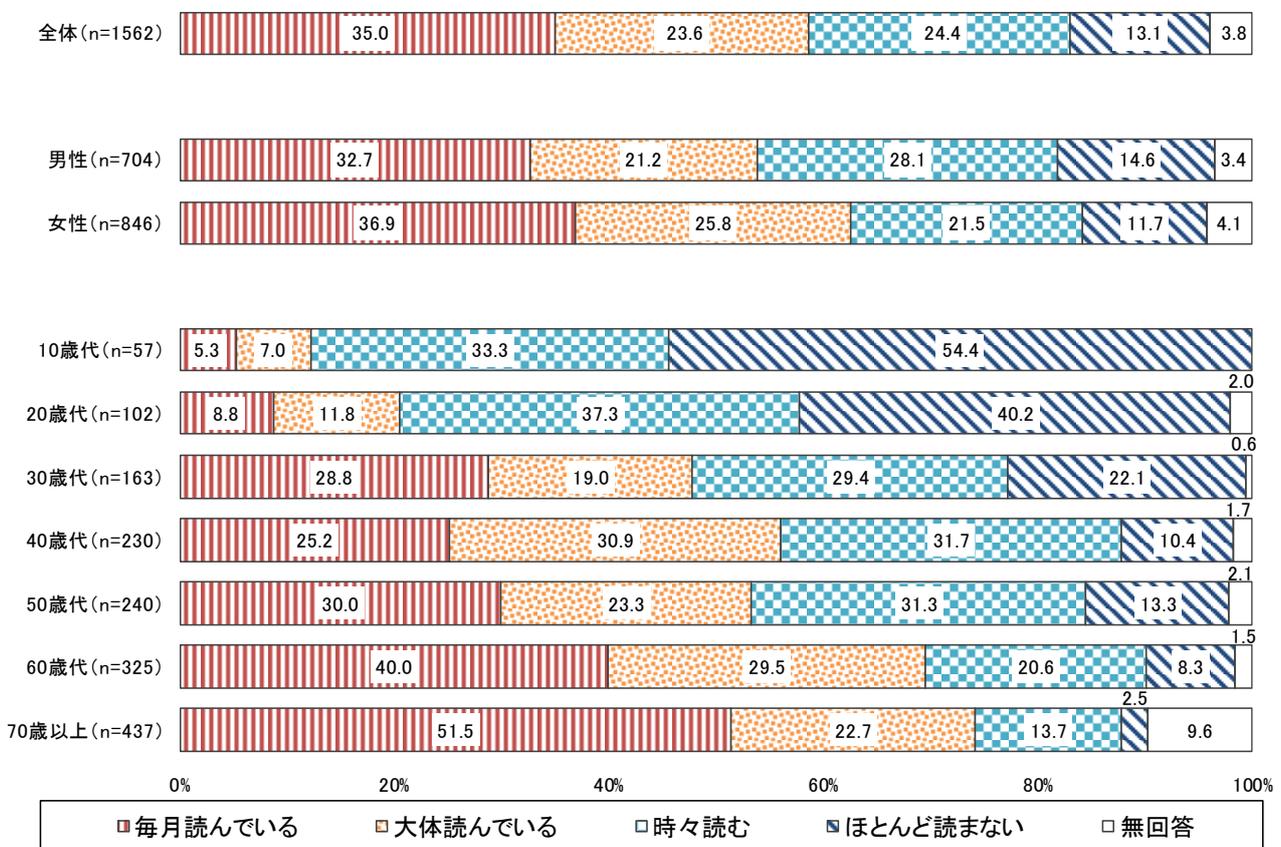
問 68 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

「毎月読んでいる」が35.0%と最も高く、ついで「時々読む」が24.4%、「大体読んでいる」が23.6%となっている。

性別にみると、女性の方が「毎月読んでいる」「大体読んでいる」の割合が男性よりも高くなっており、「毎月読んでいる」「大体読んでいる」の合計の割合は男性よりも女性の方が10ポイント程度高い。

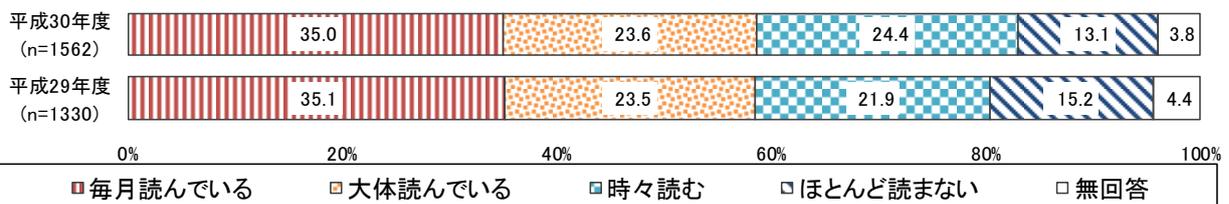
年代別にみると、10歳代、20歳代では「毎月読んでいる」が1割未満であるのに対し、30歳代以上ではいずれの年代においても、2割半ば以上となっている。また、年代が上がるにつれて、「毎月読んでいる」の割合が高くなる傾向がみられる。

問68 広報まつさかを読んでいるか



前回と比較すると、「ほとんど読まない」が減少し、「時々読む」が増加したが、年度による大きな差はみられない。

問68 広報まつさかを読んでいるか



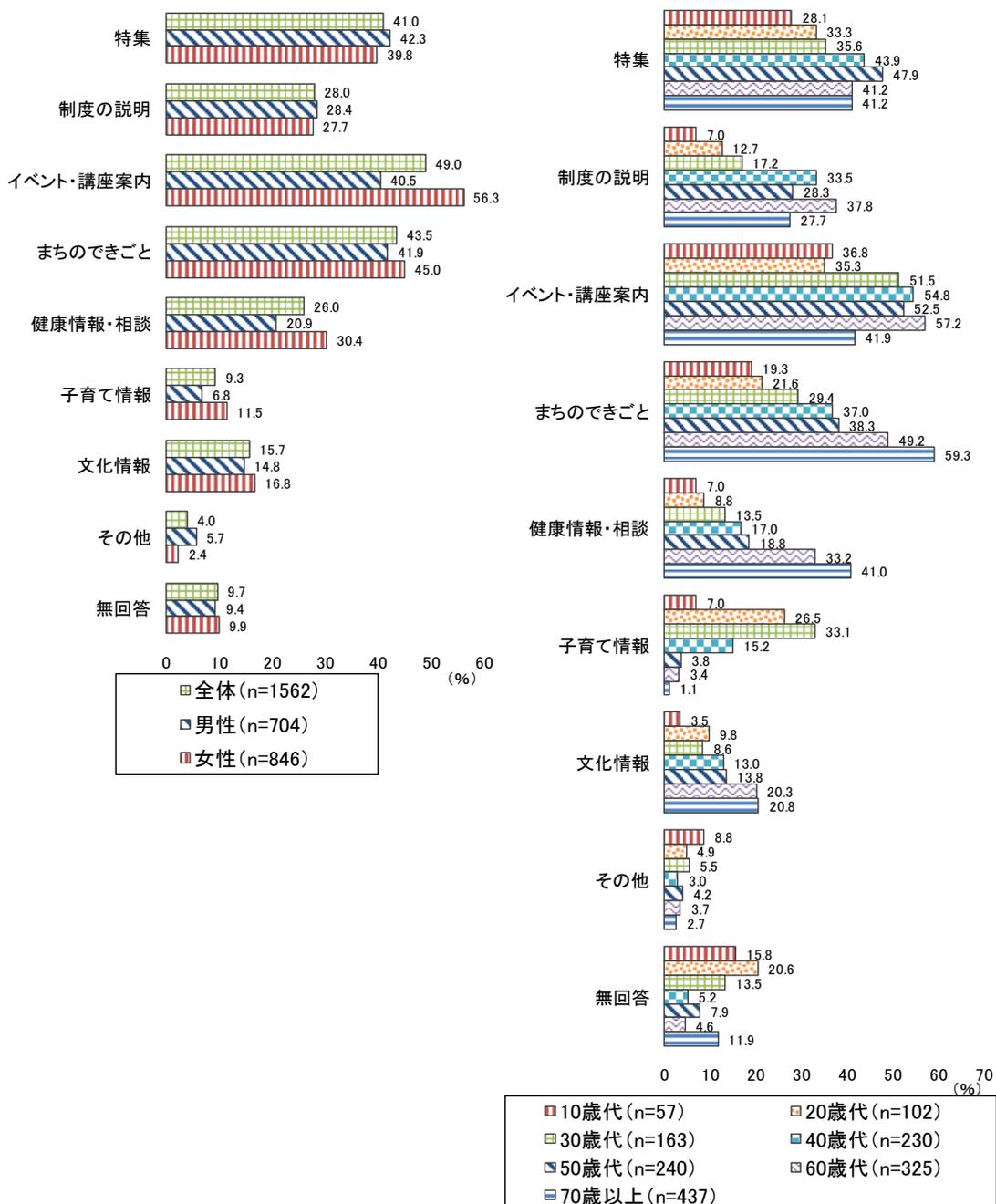
問 69 広報まつさかをよく読む記事を次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

「イベント・講座案内」が49.0%と最も高く、ついで「まちのできごと」が43.5%、「特集」が41.0%となっている。

性別にみると、男性では42.3%で「特集」、女性では56.3%で「イベント・講座案内」が最も高くなっている。また、「イベント・講座案内」、「健康情報・相談」では性別による差がみられる。

年代別にみると、70歳以上以外で「イベント・講座案内」が最も高くなっている。また、「まちのできごと」、「健康情報・相談」は年代が上がるにつれて、その割合は増加している。20歳代、30歳代では「子育て情報」が相対的に高くなっている。

問69 広報まつさかをよく読む記事



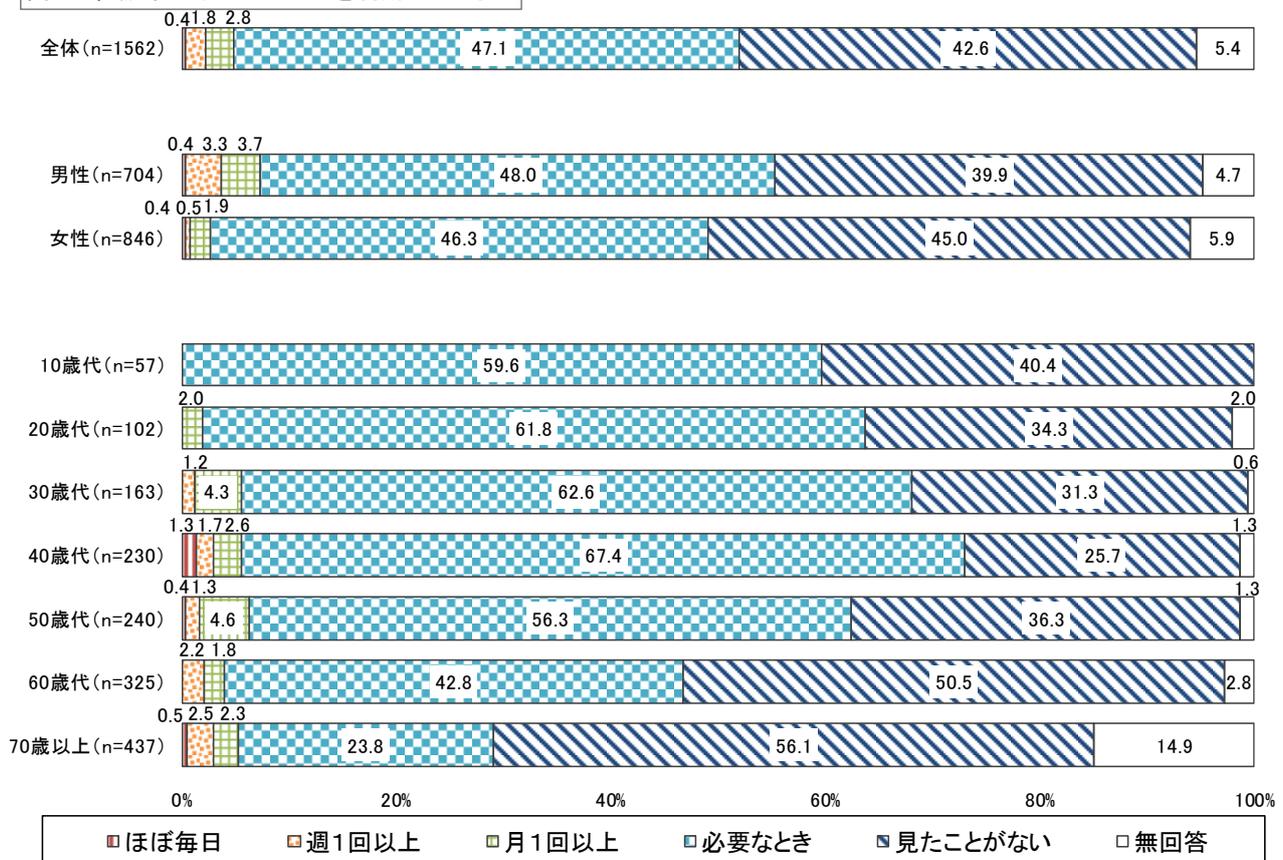
問 70 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

「必要なとき」が47.1%と最も高く、ついで「見たことがない」が42.6%、「月1回以上」が2.8%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに定期的に利用している（「ほぼ毎日」「週1回以上」「月1回以上」の合計）人の割合は1割未満であるのに対し、「見たことがない」が4割前後となっている。特に女性では「見たことがない」が45.0%で男性よりも高くなっている。

年代別にみると、10歳代から50歳代までは「必要なとき」が高くなっているが、60歳代以上になると「見たことがない」が5割以上となっている。

問70 松阪市のホームページを利用しているか



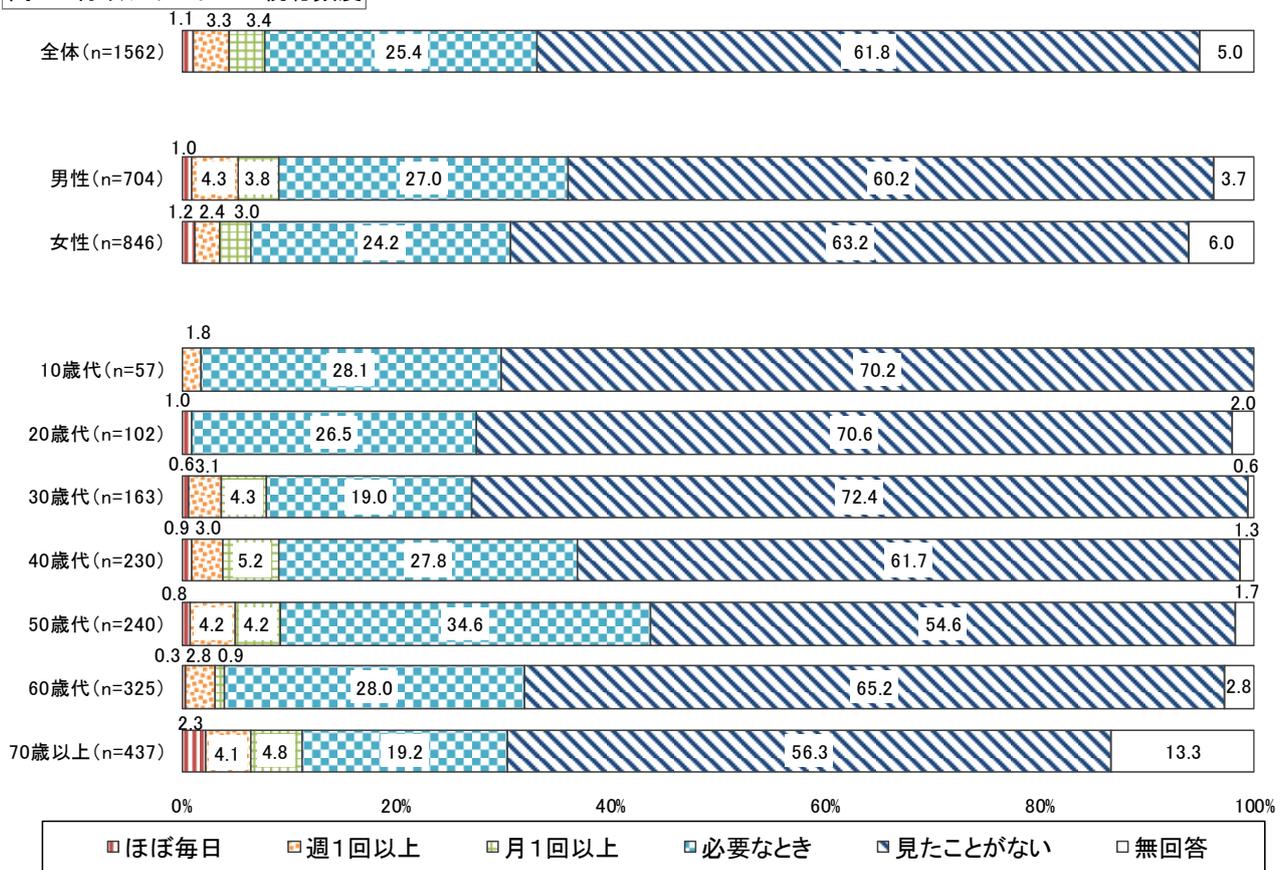
問71 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。（〇は1つだけ）

「見たことがない」が61.8%と最も高く、ついで「必要なとき」が25.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「見たことがない」が6割以上で最も高くなっている。ただし、男性の方が女性よりも見たことがある（「ほぼ毎日」「週1回以上」「月1回以上」「必要なとき」の合計）人が5ポイント以上高く、36.1%となっている。

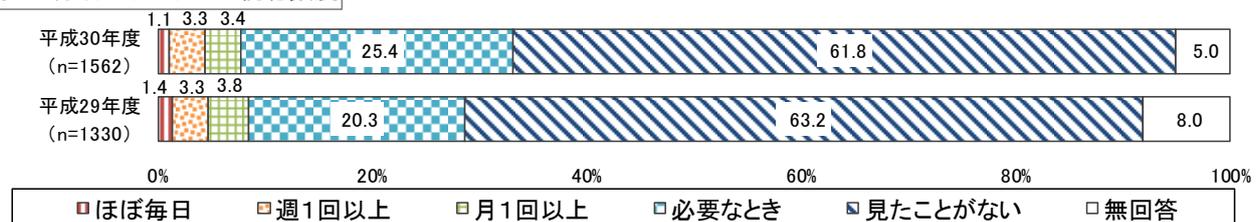
年代別にみると、いずれの年代においても「見たことがない」が最も高くなっている。50歳代では、見たことがある人が他の年代よりも高く、4割を超えている。また、定期的に見ている（「ほぼ毎日」「週1回以上」「月1回以上」の合計）人はいずれの年代においても、少ない状況であり、最も割合の高い70歳以上でもおよそ1割にとどまっている。

問71 行政チャンネルの視聴頻度



前回と比較すると、「必要なとき」が5ポイント程度増加しているため、見たことがある人の割合がやや増加している。

問71 行政チャンネルの視聴頻度



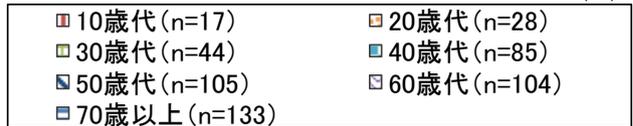
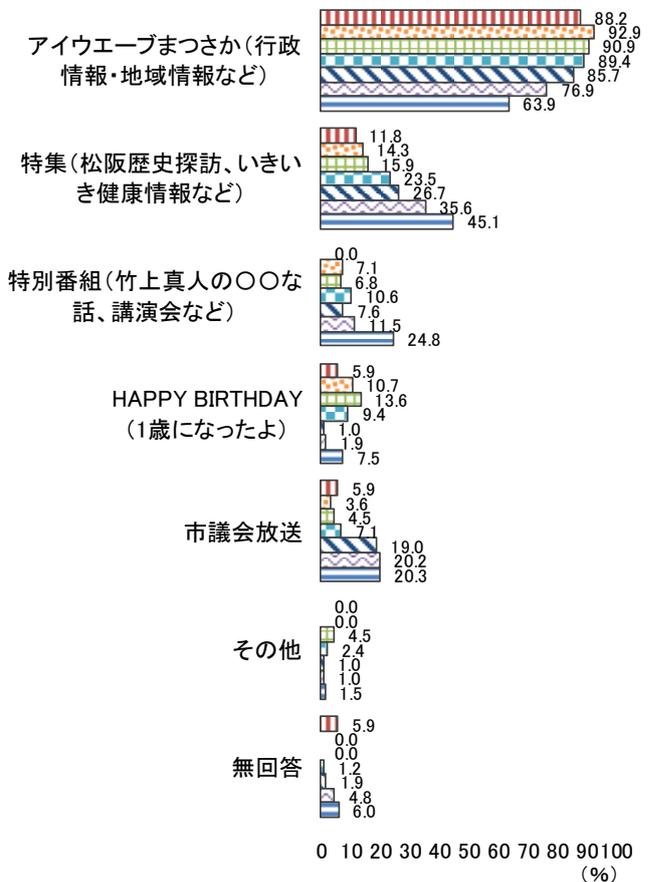
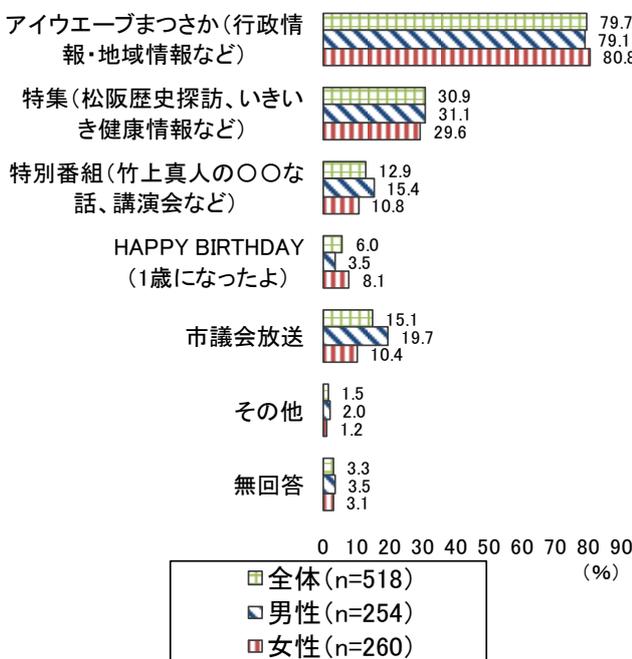
問 72 ご覧になった番組をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「アイウエーブまつさか (行政情報・地域情報など)」が 79.7%と最も高く、ついで「特集 (松阪歴史探訪、いきいき健康情報など)」が 30.9%、「市議会放送」が 15.1%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「アイウエーブまつさか (行政情報・地域情報など)」が最も高くなっている。また、男性は「市議会放送」が 19.7%であるのに対し、女性は 10.4%となっており、約 10 ポイントの差がみられる。

年代別にみると、いずれの年代においても「アイウエーブまつさか (行政情報・地域情報など)」が最も高くなっているが、20 歳代以降、年代が上がるにつれて割合は下がっており、70 歳以上では 63.9%となっている。また、「特集 (松阪歴史探訪、いきいき健康情報など)」は年代が上がるにつれて、徐々に増加していき、70 歳以上で 45.1%となっている。

問72 行政チャンネルの視聴番組



問 73 松阪市の広報全般についてご意見があればご自由にご記入ください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比 (%)
問 73	1	広報物のデザインやレイアウトについて	36	17.8
	2	情報の発信方法について	29	14.4
	3	情報の内容について	29	14.4
	4	情報の発信頻度・時期について	13	6.4
	5	情報量について	9	4.5
	6	その他	43	21.3
		(1) 広報物は今のままでよい	8	4.0
		(2) 広報物は読まない・不要	5	2.5
		(3) アンケートについて	4	2.0
		(4) その他	26	12.9
		合計	202	

《主な意見》

「1. 広報物のデザインやレイアウトについて」

- ・ホームページをもっと見やすく、使いやすくしてください。
- ・字が大きくなったのが大変良いと思います。
- ・広報まつさかが見やすくなったと思います。

「2. 情報の発信方法について」

- ・回覧板を各家庭に回すのは廃止して違った方法の方がいいのではないか。
- ・紙媒体より電子媒体を充実させるしくみを考えるべき。
- ・防災(広報)スピーカーの内容が今ひとつ聞き取れないので、災害時不安です。

「3. 情報の内容について」

- ・広報紙は段々内容がよくなり充実してきている(工夫されている)。
- ・松阪市の特に重要な問題をもっと取りあげる。
- ・良い所ばかりじゃなく、悪いところも載せるべき。

IV 自由回答

市政に対するご意見については、430人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策体系に沿って分類し、政策体系に属さない分野については、「8. その他」に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



《主な意見》

※「1-⑤人権教育の推進」、「2-①健康づくりの推進」、「3-③林業の振興」、「3-④水産業の振興」、「4-④人権の尊重」、「4-⑤男女共同参画の推進」、「5-②消費者対策の充実」、「5-⑤消防団の充実」についての自由記述はありませんでした。

1. 輝く子どもたち

①子育て支援の推進

- 子どもができたので、健康センター「はるる」がきれいに建て替えられてうれしい。保健師さんがサポートしてくれてありがたかったです。数年前に松阪に引っ越してきましたが、住みやすいです。これからも子育て支援に力を入れてほしいです。
- 3人目を出産した家庭に補助、支援が欲しい。
- 産後ケアの充実。核家族化が進む中で不安が大きいまま退院し、育児をしていかなければならない人を多く見ます。育児のスタートを不安なくおこなえるよう、希望する人には産後ケアを受けられるようにしてほしい。産後ケアだけでなく名張市のような母乳ケアに対しての助成もあればうれしいです。今は、産後ケアに対しての対象がせますぎます。
- 子育てのしやすい市になってほしいです。保育士不足の中で子どもを預ける不安もあります。保育士の採用枠を増やし、職員不足とならないように考えていただきたいです。
- 初めての妊娠で、妊婦に対しての情報が少ないことと、市内に移住して3年目ですが、何をどこで聞ける、どこでできるなどの情報も少ない様に思う。妊婦の補助制度が近隣市町ではあるが松阪市にはない制度もあるので、もう少し補助に対しての制度を見直してほしい。子育て等に力を入れてきているが、これから迎える妊婦も安心して参加できたりする所もつけてほしい。
- 学童保育について。預けることで親への負担が大きいと聞きました。働きやすい、預けやすい環境を整えてほしいです。
- 松阪市立の幼稚園が多くあるのが大変ありがたい。ただ、保育時間が午後2時までと短く、保護者の就労の有無に関わらず、預かり保育が利用できるようになると助かる。
- 竹上市長になって、子育てしやすい街になってきましたが、まだ実家の市よりは不便です。こども医療費を窓口で直接負担しなくて済むようにしてほしいです。

②未就学児への支援

- 他市では、第3子の保育料多子軽減が上の子が小学校2年生まで適用されると聞いていますが、松阪市ではそのような政策はないのでしょうか？是非ご検討下さい。
- 保育園の方針、運営に関する方向性が、保育園でまちまちである。園長によるものが大半のようである。幼稚園のように教育委員会の様な存在がないのが要因と思われる。統一性がない。
- 保育園の施設改善。施設内の段差をなくし、安心して過ごせるようにしてほしい。
- 保育園にもっと入りやすくしてほしいです。松阪市役所のこども未来課の窓口の方の対応が冷たいです。

○松阪市はとても広く、そして少子化は進んでいるのですが、どの地域からでも保育園・幼稚園に通いやすいように整備してほしい。

③学校教育の充実

○松阪市として一番足りないのは、教育への関わりである。中学生の多くが私学へ進学する状況に危機感をもち、公立中学校を建て直して欲しい。公立中学は、生徒指導とクラブ活動しかやっていないように思う。確かな学力を育成する学校となってほしい。

○他の土地から今の地に来ていますが、正直、松阪に魅力を感じません。いつまでも“昭和”な臭いしか感じません。何かの施設をつくるのもいいと思いますが、教育にもっとお金を費やしてはと思います。公立の小・中学校が、他の市町村では受けられない魅力的なカリキュラムがあれば、それだけでもお得感満載だと思います。塾に行かなくても済むぐらいの手厚い教育や、私立に行く必要ないね、と思わせるぐらいのことをしてほしい。(教師の負担を増やすのは反対です)

○松阪地区、それぞれの地区の歴史や人物を小学校で学ぶ機会をつくる。

○小学校、幼稚園にもう少し予算をまわして頂きたいです。

④青少年の健全育成

○何億円もかけてスケートボード場を作るより、他に予算を使ってほしい。道路や歩道をスケボーで走る若者が目立つ。条例で禁止してほしい。

○あいさつのできる子どもが少ない。環境と教育に力を入れてもらいたい。

○中高生か分からないが、うるさいバイクの連中をどうにかして欲しいと思います。子ども達が起こされてしまいます。

2. いつまでもいきいきと

②生涯スポーツの推進

○スポーツを全くしない私にとって、マラソンなどのスポーツイベントは、税金の無駄使いとしか考えられない。他の市でしている事を真似しても、大して注目をあびる事は無いのではないかと思います。また、このようなイベントをすると職場や学校で、半強制的に応援やボランティアに参加しなければならない。完全自由参加型なら勝手にしてもらっても良いが、少しでも企業や学校に参加を要請するなら、スポーツイベント自体行って欲しくありません。

○近隣の市町に比べ野球場施設(ソフトボール以外)のナイター設備がない。松阪市内の人が多気、明和、大台、伊勢、津などで草野球を楽しんでいます。松阪市内の施設にもナイター設備を付けてほしい。

○松阪に、室内プールの設置。小学生の雨の時の室内での遊び場。遊具。もちろん無料で遊べる所。少子化になった今、遊ぶ所も少なくは、コミュニケーション不足が不安です。放課後、真夏や真冬でも遊べて集まれる場所をつくって下さい。

○家の近くにスケートパークができるそうですが、必要ないと思います。友達でやっている人もいないので、それならいろんなスポーツに対応できる広場だけでいいと思います。

- 市民参加のレクリエーション(スポーツなど)も変わってきましたが、新しい企画も難しいでしょうが、いいものを考えて下さい。
- サイクリング大会、老若男女全ての人が参加出来る大会、松阪市内から飯高波瀬のコースは距離別に3、4コース作る(活性化企画)。

③救急医療体制の確保

- 市民病院の合併等の結論はなかなか出ないようだが、将来の持続性の意味からも、思いきり改革を念頭に結論を…!!
- 3歳児以下の緊急時の病院、とても困りました。一刻も早く診察してほしいのに、紹介状を書いてもらってまた違う病院に行って…。大切な子どもの事でとても不安なのに時間がかかってしまい、もし急変でもしたら…と思うとこのシステムはどうかと思う。小児科・公園が少ないのにも困りました。
- 市民病院は今のままで、続けて下さい。
- 救急利用に対して過去に嫌な思いをしました。時間外・3歳未満の子どもで電話相談をしたところ、「救急外来に行くには救急車じゃないと受け付けてもらえない。」と一言。自家用車で行けると伝えても、「受け付けてもらえませんので、救急車呼びますか？ どうしますか？」と選択をせまられ困った。詳しい説明もないし。この案内の流れだと「不必要な救急車の利用はやめましょう」という事と矛盾しませんか？このキャッチコピーを見るたびにモヤモヤします。

④地域福祉・生活支援の充実

- 市政の基本は細かい住民福祉にあると思う。貧富の差が広がりつつある今日、富める層からは税を多くとり、貧しい層に分配して憲法25条を実現すべきと思う。国政が政権に気に入られようとしたり、役所の文書管理、国会でのウソ発言や付度等々が蔓延する今日、市民に一番近い市政です。弱者に目を向けた暖かい行政を期待しています。
- 生活保護に対する調査等が甘すぎると思う。もっときびしく取りしめるべきではないかと思う。
- 高齢者や貧困者、若者や子どもにも、暖かく住みやすい松阪市に。
住民全員が不安なく年を重ねていける松阪市に。
お金のない人でも、心配なく入れる施設を増やして欲しいです。
- 今後、人口が減少していく中で対策として、障がい者、若い世代、高齢者、子どもに対して優しい市政を心掛けて欲しいです。

⑤高齢者福祉の推進

- 高齢者の健康維持のための運動施設や、設備の充実を検討してほしい。
- 高齢者のみの世帯に対する目配り、配慮がほとんど見られないように思われる。細かい配慮と施策を考えてほしい。
- 高齢化社会に特化してもっと住みよい支援が必要であると思います。一人暮らしでも安心して過ごせるよう、訪問の強化やバス利用の便利さを求めたいです。これからも若い世代が暮

らしたいと思えるよう、まずは高齢者に対しての支援を増やしてほしいです。

○住み心地は悪くないと思います。でもこれから年をとってこのまま生活が続けられるのかという不安は多少あります。

⑥障がい者福祉の推進

○病院窓口で支払う代金の障害者(児)窓口無料化を進めて頂きたい。三重県議会、三重県子ども・福祉部等へ要望しています。

3. 活力ある産業

①農業の振興

○畑の作物などを荒らされるので、猿・猪の対策をしてほしい。特に猿に関しては、ロケット花火では出来ません。対策が遅れているように思います。

○茶の特産を守り広めていける場も必要だと思います。

○獣害対策について a. 個人、又は団体の要望があれば柵を貸与出来るように b. 防犯灯の設置(害獣は明るいと出没しないらしい)。

②松阪牛の振興

○焼肉屋ばかりを並べて「焼肉街道」をつくって、松阪市ならではのここにしかない特徴をひとまとめにしてアピールする。しかし、他店がつぶれないための配慮が重要なので、期間限定で入れ替えするとかの工夫が必要なのかもしれません。

○松阪に観光客を呼ぶには、松阪牛しかない。有名店に松阪駅周辺にアンテナ店を出店してもらい、焼肉横丁を作る(とり焼肉も含む)。テレビ等のメディアは、「松阪牛」を「松阪牛(まっざかぎゅう)」と間違っている場合が多い。その間違いをその都度指摘し、訂正させる。そうすれば PR になる。松坂城跡の下に市営グラウンドは必要ない。観光バスの駐車場にして、運転手、ガイド、添乗員用の無料の休憩所をつくる。そうすれば、松阪牛の店だけでなく、町に人が流れる。また近鉄の「しまかぜ」を松阪にも停車してもらおう。松阪駅と松坂城跡間に無料のボンネットバスを走らせる。市役所の駐車場に、城下町らしい木造のみやげ物店を道路に面して建てる。

⑤商工業の振興

○生まれてからずっと松阪市民ですが、不便だとか住みづらいと思ったことは基本的にありませんが、流行に乗り遅れ気味な気がします(商業施設等)。近くの自治体は積極的に誘致に成功している気がします。

○市内に魅力的なショッピングモールがないので、もう少し大きなモール等があれば、市民の生活がより楽しく豊かになると思う。

○松阪市には宿泊施設が少ないように感じます。食べ物や観光地等、魅力有るものがあつたり、伊勢等の観光地が近くにあるのに宿泊施設(ホテル等)が少ないのは残念である。スポーツ大会を誘致するにしても、宿泊施設が無いと難しいのではないのでしょうか(国体の競技等)。

○松阪の商業が廃れていく一方であるように感じる。Iターン、Uターンをしようとする学生も減っているのではと思う。魅力的な商業全般の改革を期待する。

⑥企業誘致・連携の推進

- 松阪市内には働く場所が少なく大企業を数社誘致してほしい。遠くまでの通勤がたいへん。
- 松阪市は、伊勢市などと異なり観光で食べていけないので、企業をもっと呼び入れ活性化して欲しい。
- 企業誘致、大学誘致等がんばって下さい。

⑦観光・交流の振興

- 観光客の集客について、松阪はあらゆる方面で宝が多い。
- 国際的観光地「伊勢、志摩、伊勢神宮」があるのでこの客を通過して行き来させるのではなく、コースに入れて立ち寄っていただく工夫、魅力を売り込むべきです。
- 観光施設、文化施設の標示。観光客の方に度々指摘されるのは、施設への案内標示が少ないということ。道に迷うことが多くある。駅からの道順など。個人的にも何度も要請しているが一向に受け入れてもらえない。
- もっと、観光に力を入れてはどうですか。子ども達、若者が、市外・県外へ出ていかないような魅力ある市にしないと、過疎化する一方です。駅をはじめ、商店街なども人気がなく、シャッターがしまっていてさみしい限りです。都市計画、誘致等に力を入れるべきです。
- お金はかかると思うが、松坂城跡を観光地として整備してはどうか？名古屋城まではムリだと思いが、城跡をたずねてくれる県外の人もいるので、がんばってほしい。
- 観光地として魅力のある市になってほしい。

⑧地域ブランドの振興

- もっと松阪をPRしてほしい。
- （住みやすい街づくり）又松阪の街で特産品開発や人が集まる計画（イベント）を実施し、収入が得られ赤字がなくなるようなことを提案。

⑨雇用・勤労者福祉の充実

- 松阪市の人口が減少傾向にあることを耳にしました。松阪市は若者が働く場所が少なすぎる。
- リタイヤした人を半公半民として採用し、キャリアを還元できる場をつくってほしい。リタイヤ前でも良い。

4. 人と地域の頑張る力

①住民協議会・市民活動の推進

- まちづくり協議会が面倒で仕方がない。自治会の仕事を増やす様な事はしてほしくない。
- 住民協議会と自治会について、地域組織の一本化などで話し合いが続いていますが、時間がかかりすぎているように思います。早く、結論を出してほしいです。
- 住民協議会に本来行政がすべき業務を押しつけすぎ。わずかな助成でボランティアをあてにして市職員が優遇されているように思えてしかたがない。市政は誰をみつめて仕事をしているのか…
- 自治会組織とお金と人をうまく使ってほしい。
- まちづくり協議会を廃止すべき。本来、住民個々にサービスすべき市の仕事を彼等に丸投げし、彼らは各自治会(独立採算の運営)に負荷を与え、ひとりよがりのイベントしか考えていない。こんな組織は無駄であって、むしろ迷惑(住民にとっては)である。統一ではなく、市と個々の住民との直接の対話という原点に戻すべき。

②生涯学習の推進

- 学生としては、自習スペースとして気軽に利用できる施設があると有難いです。
- 各公民館の格差が大き(内容を統一すべき)。
- 公民館の立地、駐車スペースの確保など再考してほしい。
- 松阪図書館駐車場のラインを引き直してほしい…線が多数消えていたり、今の時代に合わない狭さだと思う。

③文化の振興

- 松阪市は古典物、文化的な行事が少ない感じがします。わざわざ多気まで出掛ける事があります。
- 文化、芸術的なアンケートがなく、もっと文化会館などを利用したコンサート舞台など催してほしい。また美術館などもつくって欲しい。
- まあまあ住みやすいと思っていますが、時々耳にする「松阪は治安が悪い」「子どもの学力が低い」などのことが気になります。そのあたりの対策をしっかりといただき、文化面で充実した町になればいいなあと思います。
- 市施設の使用料について。イベントが行える施設は低額に設定して、コンサートや劇が絶えず行われれば市全体の文化度向上の一つになると考えます。
- 戦国武将の蒲生氏郷は信長、秀吉の側近でありながら全国的には名が通っていないので、このあたりも何かアピール出来るのでは…以上です。(松阪市は牛が有名なだけでなく、こんなすごい武将がいたのか…?というようなアピールが市のアピールとなる?!(大河ドラマに名前が出るようになればますます良いが…))
- 松浦武四郎についての取り組みが進んできてよいと思う。松阪出身の魅力ある偉人のほりおこしや広報で更に、松阪のよさを広めていってほしい。

5. 安全・安心な生活

①交通安全対策の充実

- 高齢者の運転が危険ですので、自主返納者を増やすための取り組みをしてほしいです。市バスを増やすとか、停留所を駅、病院、商業施設につくってほしいと思います。現在ではバスの使い勝手が悪く、一部の人しか利用していない。自分の住んでいる近くはバスが止まらないので不便。全員が平等に利用できるようにしてほしいです。
- 交通安全対策について希望があります。運転されている方がスマホを見ながら信号で止まっていて、信号が青に変わってもなかなか発進されません。ながらスマホで死亡者も出ていますので、もっと取り締まりをしていただきたいです。
- 松阪は運転手のマナーが非常に悪く、歩行者は危険です。高齢者もかなりの人数が運転をしていて危険です。(これがコミュニティバスの話につながると思いますが)まずは人命を守れるよう動いてほしいです。
- くもらないカーブミラーの設置をお願いします。
- 交通マナーが悪く交通事故が多いので、取り締まりを強化するように市からも促してください。
- 毎月、11日の交通安全の放送、ごくろう様です。ありがとうございます。

③防犯対策の充実

- 監視カメラやパトロール?とかで、安心できる町にしてほしい。ニュースで怖い事件が多いので。
- 三重高校からワークセンター松阪までの道がとても暗いので街灯をつけてほしいと思う。

④防災・危機管理対策の充実

- 自分たちの町に災害の時の避難塔を早くつくってほしい。携帯電話がないので、放送をもっと大きな声で入れてほしい。家にいても聞こえるようにしてほしい。
- 災害対策、特に台風に力を入れて下さい。近所の川(三渡川)がよくあふれて困ってます。川があふれるのはとても、とても困ります。
- 年々災害が増えております。もっと地区の自治会と市関連部課で今以上に連絡を密にしてください、自治会に具体的な指導をしてほしいと思います。地震、河川(水害)等。
- 西日本豪雨の際に東広島市がグーグルマップに道路情報をリアルタイムに掲載して、どこの道が通行できるのか、情報提供したとのこと。是非、松阪市でも対応していただけないでしょうか。行政も電話対応に追われることもなくなり、住民も地図により情報が得られ有効な手段では。
- 櫛田川下流域に居住しています。最近、被災地のニュースを見るにつけ川の氾濫、堤防決壊、まさかと思われる状況を、明日は我が身と思いながら不安でいっぱいです。また地震の際の津波や海水が川を逆流する事態のとき、どのように身を守ればよいか。逃げ場所がないのです。まわりは田んぼばかり、高い建物などありません。明和町では津波タワー等建設しています。形ばかりの避難訓練を何度しても市民の身を守る手段としては不十分です。下流域

にももっと目を向けて下さい。時間はあまりありません。早急の対策をお願いします。

○飯高、飯南などではますます過疎化が進み、空き家が増えると思います。住まなくなった住宅の処理も進まないと思いますが、市や県が処理できるようにはならないのでしょうか。

⑥浸水対策の充実

○30年程前に阪内川を掘る工事があり、その後は台風時でも氾濫の心配は無くなりましたが、最近では台風時に以前より水位が上がっていると感じる事が多くなりました。今すぐに工事をする必要は無いのかもしれませんが、以前は氾濫により浸水した所があったと記憶していますので、台風のたびに気になって仕方ありません。再び氾濫がおこる前に工事の方よろしくおねがいします。

○三渡川の河川改修、ようやく本橋がかかるということでほっとしています。長年に渡り不便を強いられたことは、今後の工事に生かしてほしいです。しかし、まだ河川改修自体は続いていて、早期の完工をお願いします。

○愛宕川が台風のたびに氾濫危険水位を越える情報が入って来ます。近くに生活している為いつも心配しています。氾濫する前に是非河川の整備(川底の土砂の取り除き、堤防の強化)をお願いします。

6. 快適な生活

①自然と生活の環境保全

○市内住宅地には至る所に溝がありますが土(泥)が溜り、草が生い茂り、また空き缶、ごみ等が捨てられています。町の美化の為にもコンクリートで蓋をしてもらえると嬉しいです。また水が溜り流れている深い溝の所は、歩いていても自転車でも、車が来て避ける時に危険性もあるので柵を取り付けてほしいです。

○田園地帯をよく歩くが市道沿い、農業用水へのポイ捨てごみが非常に多い。昔のように地主ではなく耕作業者が多くなっているのも一つの原因と思われるが、世界的にも環境汚染でごみ問題が提起されており、松阪市もごみポイ捨てしない町として大々的にPRしてはどうか？単純だが立て看板(内容は重要)を多くして定期的に替えなければ効果はない。いろいろ手段はあると思う。

○人と生き物が共存できるまちづくり(子どもがタモをもって遊べるような)。

○畑がいたる所でソーラーになり、とても残念です。畑の持ち主からすれば必要にかられての事とは思いますが、あまりにひどく、家を移転された方もいます。地域のすばらしい自然はどこに行ってしまうのでしょうか？また、健康上(周辺)も不安です。この思いを伝える所もありません。個人の所有の土地だから行政に出来ることは限られていると言わずにどのように受け止めて、地域をどのように考えてみえるのかを聞かせて下さい。とても深刻です。(行政の多くの方がもっと地域に来て見て感じていただきたいと思います。)

②資源循環型社会の推進

- 近くのごみ集積所では燃えるごみ、資源物の一部(プラスチック容器、袋)のみしか置けれない為、遠いリサイクルセンターまで持ち込んでいます。近くのごみ集積所で資源物の全てを捨てられる様に改善して頂きたい。
- 松阪市クリーンセンターへごみを持ち込む際の申し込み用紙を登録カード等にして月締めで決済できる様にして欲しい。(頻繁に利用する事業所に対して)受け付け、支払いの手間を省き混雑の緩和にもなると思います。
- ごみ袋(松阪市用)に10円~20円の費用をもらう様にする。多く出す人は費用も多く出すため。

③地域公共交通の充実

- コミュニティバスの本数を増やした方が良い。使いづらい。
- 鈴の音バスが利用し難い。右廻り、左廻りにせず、全部左廻りにし、金沢市の様に観光地を中心に、定時に来る様にする。金沢では1日券を買えば乗り放題で、15分間隔で来るので、それに合わせて観光できる。松阪も観光客に便利な様に運行し、市民も利用できる様に駅と松阪市民病院、松阪中央総合病院を廻る様にすれば良い。
- 定期バス路線外の地域へのコミュニティバスの導入を検討していただきたい。
- 高齢化にともない、コミュニティバスは、廃止せず、ずっと運営していただきたいとします。バス路線も色々魅力ある路線を考えていただきたいと願っています。
- 市の運営バスは重宝しております。いつまでも続けてほしいと思っています。
- バスの時間帯ももう少し需要に応じて変えれば利用者が増えるのでは?例えば買い物に行きたくても帰りのバスの時間帯がなければ利用できない(朝と夕方を充実してお昼は減らすとか)。安くて便利であれば利用者も増えると思う。←高齢者の利用が増えれば事故も減るのでは。
- バス運行について、乗客が見込めないのであれば、廃止にすべきである。実際にバスに乗っている人を通勤時間帯を除きほとんど見かけない。バス廃止で交通手段がなくなるという意見もあるが、遠方からバスに乗って本当に出かけるかは疑問である。定期便はやめ、違う施策を考えてほしい。

④まちづくりの推進

- 歴史を大切にしたいまちづくりを進めているのは良いことだと思うが、反面、若い世代も興味を持ってきているのかが気になる。
- 合併後10年以上になります。市の存在感も他都市に比べて薄く感じられます。松阪駅周辺も恥ずかしい限りです。歴史ある「松坂城跡」と観光の拠点として歴史文化都市に整備して地域の活性化を図る必要があると思います。
- 松阪駅はやはり市の玄関口、「住民にとっては使いやすく」「来訪者にとっては優れた景観」であってほしいと願います。松阪駅西地区の計画に期待しています。
- 暮しやすい、住みやすい市にしてほしい。
- 観光客も多く、外国の方も来て下さいます。松阪にきて良かったと言ってもらえる駅周辺であってほしいと思います。日々良くしようとして下さり、ありがとうございます。

- 松阪には室内で遊べる所が少なく、雨の日や夏・冬などに遊ぶ所が無い。市外や県外に行って遊んだりしているので、松阪にいい施設が出来れば逆に市外や県外から来る人も増えると思う。
- 市政も色々と努力されている事に感謝しています。松阪駅西地区の開発は多数の市民の意見を参考にして頂き有効な施設となる様に願っています。
- 複合施設が完成したとしても使用する機会がない。又、今は、自動車の運転ができるから出かけることもできるが、今後、返納する年齢となった時に、そこに行く手段があるようでない。もっと違うところに何かを、つくるべきなのではないか?! 駅周辺に住んでいる人以外には、利用することも少ないだろうし、又、高齢者にとっては何ともわからないこと。交通の便の悪い地域に住んでいる人のことを、考えて欲しい!と思う。

⑤景観の保全

- 松阪を緑の多い歩いて木かげを楽しめるまちにして欲しい。
- 市役所(建物)があまりにも古い。建て直し、ペンキ塗り直し等で外観をきれいにした方がいいと思います。
- 文化財保護地区の景観問題、景観条例の徹底をお願いしたい。歴史的街並みに沿った建築物であること。新しく居住される方、新築、改築される方は、先人がこだわり、努力して守ってきた景観への配慮を重視してほしい。市が条例に沿った規則をはっきりと唱えるべきである。

⑥道路・公園の整備

- 市内道路が狭いため、無電柱化を推進してほしい。(一部道路にはあるが、まだまだである) これも交通事故が多い原因の1つであると思います。
- 歩道の段差が多く歩きにくい。
- 自転車と歩いている人がごちゃごちゃで歩きにくい。
- 道路に関して拡張は難しいため道路のスピードを落とすために作られるものは、もう少し多めにした方が良く思う。
- 運転をして路面標示が消えかけているのをよく見ます。停止線も消えているので危ないですし、市内を調査して塗り直しをしてもらいたいです。
- 松阪公園、あんなデコボコで汚い路面の公園には市民は行かない。観光客のリピートは有りえない。

⑦上下水道の整備

- 他の市町村に比べ下水道料金等の公共料金が高すぎる。市政を担当する者は知っているのか疑問だ。
- 水道料金が高いのがすごく辛いです。津は2ヶ月で1,700円程度なのに(1人暮らしで)、松阪は1ヶ月どれだけおさえても2,000円こえます。全国的にもあまりに高いのもう少し何とかありませんか。検針が2ヶ月に1回になるのも引き落としが2ヶ月に1回になるのも不便ですが、それで少しでも安くなることを期待致します。

- 水道検針が 2 ヶ月ごとに変わりますが、漏水発生時の金額が大きくなる場合があると思いますが、上限額など決めるべき。老人はフタも開けられない。早く見つけれられる方法を市で考えるべきだ。

⑧中山間地域の振興

- 山間部に住んでいると若者がいなくなり高齢者の世帯ばかりになって、世の中のシステム上便利なものが返って不便だったり、ここで暮らし続ける事には不安しかありません。今後の生活を守っていく上で行政と住民がどのような関係性を持つのが良いのかを、アンケートや意見を深く探ってもらって、少しでも良い方向へ進んでもらえると嬉しいです。
- 中山間地域の農地の荒廃が進んでおり、その対策が喫緊の課題で、多くの兼業農家や高齢者のみの農家では、耕作放棄するしかない状況です。農地を有効活用するため JA と行政、農事組合法人などで連携した取組みをしていただけないでしょうか。〈例〉茶畑から新たな作物への転用の提案。JA 松阪の茶工場の業務委託を受け、茶畑の小作も行なう農事組合法人の設立。農地から山林への転用促進と山林管理委託できる組織の構築(山添いの農地)。移住促進のための農地利用の提案と仕組み作り。減農薬・有機農法による安心の野菜作りの指導と消費者へインターネットを利用するなど直接販売する仕組み作り。
- 農家民泊やワーキングホリデーなどにより交流人口増を定住につなぐため事業を推進していただけないでしょうか(長野県飯田市や大紀町などを参考にいただければ)。
- 山間部の道の草刈りが過疎化、高齢化で思うように出来ず、道が通りにくいと記事で読んだ事がありました。ハコ物に億単位使うのなら、納税者としてはそういう所に支援してほしい。

7. 市民のための市役所

①計画的な行政運営

- 公共施設、合併 10 年を過ぎ、10 年 20 年先を考えた時、支所は飯南、飯高を統合した 1 ヶ所で三雲、嬉野は本庁に統合されるべき。又、出張所は飯高管内の波瀬 1 ヶ所でいいと考える。更に旧 1 市 4 町に類似する施設は老朽化コスト、人件費コストを考えるならば、統廃合ありきで地元と協議して小さな行政基礎自治体としてスリム化していく政策、施策が合併 10 年を経過した将来像として求められるものと考えます。
- 福祉、教育の予算をもっと多くしてほしいです。
- 以前より市役所職員の接客態度は改善されてきているも、より一層のマナー向上等を望む。
- もっと市職員の質を向上させて下さい。仕事ができる職員より、市民の立場になって一緒に考え、寄り添ってくれる職員を望みます。人としてのモラルや道徳、配慮など気働きのできる人が望ましい。人間性大切。
- 市の施設が古くなってきたのが多くて、それをどのように新しくするかを決めるのは大変だと思う。公立の保育園はほとんどが古くなってきており、少ない園をもっと統合して人を確保すべきだと思う。公立の保育園をもう少し数を減らして、大きな園にして新しい施設を建てたほうが良いと思う。そうするとともに人が松阪市に来てもらえると思う。
- 人口減少時代に入ったので、箱物行政は控えるべきだと思う。

○職員さんの対応なんかはすごく良くなったと思いますが、仕事に対する必死さが全く伝わってこない。民間企業ならとっくにつぶれています。支払う税金に対する価値が全くない。

②市民との情報共有

- おくやみコーナーができたことは本当によかった。
- このアンケートで始めて知った事が多かったのもっと情報が欲しいと思いました。広報などの紙媒体でわかりやすい言葉で発信してもらえたら嬉しいです。
- 最新の情報機器の使用が困難な高齢者に対し、各種情報を伝達する方法を考えてほしい。
- インターネットやスマホの普及により便利になっていますが、親世代(70歳代以上)になると手続きも対人でないと難しいように思います。若い人たちはインターネットの方が何かにつけ便利に感じられるだろうし、2極化することが予想されます。情報弱者にも配慮をしてほしいと思います。
- 市民のちょっとした意見や思いを、いつでも届けられるよう(誰でも)投書箱のようなものを様々なところに設置してもらいたい。なかなか、ここを改善してもらいたい、こうだったら利用しやすいのになど、思いついたらその時に伝えられるようなシステム作りをお願いしたい。
- 車イスや介護ベッドを借りれる事などをもっとわかりやすくして欲しいです(例えば病院や市役所で借りれる事を言ってもらおうなど)。市役所に借りに行ったら、貸し出してる事すら知らない職員もいたので、周知も徹底して欲しいです。

③健全な財政運営

- 「ふるさと納税」に魅力ある商品を出し、税収を増やすようにする。他県の他市を見るとたくさん税収を増やしたりしているの、松阪市も頑張ってもらいたい。
- 高齢化により税収の問題があり、市の予算内で色々するのは大変だと思います。又、料金等の値段の範囲も上げすぎると利用が減ったり、安すぎると運営がむずかしくなる等。その他問題が山積みだと思います。沢山のひとと会話してよりよい松阪市になると良いですね。頑張らしましょう。
- 借金を減らして下さい。税は大切に使って下さい。
- 市の行政コストは理解できるが、常にコスト意識をもって小さな市政を目指すべきである。

8. その他

①市議会

- 市会議員の方にもっと政策や市民の声を聞き困っていることに対し動いてほしいです。人選も必要。松阪市に市会議員がこんなに必要でしょうか。(人数減)仕事に見合ったお給料ではないのではと思います。
- 市会議員の方をもっと民間企業をみならって、よりよい松阪市を築いて下さい。
- 市議さんに一言。マニフェストを掲げてもらっても、全然実行されていないのではないかな?
- 交通指導している議員さんがいますが必要でしょうか?

②大学誘致

- 若者の定着の為に大学の誘致を進めるべきと思います。現大学の一部の学部を“松阪キャンパス”を置くのも一案です。(専門学校でもかまいません)

③アンケートについて

- 市民意識調査をしていることをはじめて知り、市民の意見を活用した市政が行なわれることを期待します。
- この調査の趣旨がわかりづらい。もう少ししていねいな趣意書をつけるべきである。
- 身近に市議や自治会長等などいない者にとって、このように思いを反映できることができてありがたいです。
- この様なアンケート調査もインターネットなどにしたら、この用紙代、印刷代、集計代など余分なお金がかからないのではないだろうか？今の社会で用紙にアンケートしている松阪はどうかと思います。スマホなどほとんどの方が持っているのを活用すべきです。
- 市政にいかに自分が無感心だったのか、と今深く反省しております。生活に追われて広報もサッサと読むだけで、これからはしっかりと読み、色々と学ばせていただきます。色々と市民の事を考えて市政を行っていただき本当にありがとうございます。
- このアンケートが長くて、考えるのが面倒くさい。集中力も切れてくるので、もっと要点を絞って質問するべきである。
- アンケートの催促をする手紙を送るくらいなら、謝礼の一つでもするべきだと思います。

V 調査票

松阪市市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。
います。

さて、本市ではさまざまな分野の政策や行政サービスに対して、市民の皆さまがどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために、アンケートを実施しています。



アンケートの結果は、今後のきめ細やかな市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはありません。

平成30年8月 松阪市長 竹上 真人

【対象】松阪市にお住まいの15歳以上の市民の中から無作為に選んだ3,000人
※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。

【期限】同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成30年9月7日（金）までに、郵便ポストに投函してください。

（氏名、住所をご記入いただく必要はありません）

【お問合せ】

調査実施主体	調査受託機関 (回答方法についてのお問合せ先)
松阪市企画振興部経営企画課 〒515-8515 松阪市殿町1340番地1 TEL: 0598-53-4319 FAX: 0598-22-1377	株式会社 創建 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-32 TEL: 052-253-7169 FAX: 052-253-7258

あなたご自身について

問1. あなたご自身に該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性	2. 女性					
(2) あなたの年齢は	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上
(3) あなたの居住地は	1. 本庁管内(旧松阪市)	2. 嬉野管内(旧嬉野町)	3. 三雲管内(旧三雲町)	4. 飯南管内(旧飯南町)	5. 飯高管内(旧飯高町)		
(4) 松阪市での居住年数は(合併前も含む)	1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上		
(5) あなたのご職業は	1. 自営業(農林水産業などに従事する方も含みます) 2. 会社員(公務員・会社役員・専門職も含みます) 3. 学生・専門学校生						
	4. アルバイト・パート						
	5. 専業主婦(夫)						
	6. 無職						
	7. その他()						
(6) あなたの家族構成は	1. 単身(ひとり暮らし)	2. 夫婦のみ	3. 2世代(親・子など)	4. 3世代(親・子・孫など)	5. その他()		

防災対策について

問2. あなたは地域の避難所を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問3. 地域、職場等での防災訓練に参加していますか。(○は1つだけ)

1. 地域での防災訓練に参加している	2. 職場等での防災訓練に参加している
3. どちらも参加している	4. どちらも参加していない

問4. 非常用備蓄品を準備していますか。(○は1つだけ)

1. 準備している	2. 準備していない
-----------	------------

問5. ご自宅の家具を固定していますか。(○は1つだけ)

1. 固定している	2. 固定していない
-----------	------------

交通安全対策について

問6. 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 少し知っている |
| 3. あまり知らない | 4. 全く知らない |

問7. 松阪市で運転をするドライバーの交通ルールの遵守やマナーなど、最近良くなっていると感じたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 良くなっている | 2. 悪くなっている |
| 3. 変わらない | 4. その他 () |

問8. 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. ドライバーが交通ルールやマナーを守らない | |
| 2. 歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない | |
| 3. スピードを出せる道路が多い | 4. 道幅が狭い道路が多い |
| 5. 警察の取締頻度が少ない | 6. その他 () |

問9. 交通事故を減らすためには、どのような活動が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 交通安全教室等による交通安全教育 | 2. 広報車による広報活動 |
| 3. イベント等での啓発活動 | 4. 地域と連携した啓発活動 |
| 5. のぼり旗等の設置 | 6. 路面標示の塗り直し |
| 7. 交通規制の見直し | 8. 交通取締の強化 |
| 9. カーブミラーの増設 | 10. 道路拡張等の道路改良 |
| 11. その他 () | |

問10. あなたは自転車に乗りますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日乗る | 2. 週に2～3回乗る |
| 3. 週1回以下しか乗らない | 4. 全く乗らない |

≪問 10 で「1」～「3」とご回答いただいた方にお聞きします。≫（問 11～問 12）

問 11. あなたは現在自転車保険に加入していますか。（○は1つだけ）

加入している方は保険の種類もお選びください。

1. 加入している

→(1)TSマーク付帯保険

(2)民間保険会社の保険

(3)自動車保険のオプションに加入

(4)その他の保険（ ）

2. 加入していない

問 12. 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。

（○はいくつでも）

1. 自転車保険の重要性に関する啓発

2. 自転車保険に関する案内窓口の設置

3. 加入の義務化

4. 加入に対する県や市の補助

5. その他（ ）

≪65歳以上の方で自動車運転免許証（二輪を含む）をお持ちの方（又はそのご家族がいらっしゃる方）にお聞きします。≫（問 13～問 15）

問 13. 運転免許証自主返納制度を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている

2. 知らない

問 14. あなた（又はそのご家族の方）は将来的に自主返納するつもりはありますか。

（○はいくつでも）

1. 身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである

2. 一定の年齢になったら返納するつもりである

3. 返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである

4. 家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである

5. 返納するつもりはない

問 15. 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引

2. 公共交通機関の増発

3. バスの運行範囲拡大

4. 地域での乗合制度の推進

5. 買い物等での代金割引

6. 移動販売の拡充

7. 訪問診療制度の拡充

8. その他（ ）

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺について

問 16. 松阪市では、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺が増えています。特殊詐欺についてどう考えていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. いつ被害にあうか、とても心配だ | 2. 少し心配はしている |
| 3. 自分は絶対だまされないと
思う | 4. それほど気にしていない |
| 5. 特に関心はない | |

問 17. 特殊詐欺の情報はどこで知りますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット | 2. 広報・回覧板 |
| 3. 家族・知人 | 4. 街頭啓発、ポスターなど |

問 18. 詐欺の疑いのある電話やハガキなどが来たことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 19. 特殊詐欺で犯人が使う言葉で知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 風邪で声がおかしい | 2. 会社の金を使い込んだ |
| 3. 金を代理人が取りに行く | 4. ATMで手続きができる |
| 5. このままでは裁判になる | 6. その他 () |

問 20. 被害にあわないために気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. すぐに家族や知人に相談 | 2. 家族と合言葉を決めている |
| 3. 留守番電話に設定している | 4. 特に何もしていない |
| 5. その他 () | |

問 21. 被害にあわないようにするには、今後どうすれば良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨てる |
| 2. 知らない番号からの電話に出ない (ナンバーディスプレイの電話に替える) |
| 3. 家族や知人と常に連絡を取り合う |
| 4. その他 () |

医療提供体制について

問 22. 松阪市内には3総合病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、松阪市民病院）があります。これらの病院は原則として、休日・夜間に救急車で搬送を必要とする重症の方や、精密な検査などが必要でかかりつけ医等の紹介状を持った方しか受診することができないことを知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. 知らない |

問 23. 国の医療行政では、ひとつの病院の中だけで完結する「病院完結型医療」ではなく、地域全体で医療から介護までを完結させて提供する「地域完結型医療」が方針とされていることを知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. 知らない |

問 24. いわゆる団塊の世代が75歳以上を迎える2025年を視野に、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化・連携を適切に推進するため、平成29年3月に三重県が『三重県地域医療構想』を策定したことを知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. 知らない |

問 25. 松阪市民病院の会計について、一定の経費（毎年度約9億円）を市が負担していることを知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. 知らない |

COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

問 26. あなたはCOPD(慢性閉塞性肺疾患)※という病気を知っていますか。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. どんな病気か知っている | 2. 聞いたことがあるが、内容までは知らない |
| 3. 知らない | |

※COPD(慢性閉塞性肺疾患): たばこの煙などの有害物質を吸い続けることで肺や気管支に慢性的な炎症を起こして、息切れや咳がひどくなり呼吸困難を招く進行性の病気。以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。

市運営コミュニティバスの運営形態について

問 27. 松阪市運営バスの運行経費は、運賃と公費に加え、その他の財源として、企業や沿線地域等の住民の協賛金でまかなわれているのを知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

松阪市が運営するバスの運営形態には、下表の通り、①企業協賛型コミュニティバス、②地域協賛型コミュニティバス、③協賛制度はなく三重交通路線バスと同じ運賃で運行する「廃止代替バス」の3種類があり、運行経費から収入(運賃・協賛金※等)を差し引いた部分を市民の税金で負担して運行しています。

この3つの運営形態があることから、市民の間で、運賃の格差や協賛金の有無に対する不公平感が存在しています。

※協賛金：コミュニティバスの運行趣旨に賛同いただく企業からの企業協賛金（主に鈴の音バス）とコミュニティバス沿線等（鈴の音バス・大口線・三雲松阪線を除く）の自治会加入世帯等からいただく地域協賛金（1,000円程度/世帯・年）があります。

運行形態	運賃	H29 運行経費	H29 収入内訳			
			運賃収入	協賛金収入	広告収入	公費
①コミュニティバス (企業協賛型)	100円	5,260万円 (3路線)	1,089万円	926万円	—	3,245万円
②コミュニティバス (地域協賛型)	100～200円	6,014万円 (6路線)	376万円	578万円	—	5,060万円
③廃止代替バス (注1)	三重交通路線バスと同じ運賃 (180～660円)	3,988万円 (2路線)	1,074万円	— (注2)	149万円	2,765万円

(注1) 三重交通路線であった「宇気郷線」(松阪駅前～辻原経由～袖原)と「阿坂小野線」(松阪駅前～パークエッセー松阪・小阿坂経由～嬉野一志町)の2路線あり、赤字経営が続いたことから三重交通が撤退したため、市が運行を引き継いだ路線バス。

(注2) 廃止代替バスの場合は、協賛金制度はなく、企業からの広告収入があります。

問 28. 松阪市運営バスは、上記のように、協賛金をいただいているコミュニティバスは100円ないし200円の運賃で、廃止代替バスは三重交通の運賃形態と同様のもので運営しています。どの運営形態が望ましいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 企業協賛型コミュニティバス (企業協賛金と運賃100円)

2. 地域協賛型コミュニティバス (地域協賛金と運賃100～200円)

3. 廃止代替バス (協賛金制度はなく三重交通路線バスと同じ運賃)

「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」について

松阪市では平成26年4月に「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」を制定し、手話の普及啓発を推進しています。

問31. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」を知っていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない |
| 3. 知らない | |

問32. 手話に接したり、見聞きした経験はありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問33. 手話に関する取組について参加したいと思うものを選んでください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 手話研修会など手話を学べる場 | 2. 手話に関する講演会 |
| 3. 手話の普及啓発イベント | 4. その他 () |

観光施策について

問 37. あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 観光地である | 2. どちらかといえば観光地である |
| 3. どちらかといえば観光地ではない | 4. 観光地ではない |
| 5. どちらともいえない | |

問 38. あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 歴史・文化を楽しめる | 2. 自然(海・山・公園等)を楽しめる |
| 3. 芸術・建築を楽しめる | 4. 温泉を楽しめる |
| 5. 食事を楽しめる | 6. 神秘的である |
| 7. 宿泊施設が魅力的 | 8. お土産が魅力的 |
| 9. 周辺に周遊できる観光スポットが多い | 10. ここでしかできないことがある |
| 11. 街全体がきれいで魅力的 | 12. その他() |

問 39. もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、松阪牛(松阪肉)を除き、何を紹介(自慢)しますか。(〇は2つまで)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 史跡、歴史的建造物、名勝、天然記念物などの文化財
(例:松坂城跡などの城跡、市場庄のまちなみ、嬉野考古館など) | |
| 2. 優れた自然の風景地(例:深野だんだん田、備田川など) | |
| 3. レジャースポットなど
(例:奥香肌温泉、高見山や珍布峠などの登山・ハイキングスポット、松名瀬海水浴場など) | |
| 4. 郷土の偉人を生み出した文化など(例:蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など) | |
| 5. 地域の名産品・特産品など(※松阪牛(松阪肉)を除く) | |
| 6. 特にない | 7. その他() |

松阪の地場産品について

問 40. 松阪市の特産品としてアピールしていけるものには何がありますか。ご自由にご記入ください。

--

問 41. 地域に埋もれている松阪の新たな特産品といえば何がありますか。ご自由にご記入ください。

--

住民協議会について

問 47. 住民協議会を知っていますか。(〇は1つだけ)

※住民協議会(まちづくり協議会)とは、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的にまちづくりを行う組織です。

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3. 聞いたことはある | |

問 48. 住民協議会が主催する行事に参加されたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 49. 現在、住民協議会と自治会について、その役割分担や違いがわかりにくいというご意見があります。そこで市として地域の独自性や自由度を広げるという観点から、これらを含めた地域組織の一本化を提案しています。

地域組織を一本化することについて、どう思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 良いと思う | 2. 良くないと思う |
| 3. どちらとも言えない | |

問 50. 現在、市のいろいろな部局からいろいろな団体(住民協議会、自治会など)を通じて地域へお渡ししているお金(以下、地域予算 例:住民協議会活動交付金、広報等配布委託料など)が合わせて2億4千万円ほどあり、市では今後この地域予算を受け入れていただく地域の窓口を集約したいと考えています。

窓口を集約することで、地域予算の流れがわかりやすくなりますが、受け取る側にとっては、地域予算の流れがそれまでとは変わってしまうことになります。

地域予算の受け入れ窓口を集約して地域にお渡しすることをどう思いますか。

(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 窓口を集約して交付するのが良い | 2. これまでのように別々に交付するのが良い |
| 3. どちらとも言えない | |

問 51. 各地域において地域づくりを進めていただくうえで、地区市民センターや各地区公民館はその拠点となる施設です。現在は市が管理・運営をしていますが、将来的には管理・運営を地域にお任せ(委託)し、市職員を行政と地域との連携を保つための調整役として配置することで、より自由度の高い拠点施設として地域づくりに活用していただこうと考えています。

地区市民センターや各地区公民館の管理・運営を地域にお任せ(委託)することについて、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 良いと思う | 2. 良くないと思う |
| 3. どちらとも言えない | |

問 54. 松阪市は、東西約 50km、南北約 37km に広がっており、面積が三重県内で 2 番目に大きい市であることから、市の窓口の配置にあたっては、窓口までの距離についても考慮する必要があります。

距離の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、自宅や職場等からどのような距離までであれば不便を感じることなく手続きできると思いますか。

（〇は1つだけ）

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 2km 程度(徒歩で 20 分程度)まで | 2. 5km 程度(自動車で 10 分程度)まで |
| 3. 10km 程度(自動車で 20 分程度)まで | 4. 20km 程度(自動車で 40 分程度)まで |
| 5. 30km 程度(自動車で 60 分程度)まで | 6. その他 () |

問 55. 「支所、出張所に必要」と思う業務はどれですか。（〇は2つまで）

- | |
|---|
| 1. 届出に関すること（「婚姻届」、「死亡届」、「住所異動」、「印鑑登録」等） |
| 2. 証明書取得に関すること（「戸籍謄本」、「住民票」、「印鑑登録証明書」、「所得証明書」等） |
| 3. 税や保険料に関すること |
| 4. 保健、福祉に関すること |
| 5. 住民協議会や自治会などに関すること |
| 6. 上記以外に関すること（例：防災、環境、農林水産、公共施設、上下水道、学校等） |
| 7. その他 () |

問 56. 平成 30 年 2 月より、「戸籍謄本」、「住民票」、「印鑑登録証明書」、「所得証明書」などの証明書は、全国のコンビニで、マイナンバーカードを利用し、設置された自動交付機等を自分で操作することにより、市の窓口と同料金で、市役所の閉庁時間でも取得できるようになりました。（取得可能時間は証明書により異なります。）これからの証明書の取得について、あなたの考えをお聞かせください。（〇は1つだけ）

- | |
|-------------------------------|
| 1. コンビニ等で、自分で自動交付機等を操作して取得したい |
| 2. 市の窓口で、職員等に申請して取得したい |
| 3. その他 () |

問 57. 中山間地域等、交通の便が悪い地域等には、出張所を設置していますが、利用状況や運営費用等をふまえ、より利用しやすいサービスとして、現在の出張所に代わる新たなサービスも検討していく必要があります。どのようなサービスがあると良いと思いますか。

（〇はいくつでも）

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 自宅に市の職員が訪問するサービス |
| 2. 自宅でパソコンや携帯電話からインターネット等を使ってできるサービス |
| 3. 地域に自動交付機等を設置するサービス |
| 4. 自宅から支所への送迎等のサービス |
| 5. その他 () |

松阪駅西地区の複合施設について

このアンケート項目は、松阪市の「駅西地区」に施設配置を計画している複合施設について、市民の皆さまのお考えや思いをお聞きし、今後策定する松阪駅西地区複合施設基本構想の作成事業の参考に活用することを目的としてお願いするものです。



問 58. 松阪駅西地区に複合施設を計画していますが、下記の施設、機能についての重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(1) 市役所機能(住民票発行、各種行政手続きが可能な支所機能)	1	2	3	4	5
(2) ホテル・宿泊施設	1	2	3	4	5
(3) 娯楽・レジャー施設	1	2	3	4	5
(4) 会議室・イベントホール	1	2	3	4	5
(5) 商業施設	1	2	3	4	5
(6) 飲食店	1	2	3	4	5
(7) 観光情報案内所	1	2	3	4	5
(8) 集合住宅(マンション)	1	2	3	4	5
(9) 多目的広場	1	2	3	4	5
(10) 緑地・公園	1	2	3	4	5
(11) 駐車場・駐輪場	1	2	3	4	5
(12) 高等教育機関	1	2	3	4	5

問 59. 複合施設ができた後、利用するとした場合の交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1. 電車 | 2. バス | 3. タクシー |
| 4. 自家用車 | 5. バイク | 6. 自転車 |
| 7. 徒歩 | 8. その他 () | |

問 60. 複合施設にはどのようなことに配慮が必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 駅から直接いける | 2. 駐車場の確保・整備 |
| 3. 駅周辺の渋滞対策 | 4. 事業費の削減 |
| 5. 公共交通の利便性の向上 | 6. その他 () |

問 61. 複合施設内、またはその周辺にどのような空間がほしいですか。ご自由にご記入ください。

--

市施設における使用料等の見直しについて

問 62. 市施設の使用料は同種の民間施設と比較してどのようにあるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 民間施設より安くあるべき | 2. 民間施設と同額程度であるべき |
| 3. 民間施設より高くあるべき | 4. わからない |

問 63. 市施設の維持管理や運営には費用がかかります。この費用は何によってまかなわれるべきだと思いますか。(〇は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 利用者(使用料)が全てを負担し税金では負担しない |
| 2. 利用者(使用料)がほとんど(7~9割)を負担し、税金で一部(1~3割)を負担する |
| 3. 利用者(使用料)が半分(5割)を負担し、税金で半分(5割)を負担する |
| 4. 利用者(使用料)が一部(1~3割)を負担し、税金でほとんど(7~9割)を負担する |
| 5. 利用者(使用料)は負担せず、税金で全てを負担する |
| 6. わからない |

問 64. それぞれの市施設は、設置経過や目的、建築年度、規模、構造、立地条件等が異なります。市施設の使用料を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきであると思いますか。(〇は1つだけ)

	そう思う	ややそう思う	いえない	どちらとも思わない	あまりそう思わない	わからない
(1) 集会施設、会議室、テニスコートなど同じ種類の施設は使用料の決め方を統一するべき (「使用料を同じ金額にする」という意味ではありません)	1	2	3	4	5	6
(2) すべての施設の使用料の決め方を統一するべき (「使用料を同じ金額にする」という意味ではありません)	1	2	3	4	5	6

問 65. 市の施設は、利用目的や利用者の状況等によって、通常より安価または無料で使用できるようになる減免制度がありますが、その考え方となる使用料の減額や免除の基準が異なっており、同じ種類の施設でも統一されていません。施設の使用料の減額や免除の基準を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきであると思いますか。
(〇は1つだけ)

1. 全市的に考え方を統一するべき
2. 同じ種類の施設は考え方を統一するべき
3. 現状のままで良い(それぞれの施設で考えて設定するべき)
4. わからない

※減免制度：市では、高齢者・障がい者などへの配慮、地域住民団体などの活動の支援・推進、文化・スポーツの振興などのために、施設ごとの基準により使用料の減額、免除を行っています。例えば、障害者手帳をお持ちの方が手帳を提示することにより、使用料が無料になる施設があります。

問 66. 市施設の使用料を設定する際に考慮すべきと思われることは何ですか。
(〇はいくつでも)

1. 市内や近隣の類似(同種)の民間施設の料金
2. 近隣自治体の類似(同種)の公共施設の料金
3. 市内の類似(同種)の公共施設の料金
4. 平日と休日、日中と夜間等、料金設定の区別
5. 営業(営利)目的、公共目的等の区別
6. 利用者の急激な負担増への配慮(値上げ率の上限設定等)
7. 減免制度の設定及び明確化
8. その他()

広報全般について

問 67. 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ |
| 3. 新聞 | 4. 松阪市ホームページ |
| 5. SNS (フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど) | 6. 行政チャンネル (アイウエーブまつさかなど) |
| 7. 広報まつさか | 8. 自治会などの回覧 |
| 9. ポスター・チラシ | 10. その他 () |

問 68. 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 毎月読んでいる | 2. 大体読んでいる |
| 3. 時々読む | 4. ほとんど読まない |

問 69. 広報まつさかによく読む記事を次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. 特集 | 2. 制度の説明 | 3. イベント・講座案内 |
| 4. まちのできごと | 5. 健康情報・相談 | 6. 子育て情報 |
| 7. 文化情報 | 8. その他 () | |

問 70. 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1回以上 | 3. 月1回以上 |
| 4. 必要なとき | 5. 見たことがない | |

問 71. 行政チャンネル (123ch) をご覧になったことはありますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1回以上 | 3. 月1回以上 |
| 4. 必要なとき | 5. 見たことがない | |

〈問 71 で「1」～「4」とご回答いただいた方にお聞きします。〉 (問 72 のみ)

問 72. ご覧になった番組をお聞かせください。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. アイウエーブまつさか (行政情報・地域情報など) |
| 2. 特集 (松阪歴史探訪、いきいき健康情報など) |
| 3. 特別番組 (竹上真人の〇〇な話、講演会など) |
| 4. HAPPY BIRTHDAY (1歳になったよ) |
| 5. 市議会放送 |
| 6. その他 () |

問 73. 松阪市の広報全般についてご意見があればご自由にご記入ください。

**松阪市市民意識調査
結果報告書**

平成 30 年 11 月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1

T E L 0598-53-4319

F A X 0598-22-1377

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp